平成２６年度加東市庁舎南駐車場等整備工事　　実施設計書

工　事　番　号	加企企第１８号
工　事　場　所	加東市　　社　　地内
工　　種	建築工事

兵庫県 加東市

内訳					概要
	実施	今回変更	増額		
設計額	円	円	円		
請負額	円	円	円		
	請負		日数	平成27年 3月25日まで	

（起工又は変更理由）

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	加企企第１８号	平成２６年度加東市庁舎南駐車場等整備工事					
A	車庫新築工事		1.0	式			
B	駐車場整備工事		1.0	式			
C	撤去工事		1.0	式			
D	処分工事		1.0	式			
E	その他工事		1.0	式			
	直接工事費計						
E	共通仮設費		1.0	式			
F	現場管理費		1.0	式			
G	一般管理費		1.0	式			
	計						
	工事価格						
H	消費税相当額		1.0	式			
	工事費						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	積上共通仮設費						
	＜準備工＞						
	警備員Ｂ		1.0	式			
	仮囲い	ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ　H=1,800	1.0	式			
		フェンスバリケード+単管控え ｼｰﾄ張り					
		L=147　2か月					
	仮囲い	ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ　H=1,800	1.0	式			
		フェンスバリケード+単管控え ｼｰﾄ張り					
		Ｌ＝203　2か月					
	仮囲い	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ　片開き	1.0	式			
		ｗ＝6.0　H=1.8					
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A	車庫新築工事						
1	建築主体工事		1.0	式			
2	電気設備工事		1.0	式			
3	機械設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1	建築工事						
I	建築主体工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
I	建築主体工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土・地業工事		1.0	式			
3	鉄筋工事		1.0	式			
4	コンクリート工事		1.0	式			
5	型枠工事		1.0	式			
6	鉄骨工事		1.0	式			
7	屋根・樋工事		1.0	式			
8	金属工事		1.0	式			
9	左官工事		1.0	式			
10	吹付・塗装工事		1.0	式			
11	金属製建具工事		1.0	式			
12	ガラス工事		1.0	式			
13	内外装工事		1.0	式			
14	雑工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	外部枠組足場 （手摺先行方式）	高さ12m未満 建地幅900　2か月	416.0	㎡			
	安全手摺	最上部	112.0	m			
	垂直養生	養生シート張り	416.0	㎡			
	水平養生	水平安全ネット張り	299.0	㎡			
	脚立足場	並列　H＝1.8　1か月	299.0	㎡			
	遣り方		308.0	㎡			
	墨出し	躯体・仕上げ共	299.0	㎡			
	養生	躯体・仕上げ共	299.0	㎡			
	清掃・片付け	竣工	299.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	土・地業工事						
	埋戻し	購入土	134.0	m3			
	床付		32.7	㎡			
	砕石敷	（再生材） 基礎下　ＲＣ-40	7.9	m3			
	砕石敷	（再生材） 土間下　ＲＣ-40	36.6	m3			
	防湿層	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｧｲﾙﾑ　厚0.15	255.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	鉄筋工事						
	異形鉄筋	SD295A　D10	4.7	t			
	異形鉄筋	SD295A　D13	0.8	t			
	異形鉄筋	SD295A　D16	0.2	t			
	異形鉄筋	SD345　D22	2.6	t			
	異形鉄筋	SD345　D25	0.8	t			
	鉄筋加工組立		8.7	t			
	鉄筋運搬	4ｔ	8.7	t			
	スクラップ控除	H2	245.0	kg			
	ガス圧接	22+22	132.0	ヵ所			
	ワイヤメッシュ	6φx150x150	55.5	㎡			
	ワイヤメッシュ敷き		55.5	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4	コンクリート工事						
	捨コンクリート	FC18-15	3.9	m3			
	基礎コンクリート	FC21+3-15	46.7	m3			
	躯体コンクリート	FC21+3-15	2.4	m3			
	土間コンクリート	FC18-15	51.9	m3			
	捨てコンクリート打手間	カート打ち	3.9	m3			
	基礎コンクリート打手間	ポンプ打ち	46.7	m3			
	上記圧送費		1.0	回			
	躯体コンクリート打手間	ポンプ打ち	5.9	m3			
	上記圧送費		1.0	回			
	土間コンクリート打手間	ポンプ打ち	51.9	m3			
	上記圧送費		1.0	回			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	型枠工事						
	普通型枠	基礎	227.0	㎡			
	打放型枠	C種	77.4	㎡			
	型枠運搬		305.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	鉄骨工事						
	形鋼類						
	角型鋼管	C1　□-250x250x16 BCR295	1.1	t			
	角型鋼管	C2　□-250x250x9 BCR295	1.2	t			
	角型鋼管	C3　□-200x200x9 BCR295	1.8	t			
	角型鋼管	□-100x100x2.3 SS400	136.0	kg			
	H型鋼	P1　H-200x100x5.5x8 SS400	1.4	t			
	H型鋼	P2　H-150x75x5x7 SS400	14.8	kg			
	H型鋼	RG1　H-340x250x9x14 SS400	2.4	t			
	H型鋼	RG2　H-350x175x7x11 SS400	2.3	t			
	H型鋼	RG3　H-300x150x6.5x9 SS400	2.6	t			
	H型鋼	CG17　H-175x90x5x8 SS400	189.0	kg			
	H型鋼	B25　H-250x125x6x9 SS400	1.5	t			
	H型鋼	B20　H-200x100x5.5x8 SS400	1.1	t			
	H型鋼	B17　H-175x90x5x8 SS400	0.8	t			
	H型鋼	B15　H-150x75x5x7 SS400	72.8	kg			
	P計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	溝形鋼	C-100x50x20x2.3	4.0	t			
	溝形鋼	C-100x50x20x3.2	483.0	kg			
	等辺山形鋼	L-50x50x4	562.0	kg			
	等辺山形鋼	L-75x75x6	247.0	kg			
	鋼板類						
	鋼板	SN490B　t32	731.0	kg			
	鋼板	SN490C　t28	122.0	kg			
	鋼板	SN490C　t19	83.0	kg			
	鋼板	SN490C　t16	269.0	kg			
	鋼板	SS400　t12	613.0	kg			
	鋼板	SS400　t9	704.0	kg			
	鋼板	SS400　t6	1,161.0	kg			
	P計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	高力ボルト	M20　首下70	200.0	本			
	高力ボルト	M20　首下60	233.0	本			
	高力ボルト	M20　首下55	441.0	本			
	高力ボルト	M20　首下50	193.0	本			
	高力ボルト	M20　首下45	237.0	本			
	高力ボルト	M16　首下45	96.0	本			
	中ボルト	M12　首下40	1,111.0	本			
	中ボルト	M12　首下140	252.0	本			
	水平ブレース	1mセット　M16	38.0	ヵ所			
	水平ブレース	追加　M16	212.0	kg			
	タイロッド	16φ　ボルト止	65.8	kg			
	アンカーボルト	M12	50.0	本			
	アンカーボルト	M16　L=400	36.0	本			
	アンカーボルト	M30　ABR490　L=750	64.0	本			
	アンカーボルト埋込み	径12-16	86.0	本			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	アンカーボルト埋込み	径30	64.0	本			
	柱底均しモルタル	250*350	18.0	ヵ所			
	柱底均しモルタル	450*450・400*400	16.0	ヵ所			
	スクラップ控除	H2	0.8	t			
	錆び止め塗装	JIS-K5674	1,083.0	㎡			
	工場製作費		25.3	t			
	工場溶接		633.0	m			
	運搬費		25.3	t			
	現場建方費		25.3	t			
	特殊高力ボルト本締め	60（本/ｔ）	25.3	t			
	超音波探傷試験	自主検査	1.0	式			
	揚重機械器具費	鉄骨用　ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ共	1.0	式			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7	屋根・樋工事						
	ハゼ式折板 カラーガルバリュウム鋼板	厚0.8　山高90 裏貼材：ペフ	354.0	㎡			
	タイトフレーム		191.0	m			
	妻面タイトフレーム		37.0	m			
	軒先見切面戸	シール共	42.2	m			
	水上面戸	シール共	42.2	m			
	鼻隠しパネル	H=400	117.0	m			
	軒樋	塩ビ製　樋受金具@600共	42.3	m			
	竪樋	カラーVP100φ ステンレス掴み金物@1000程度	29.4	m			
	自在ﾄﾞﾚﾝ	100φ	9.0	ヵ所			
	ケミカル面戸	軒裏	104.0	m			
	ケラバ包	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板　厚0.6	31.1	m			
	壁取合い水切	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板　厚0.6	6.1	m			
	腰見切り	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板　厚0.4	67.9	m			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
8	金属工事						
	＜外部＞						
	アルミ製庇	既製品　D=900*L=1,400 補強ｱﾝｸﾞﾙ共	2.0	ヵ所			
	差し筋アンカー	D10@300 横向き	197.0	ヵ所			
	外壁出隅見切り	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板　厚0.4 糸巾300程度　曲げ加工	20.7	m			
	＜内部＞						
	軽鉄壁下地	65タイプ	52.0	㎡			
	壁開口補強	850x2000	1.0	ヵ所			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
9	左官工事						
	＜外部＞						
	床　コンクリート直押え		103.0	㎡			
	コンクリート打放全面補修		20.4	㎡			
	天端モルタル塗り		67.9	m			
	＜内部＞						
	床　コンクリート直押え		299.0	㎡			
	化粧目地	標準　20 x 20	103.0	m			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
10	吹付・塗装工事						
	＜外部＞						
	防水型複層塗材　E	凹凸模様　吹付	20.4	㎡			
	＜内部＞						
	ＥＰ塗り	ケイカル面 素地ごしらえＢ種共	52.0	㎡			
	ＤＰ塗り	糸巾260程度　1級	102.0	m			
	素地ごしらえ	鉄鋼面　細物	102.0	m			
	ＤＰ塗り	鉄部　1級	928.0	㎡			
	素地ごしらえ	鉄鋼面	928.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
11	金属製建具工事						
	スチール製軽量 電動シャッター	防火設備 SS-1　3,400x3,600H	1.0	ヵ所			
	スチール製軽量 電動シャッター	SS-2　2,650x3,600H	2.0	ヵ所			
	スチール製軽量 手動シャッター	SS-3　2,600x2,300H	10.0	ヵ所			
	アルミ片開きフラッシュ戸	防火設備 AD-1　850x2,000	1.0	ヵ所			
	アルミ片開きフラッシュ戸	AD-2　850x2,000	1.0	ヵ所			
	アルミ片開きフラッシュ戸	AD-3　850x2,000	1.0	ヵ所			
	アルミ引違サッシ	防火設備 AW-1　1,800x1,200	9.0	ヵ所			
	アルミガラリ	AG-1　900x600	1.0	ヵ所			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
12	ガラス工事						
	網入り型板ガラス	厚6.8	20.9	㎡			
	ガラスシーリング		25.4	m			
	サッシクリーニング	ガラス共	116.0	㎡			
	サッシ廻りコーキング	ＭＳ-2　10ｘ20	191.0	m			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
13	内外装工事						
	＜外部＞						
	角波ガルバリュウム鋼板	厚0.5	222.0	㎡			
	石膏ボード貼り	厚12.5	222.0	㎡			
	＜内部＞						
	ケイ酸カルシウム板	厚6.0　底目貼	52.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
14	雑工事						
	車止めブロック	W900xD300xH180	6.0	ヵ所			
	車止めブロック	W600xD190xH115	18.0	ヵ所			
	ライン引き	白　W150	45.2	m			
	粉末消火器	10型　消火器ケース（置型）共	4.0	ヵ所			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	電気設備工事						
Ⅰ	外灯設備撤去工事		1.0	式			
Ⅱ	外灯設備新設工事		1.0	式			
Ⅲ	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
Ⅰ	外灯設備撤去工事						
	外灯　　撤去	100W×４灯＋ポール	5.0	台			
	外灯基礎　撤去	500×500×900	5.0	台			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅱ	外灯設備新設工事						
	厚鋼電線管	GP28mm　　<露出>	4.0	m			
	硬質ﾋﾞﾆﾙ電線管	VE16mm　　<露出>	6.0	〃			
	波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ電線管	難燃FEP40mm　　<地中>	333.0	〃			
	〃	難燃FEP50mm　　<地中>	21.0	〃			
	600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線	EM-IE 1.6mm　　<樹脂内>	10.0	〃			
	架橋PE絶縁耐燃性PEｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ	600V EM-CE 5.5㎟-3C<樹脂内>	428.0	〃			
	〃	600V EM-CE 8㎟-3C<樹脂内>	9.0	〃			
	屋外用分電盤ﾎﾞｯｸｽ	ＬＨ－１	1.0	面			
	屋内用分電盤ﾎﾞｯｸｽ	Ｌ－１	1.0	面			
	LED外灯基礎	C100用　500×500×900	5.0	ヶ所			
	〃	駐車場1灯用　500×500×1200	8.0	ヶ所			
	〃	駐車場2灯用　500×500×1400	2.0	ヶ所			
	LED外灯	駐車場1灯用	8.0	台			
	〃	駐車場2灯用	2.0	台			
	〃	C100	5.0	台			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	埋設標識ｼｰﾄ 電力･通信･ｶﾞｽ用	150×50 2倍　ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ	364.0	m			
	接地極工事 銅覆鋼棒 打込式	φ14×1.5m~3連　DE	1.0	式			
	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 据付工事費	Ｈ２－９　Ｒ８Ｋ－60	1.0	ヶ所			
	配管土工費	201回路	1.0	式			
	〃	202回路	1.0	式			
	〃	201・202回路共通部分	1.0	式			
	塗装工費		1.0	式			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅲ	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備工事						
	ﾈｼﾞﾅｼ電線管	EP19mm　　<露出>	83.0	m			
	〃	EP25mm　　<露出>	59.0	m			
	〃	EP31mm　　<露出>	4.0	m			
	〃	EP39mm　　<露出>	21.0	m			
	露出ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ（ﾈｼﾞﾅｼ用）	E19 1個用 1方出	13.0	ケ			
	〃	E25 1個用 1方出	1.0	ケ			
	〃	E19 1個用 2方出	10.0	ケ			
	〃	E25 1個用 2方出	7.0	ケ			
	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ 鋼製 錆止め 端子無し	150×150×100mm	9.0	個			
	ﾚｰｽｳｪｲ(二種金属製線ぴ) 本体	(40×45)	75.0	m			
	〃	(70×50)	22.0	m			
	ﾚｰｽｳｪｲ付属品 ｶﾊﾞｰ	40×45用 L2m	75.0	m			
	ﾚｰｽｳｪｲ付属品 分岐ﾎﾞｯｸｽ	40×45用 L形2方出	1.0	個			
	〃	40×45用 T形3方出	3.0	個			
	ﾚｰｽｳｪｲ付属品 継ぎ金具	40×45用	18.0	個			
	ﾚｰｽﾀﾞｸﾄ付属品 ｶﾊﾞｰ	70×50用 L2m	22.0	m			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	ﾚｰｽﾀﾞｸﾄ付属品 分岐ﾎﾞｯｸｽ	70×50用 T形3方出	5.0	個			
	ﾚｰｽﾀﾞｸﾄ付属品 継ぎ金具	70×50用	5.0	個			
	PE絶縁耐燃性PEｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ 平形	EM-EEF 1.6mm-2C <鋼管内>	45.0	m			
	〃	EM-EEF 1.6mm-3C <鋼管内>	208.0	m			
	〃	EM-EEF 2.0mm-3C <鋼管内>	238.0	m			
	埋込ｽｲｯﾁ 新金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1Px1	2.0	組			
	〃	3Wx1	6.0	組			
	〃	4Wx1	1.0	組			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 新金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15Ax1 ｱｰｽﾀｰﾐﾅﾙ付	1.0	組			
	〃	2P15Ax2 接地極付	9.0	組			
	LED 照明器具	1灯 笠なし A401	20.0	台			
	〃	2灯 笠付 A402	2.0	台			
	LED照明器具	屋外ﾌﾞﾗｹｯﾄ B52	9.0	台			
	配電線架線金具 架線引留金具	L=220(ﾎﾞﾙﾄ付)	1.0	個			
	塗装工費		1.0	式			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
3	機械設備工事						
Ⅰ	給水設備工事		1.0	式			
Ⅱ	換気設備工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
I	給水設備工事						
	硬質塩化ビニール管	HI-VP20(地中埋設)	120.0	m			
	ｹﾞｰﾄ弁	20A	5.0	ヶ			
	弁桝	VC-P	5.0	ヶ			
	散水栓	T28KUNH13、ボックス(ステンレス製)共	4.0	ヶ			
	土工事		1.0	式			
	埋設表示シート		120.0	m			
	既設管接続		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅱ	換気設備工事						
	有圧換気扇	φ300　1112㎥/ｈ1φ100V 付属品共	1.0	ヶ			
	同上取付工事費		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
B	駐車場整備工事						
	整地		5,764.0	㎡			
	歩車道境界ブロック　A		229.0	m			
	歩車道境界ブロック　B		14.7	m			
	歩車道境界ブロック　B	両面Ｒ	35.1	m			
	地先境界ブロック　A		95.8	m			
	地先境界ブロック　C		51.9	m			
	排水管	VP100φ	10.4	m			
	排水管	VP200φ	7.1	m			
	排水管	VP250φ	9.0	m			
	排水溝	U-240	58.1	m			
	雨水会所	360角　T-2細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	1.0	ヵ所			
	雨水会所	400角　T-2細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	6.0	ヵ所			
	ｽﾁｰﾙ製細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	Ｔ-2	5.0	m			
	排水溝	ｺﾞﾄｳｺﾝｸﾘｰﾄ：UGF-S350同等スリット側溝	279.0	m			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	排水溝	ｺﾞﾄｳｺﾝｸﾘｰﾄ：UGF-S350同等 カット	11.0	ヵ所			
	集水桝	ｺﾞﾄｳｺﾝｸﾘｰﾄ： 都市型側溝 UGFS-350用	2.0	ヵ所			
	化粧枡	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ用 500角	3.0	ヵ所			
	アスファルト舗装	A-5-8-10（再生材）	4,899.0	㎡			
	インターロッキング敷	厚60	395.0	㎡			
	カラー舗装		457.0	㎡			
	排水溝	モルタル塗り	10.0	㎡			
	ライン引き	W150　白	1,465.5	m			
	ライン引き	シンボル	24.0	m			
	ライン引き	ゼブラ	28.0	m			
	植栽	ヒラドツツジ　0.5-0.5	94.0	本			
	植栽	サツキツツジ　0.4-0.5	123.0	本			
	低木植え込み手間		217.0	本			
	土壌改良材	バーク堆肥（50Ｌ/m2）	47.4	㎡			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	グラスパーキング		174.0	㎡			
	上記区画鋲		80.0	個			
	上記車止め		28.0	個			
	芝張り	高麗芝　べた張り	50.9	㎡			
	施設看板	敷地全体	2.0	ヵ所			
	障害者駐車場看板		2.0	ヵ所			
	車止めブロック		132.0	個			
	Ｉ型擁壁	W200　Ｈ＝270	43.4	m			
	歩行者用柵	ﾘｸｼﾙ：PN-Ｉ-Ｔ　H=800Ｃ Ｒｴﾝﾄﾞ　はね出し付	20.8	m			
	点字シート貼り	注意・誘導用 屋外ﾀｲﾌﾟ　のり付点字タイル	111.0	枚			
	擬石階段設置	TOYO：ギ石階段ブロック同等	13.0	m			
	錆び石積	既設再利用 0.6*0.3*0.2h	4.1	m			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
C	撤去工事						
1	外構撤去工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	外構撤去工事						
	縁石　撤去	180*180*600 0.6*0.9*0.3	0.0	m			
	排水溝　撤去	300*300	123.0	m			
	排水溝蓋　撤去		116.0	m			
	グレーチング蓋　撤去	W300	93.5	m			
	アスファルトカッター切		10.4	m			
	盛土撤去	H=300程度	33.2	m3			
	錆び石積　撤去	一部再利用 2段　0.3*0.6*0.2ｈ	0.0	m3			
	アスファルト撤去	車止め　撤去　共 積込共	51.6	m3			
	玉石舗装　撤去		0.7	m3			
	タイル貼　撤去	コンクリート共	152.0	m3			
	土間コンクリート　撤去		0.5	m3			
	インターロッキング　撤去		156.0	㎡			
	中木　撤去	抜根共	10.4	本			
	低木　撤去	抜根共　歩道部も含む	42.0	本			
	鋼管柱撤去	図書館電話送り用	2.0	本			
	Ｐ計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	標識撤去	30*50cm	2.0	枚			
	ライン消し	シンボル共	52.0	m			
	＜発生材運搬費＞						
	アスファルト類		152.0	m3			
	コンリート類		48.6	m3			
	鉄くず類		0.2	m3			
	木くず類		4.0	m3			
	残土		47.0	m3			
	＜発生材積込み＞						
	アスファルト類		152.0	m3			
	コンリート類		48.6	m3			
	鉄くず類		0.2	m3			
	木くず類		4.0	m3			
	残土		47.0	m3			
	Ｐ計						
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
D	処分工事						
1	外構処分費		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	外構処分費						
	アスファルト類		358.0	t			
	コンリート類		97.0	t			
	鉄くず類		1.4	t			
	木くず類		2.0	t			
	残土		84.6	t			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　額	備　　考
E	その他工事						
1	福祉センター駐車場		1.0	式			
2	キャノピー設置工事		1.0	式			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	福祉センター駐車場						
	掘削		3.5	m3			
	整地		10.3	m3			
	AS舗装	ｱ50	41.3	㎡			
	上層路盤	ｱ150	41.3	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ	F150-15	5.0	m3			
	砕石基礎	ｱ100	1.5	m3			
	型枠		8.6	㎡			
	白線	W=150	15.0	㎡			
	ネットフェンス	H=1200	29.0	㎡			
	車止め		6.0	㎡			
	計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	キャノピー設置工事						
	掘削		44.4	m3			
	残土処分		10.8	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ 基礎	F150-15	25.8	m3			
	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	F150-15	1.8	m3			
	砕石基礎	ｱ100	6.0	m3			
	型枠	基礎型枠	99.0	㎡			
	シェルター本体	SOB 5857LD	1.0	棟			
	計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
小庇　W1400*D900		円／m				代-1
名　　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
小庇　アルミ製既製品	W1,400*D900					
	アルフィンＡＤ2(樋無し)　同等	1.00	カ所			
シーリング	ＭＳ－２	2.80	m			
特殊作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
車止めブロック		円／台				代-2
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
車止めブロック	W900xD300xH180	1.00	個			
接着剤		0.12	ｋｇ			
土木世話役			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
車止めブロック		円／台				代-3
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
車止めブロック	W600xD190xH115	1.00	個			
接着剤		0.13	ｋｇ			
土木世話役			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
消火器		円／台				代-4
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
ABC10型消火器		1.00	台			
消火器設置台		1.00	台			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
市販会所　360角		円／10m				代-5
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
360角市販会所		1.00	ヶ所			
コンクリート蓋	控除	1.00	ヶ所			
細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋		1.00	ヶ所			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
市販会所　400角		円／10m				代-6
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
360角市販会所		1.00	ヶ所			
360角	本体+蓋	1.00	ヶ所			
400角	本体	1.00	ヶ所			
細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋		1.00	ヶ所			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
ｽﾁｰﾙ製細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ		円／10m				代-7
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾁｰﾙ製細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	歩道用　H=15　ピッチ15	10.00	個			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
スリット側溝		円／10m				代-8
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
掘削	1.42*0.76*10	10.80	m3			
埋戻し	10.80-3.92	6.88	m3			
残土処分	場内敷き均し	3.92	m3			
捨てコンクリート	Ｆ18-15　0.52*0.06*10	0.30	m3			
上記カート打ち		0.30	m3			
砕石敷き	再生材　0.52*0.1*10	0.50	m3			
スリット側溝	ｺﾞﾄｳｺﾝｸﾘｰﾄ：UGF-S350同等	5.00	本			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
トラッククレーン賃料	油圧伸縮シブ型　4.9ｔ吊		日			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
集水桝		円／10m				代-9
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
掘削	1.57*2.35*1.41	5.20	m3			
埋戻し	5.20-1.12	4.08	m3			
残土処分	場内敷き均し	1.12	m3			
捨てコンクリート	Ｆ18-15　0.62*1.35*0.06	0.10	m3			
上記カート打ち		0.10	m3			
砕石敷き	再生材　0.62*1.35*0.1	0.10	m3			
集水桝	ｺﾞﾄｳｺﾝｸﾘｰﾄ：UGF-S350同等	1.00	ヶ所			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
トラッククレーン賃料	油圧伸縮シブ型　4.9ｔ吊		日			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
化粧枡		円／10m				代-10
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
化粧枡	500角	1.00	ヶ所			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
トラッククレーン賃料	油圧伸縮シブ型　4.9ｔ吊		日			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
施設看板		円／1ヶ所				代-11
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
掘削	1.6*1.6*0.5*2	2.56	m3			
埋戻し	2.56-0.46	2.10	m3			
残土処分	場内敷き均し	0.46	m3			
基礎コンクリート	Ｆ18-15　0.6*0.6*0.5*2	0.36	m3			
上記カート打ち		0.36	m3			
普通型枠	基礎　運搬共	2.40	m2			
砕石敷き	再生材　0.7*0.7*0.1*2	0.10	m3			
施設看板	コトブキ　UC-119036B同等	1.00	ヶ所			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
障害者駐車場看板		円／1ヶ所				代-12
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
掘削	1.3*1.3*0.5	0.85	m3			
埋戻し	0.85-0.07	0.78	m3			
残土処分	場内敷き均し	0.07	m3			
基礎コンクリート	Ｆ18-15　0.3*0.3*0.5	0.05	m3			
上記カート打ち		0.36	m3			
普通型枠	基礎　運搬共	0.60	m2			
砕石敷き	再生材　0.7*0.7*0.1*2	0.02	m3			
障害者駐車場看板	コトブキ　UC-05010M同等	1.00	ヶ所			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
Ｉ型擁壁		円／10m				代-13
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
掘削	1.2*0.73*10	8.76	m3			
埋戻し	0.85-0.07	8.06	m3			
残土処分	場内敷き均し	0.70	m3			
捨コンクリート	Ｆ18-15　0.4*0.4*0.06*10	0.10	m3			
上記カート打ち		0.10	m3			
基礎コンクリート	Ｆ18-15　0.2*0.57*10	1.14	m3			
上記カート打ち		1.14	m3			
普通型枠	基礎　運搬共	11.40	m2			
砕石敷き	再生材　0.4*0.4*0.1*10	0.16	m3			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
歩行者用柵		円／10m				代-14
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
歩行者用柵	ﾘｸｼﾙ：PN-Ｉ-T　H=800C　Rｴﾝﾄﾞ　はね出し付	10.00	m			
上記	Rｴﾝﾄﾞ	2.00	ヶ所			
上記	はね出し	2.00	ヶ所			
土木世話役			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
点字シート貼り		円／10ヶ所				代-15
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
点字シート貼り	のり付点字タイル	10.00	枚			
土木世話役			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
擬石階段設置		円／10m				代-16
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
擬石階段設置	TOYO：ギ石階段ブロック同等	17.00	個			
調整モルタル	1：3	1.32	m3			
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
錆び石積		円／10m				代-17
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
錆び石積	既設再利用					
土木世話役			人			
特所作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
ピンコロ石		円／10m2				代-18
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
ピンコロ石	既設再利用	100.00	個			
均しモルタル	1：3	0.30	m3			
ブロック工			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
アスファルト舗装解体		円／m3				代-19
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
バックホウ	0.8m3		日			
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						
バックホウ	1日当たり					
バックホウ	0.8m3		日			
軽油		109.0	リットル			
特殊運転手			人			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
中木　撤去		円／本				代-20
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
バックホウ	0.5m3		日			
チェンソー			日			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						
バックホウ	1日当たり					
バックホウ	0.5m3		日			
軽油		78.0	ﾘｯﾄﾙ			
特殊運転手			人			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
低木　撤去		円／本				代-21
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
バックホウ	0.5m3		日			
チェンソー			日			
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						
バックホウ	1日当たり					
バックホウ	0.5m3		日			
軽油		78.0	ﾘｯﾄﾙ			
特殊運転手			人			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
錆び石積　撤去		円／式				代-22
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
普通作業員			人			
その他		1.00	式			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
仮囲い（フェンスバリケード+単管控え+ｼｰﾄ張り）		円／式				代-23
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
フェンスバリケード	基本料	1.0	台			
フェンスバリケード	賃貸料金		日			
スチールベース	基本料	1.0	台			
スチールベース	賃貸料金		日			
フェンスバリケード		1.0	台			
スチールベース		1.0	台			
シート張り	単管・防炎シート　H2000	1.8	m			
とび工	人/m2		人			
防炎シート	賃貸基本料　1.8*1.5		枚			
防炎シート	賃借料　1.8*1.5		日			
合　計						

代価表

細　　目		単　　位		摘　　要		代価番号
芝張り　撤去（集草・積込・荷卸共）		円／㎡				代-24
名　称	形状・寸法	員　数	単位	単　価	金　額	備　考
世話役			人			
特殊作業員			人			
普通作業員			人			
機械損料	草刈機（エンジン式）		日			
その他		1.00	式			
合　計	（1000㎡当たり）					

第５様式

代　価　表

＜代価表　1　＞						当　代　価　表
			金		円	
1 給水設備工事						
内　　訳						
名　　称	状形・法寸・格規	単位	数　量	単　価	金　　額	摘　要
散水栓	1個あたり					
散水栓	T28KUNH13	個	1.0			
散水栓ボックス	ステンレス製	個	1.0			
配管工		人工				
その他		%				
＜計＞						
埋設表示シート	1ｍあたり					
埋設表示シート		m	1.0			
配管工		人工				
その他		%				
＜計＞						
既設配管接続	1ヶ所あたり					
耐衝撃性硬質塩化ビニル	地中埋設　HIVP20A	m	0.5			
配管工		人工				
その他		%				
＜計＞						

第５様式

代　価　表

＜代価表　２　＞				当　代　価　表		
			金		円	
２ 換気設備工事						
内　　訳						
名　　称	状形・法寸・格規	単位	数　量	単　価	金　　額	摘　要
有圧換気扇	１台あたり					
有圧扇	φ300　1112㎥/ｈ1φ1(	ヶ	1.0			
ウェザーカバー	ステンレス製	ヶ	1.0			
取付用木枠		ヶ	1.0			
シャッター	風圧式	ヶ	1.0			
バックガード		ヶ	1.0			
＜計＞						
取付工事費	１台あたり			人工		
有圧換気扇	φ300　1112㎥/ｈ1φ1(	組	1.0			
機械設備工		人工				
その他		%				
＜計＞						

加東市庁舎南駐車場等整備工事

加　東　市

図面リスト

No.	SCALE	図　面　名	No.	SCALE	図　面　名	No.	SCALE	図　面　名	No.	SCALE	図　面　名
＜車庫・屋外駐車場＞											
A - 01	——	図面リスト	C - 01	——	構造特記仕様書	E - 01	——	特記仕様書			
A - 02	——	設計概要	C - 02	——	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	E - 02	——	分電盤図計画書			
A - 03	——	建築工事特記仕様書（１）	C - 03	——	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	E - 03	1:500	外灯設備撤去配置図			
A - 04	——	建築工事特記仕様書（２）	C - 04	——	鉄骨工作標準図（1）	E - 04	1:500	外灯設備改修配置図			
A - 05	——	建築工事特記仕様書（３）	C - 05	——	鉄骨工作標準図（2）	E - 05	1:100	車庫電灯・コンセント設備図			
A - 06	——	建築工事特記仕様書（４）	C - 06	1:100	基礎伏図						
A - 07	1:300	配置図	C - 07	1:100	小屋梁伏図・部材リスト						
A - 08	1:300	敷地求積図	C - 08	1:100	軸組図（1）						
A - 09	1:100,200	仕上表・建物求積図	C - 09	1:100	軸組図（2）						
A - 10	1:100	平面図・屋根伏図	C - 10	1:100	軸組図（3）	M - 01	——	機械設備　特記仕様書			
A - 11	1:100	立面図	C - 11	1:30	基礎詳細図（1）・継手・仕口リスト	M - 02	1:500	給排水設備（配置図）			
A - 12	1:100	断面図	C - 12	1:30	基礎詳細図（2）・柱脚リスト	M - 03	1:50	換気設備（車庫平面図）			
A - 13	1:50	平面詳細図	C - 13	1:30	鉄骨架構詳細図（1）						
A - 14	1:10,50	矩計詳細図	C - 14	1:30	鉄骨架構詳細図（2）						
A - 15	1:100	展開図	C - 15	1:30	継手・仕口リスト						
A - 16	1:100,200	建具キープラン・建具リスト									
B - 01	1:500	仮設計画図									
B - 02	1:500	現況撤去平面図									
B - 03	1:500	造成計画平面図									
B - 04	1:400 1:25・50	造成計画平面詳細図・断面詳細図（1）									
B - 05	1:400 1:50	造成計画平面詳細図・断面詳細図（2）									
B - 06	1:250	現況断面図									
B - 07	1:250	造成計画断面図									
B - 08	1:25・50	造成計画断面詳細図									
B - 09	1:50	キャノピー・福祉センター舗装工事図									

CHECK　DRAWING

工事名　加東市庁舎南駐車場等整備工事　DATE　H 26・08　PROJECT No.　140606　SHEET No.　A - 01

図面名　図面リスト　SCALE　A2 -　A3 -

設 計 概 要

一般事項

工事名称	加東市庁舎南駐車場等整備工事		建築主	加東市	
敷地	敷地位置	兵庫県加東市社50番地の一部	工事概要	工事種別	◎新築　・増築　・別棟増築　・増改築　・改築　・移転 ・用途変更　・大規模の修繕　・大規模の模様替え
	用途地域	・第1種低層住専　・第2種低層住専　・第1種中高層住専 ・第2種中高層住専　・第1種住居　◎第2種住居　・準住居 ・近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用　・指定なし		主要用途	自動車車庫
	防火地域	・防火　・準防火　・法22条の地域　◎指定なし ・2つの地域にわたる場合　（防火　準防火　） ㎡		駐車場等	-
	その他の指定	・美観地区　・風致地区（国定公園）　・駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区　・宅地造成工事規制地区　・砂防地区 ・総合的設計による1団地　・特定街区　・住居系指向地区 ◎景観形成地区		工作物等	
				工期予定	平成26年11月契約日の翌日～平成27年3月25日　（工事完了引渡日とする）
道路	道路巾員	敷地　東側：6.8m　北側：6.45m　西側：4.3m	規制	高度地区	
				高度利用地区	
面積	敷地面積	2,663.23 ㎡		斜線規制	◎道路斜線　◎隣地境界斜線　・北側斜線
				総合設計	
				建蔽率	60 %
				容積率	200 %

算入面積	申請部分	申請以外の部分	合計
イ．建物全体	299.22		299.22
ロ．地階の居住部分			
ハ．自動車車庫等の部分	299.22		299.22
ニ．住宅の部分			

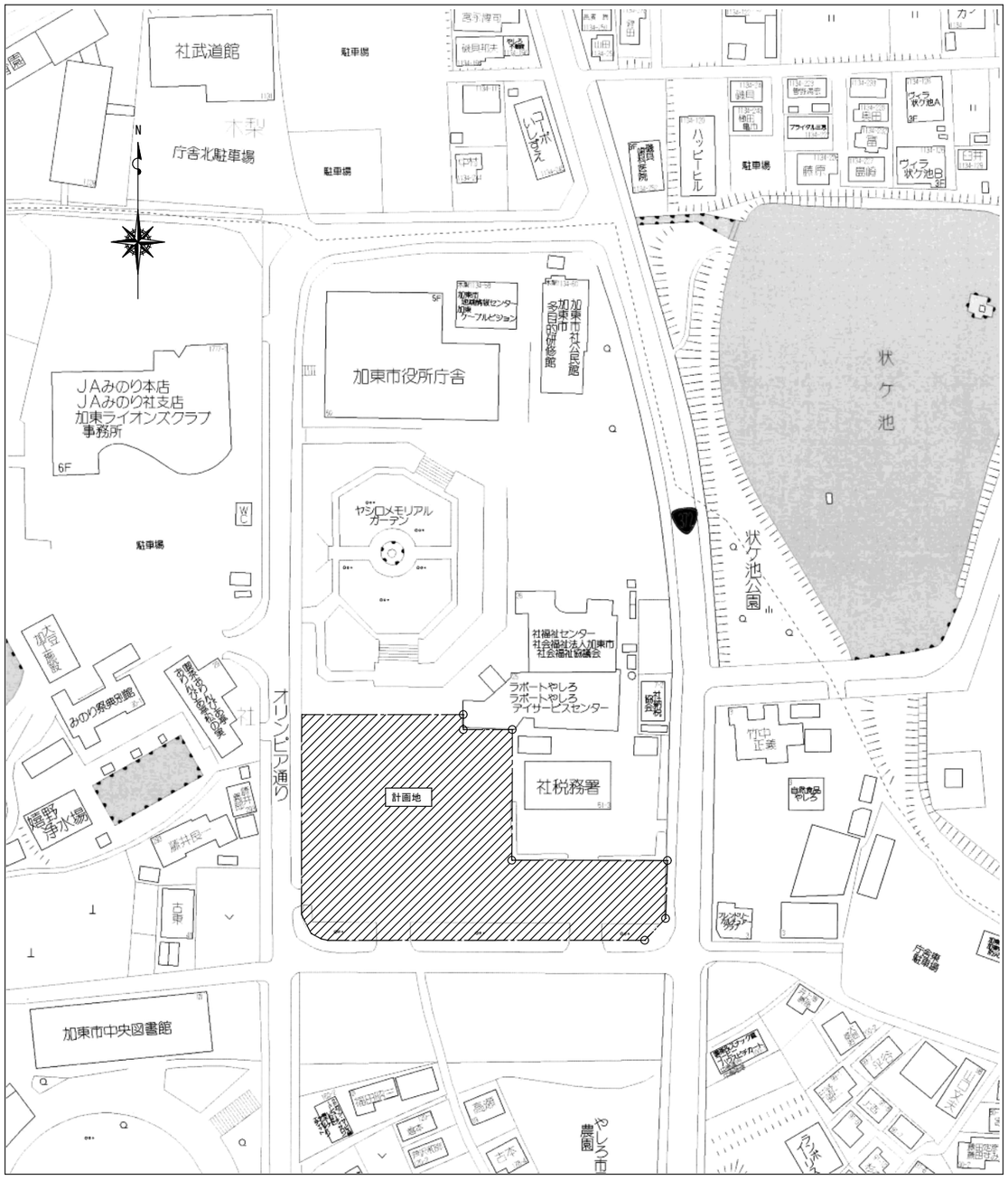
2. 建築物概要（棟別）

棟　名	
建物用途	自動車車庫
防火対象物	防火対象物（６）項ロ
工事種別	新築
構造・規模	Ｓ造　平屋建
基礎・杭	直接基礎
屋　根	ハゼ式折板カラーガルバリウム鋼板葺き　厚0.8（山高90）ベフ貼
外　壁	角波ガルバリウムカラー鋼板張　厚0.5+ＰＢ厚12.5
軒　裏	屋根裏表し
建築面積	307.54 ㎡
延べ面積	239.38 ㎡（自動車車庫等の部分 59.84 ㎡　除く）

各階床面積

階	床面積 ㎡	階高 m	階別用途	床面積 ㎡	階高 m	階別用途	床面積 ㎡	階高 m	階別用途
1　階	299.22	4.93 m	自動車車庫						
合　計（ ）㎡	299.22								

高さ				
イ．設計ＧＬの指定	82.65		
ロ．標準地盤面の設計	—		
ハ．建築物の高さ（令2条の六）	—		
ニ．軒　高	4.32 m		
ホ．最高高さ	4.93 m		
ヘ．基礎深さ	—		



CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・08	PROJECT No. 140606
		図面名	設計概要	SCALE A2 - A3 -	SHEET No. A - 02

加東市庁舎南駐車場等整備工事　　工事設計図

平成 26 年 6 月

仕様書

Ⅰ 工事概要

加東市庁舎南駐車場等整備工事

1. 工事場所　兵庫県加東市社50番地の一部
2. 敷地面積　2,663.23 ㎡
3. 工事種目　建築主体工事
   電気設備工事
   機械設備工事
   外構工事
4. 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

② 仮設工事	工事範囲全て
③ 土工事	
④ 地業工事	
⑤ 鉄筋工事	
⑥ コンクリート工事	
⑦ 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
⑨ 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
⑬ 屋根及びとい工事	
⑭ 金属工事	
⑮ 左官工事	
⑯ 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
⑱ 塗装工事	
19 内装工事	
⑳ その他の工事	

5. 別途工事の範囲

6. 工事条件

・建築一式工事に係る建築業法（昭和24年法律第100号）第3条第6項の特定建設業の許可を受けている者であること。
・次に掲げる基準を満たす監理技術者を契約工期中（竣工検査合格後を除く。）専任で配置できること。
　ア） 一級建築工事施工管理技士又は建築士法による一級建築士の資格を有する者。
　イ） 建設業法第27条の18第1項に規定する監理技術者資格者証（建築一式に限る。）の交付を受けている者。

・設計書の数量並びに項目は参考とし、設計図及び設計書を併合し、何れかにあるものは工事に含み、何れにもない場合でも当然必要と思われるものは業者にて積算を行うこと。質疑日までに質疑なき場合は入札後の異疑は申し受けない。

・追加・変更工事については、市単価×落札率に依って変更の増減を行う。

・本工事について、関連諸官庁の手続き及び関連業務の一切を見込むこと、又材料、施工方法については十二分に検討を行ない施工するものとする。

・本工事に配置する交通誘導員は、原則として警備員等の検定等に関する規則（平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号）等に基づき、交通誘導警備検定合格者（１級又は２級）を規制箇所毎に１名以上配置すること。
誘員者は配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証の写しを施工計画書若しくは下請届の書類に添付し工事監理者に提出のこと、また工事施行にあたっては労務管理を厳正に行ない、安全を期するほか近隣住民に対しては適切な処置を行ない工事の円滑を計ると共に、工事の為の隣家等への損害の補償及び補修は誘員者の負担で行なうものとする。

・工事施工期間において庁舎周辺で来庁舎の駐車不足が発生することが予想されます。仮囲い施工時期及び実施の範囲については柔軟な対応を行うものとし、安全に十分注意を払い万一にも事故等無いよう努めること。が

・次の項目を工事範囲とする。
　ア）連接するラポート社、福祉センター、社税務署の雨水排水、給水、汚水排水等埋設配管について、工事施工上支障となる場合は迂回路、接続処置を工事範囲として行うものとする。
　また、工事の際しては各施設の運営に支障なきよう調整すること。

Ⅰ 建築工事仕様

1. 共通仕様
（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）及び「兵庫県土木設計業務等委託必携」による。

2. 特記仕様
（1）項目は、番号に○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
　○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　○ 印と◎ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
（6）Ⓖ印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成17年版） ・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・ ・
	②工事実績情報の登録	※適用する　(1.1.4)
	3 品質計画	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2) ※風速（Vo＝ 34 ） ※地表面粗度区分（ Ⅰ　Ⅱ　Ⓑ　Ⅳ ） ・積雪区分　建告示第1455号　別表（　） ・
	④電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　(1.3.3) ○要　・不要
	5 条件明示項目	(1.3.5)
	⑥発生材の処理等	※現場説明書による○・構外搬出適切処理　(1.3.8)
	⑦建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 Ⓐ JIS及びJASのＦ☆☆☆規格品 Ⓑ 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 Ⓒ 下記表示のあるJAS規格品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 Ⓐ JIS及びJASのF☆☆☆規格品 Ⓑ 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 Ⓒ 旧JISのEo規格品 Ⓓ 旧JASのEo規格品
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

章	項目	特記事項
	⑩技能士	(1.5.2) 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ・とび作業 鉄筋工事 ・鉄筋組立作業 コンクリート工事 ・型枠施工　・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ○構造物鉄工事作業　・とび作業 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ・アスファルト防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業　・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ・石張り作業 タイル工事 ・タイル張り作業 木工事 ・大工工事作業 屋根及びとい工事 ・内外装板金作業　・スレート工事作業 金属工事 ・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 左官工事 ・左官作業 建具工事 ・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ・金属製カーテンウォール工事作業　・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 塗装工事 ・建築塗装作業 内装工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業 排水工事 ・建築配管作業 舗装工事 ・溶剤ペイントハンドマーカー工事作業　・加熱ペイントマジンマーカー工事作業 植栽工事 ・造園工事作業
	11 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定条件は、監督職員の指示による 測定対象物の濃度を測定し、報告すること。 着工前の測定　※行わない　・行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・ 報告の様式等については、現場説明書による。
	⑫完成図等	※作成する　・作成しない　(1.7.1～3)（表1.7.1） 当該建物の取得する施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に委譲するものとする 完成時の提出図書　(1.7.1) ※完成図　提出部数　※各2部　・　部 ※施工計画書　提出部数　※2部　・　部 ※施工図　提出部数　※2部　・　部（原図の他に複写図1部を追加する） ※保全に関する資料　提出部数　※2部　・　部 完成図の種類及び記入内容 ○設計図　全枚 ・標準仕様書（表1.8.1）に構造関係資料（写真・品質管理関係等）を追加する ・標準仕様書（表1.8.1）のうち監督職員の指示するもの 完成図の作成様式及び複写図の提出部数 ・金文字黒表紙A4ファイル製本　・２部　・　部 ○A2二つ折り製本　○ ２部　・３部 ○A3二つ折り製本　○ ２部　・　部 ○CADデータ
	⑬完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。 ○カラー　撮影箇所数　提出部数　原板の大きさ（mm） ※キャビネ版　外部（10 ）内部（2 ）　※2 ・6　※100×125以上 ※ぺた焼　完成写真は全文字白表紙アルバムとし2部提出する （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出） ・カラー半切木製パネル 324×400（mm）　外部（　）内部（　）　※2 ・ ○電子データ　外部（10 ）内部（2 ）　※2 ・　※200万画素以上 ※300dpi以上 100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめぺた焼を提出し確認を受ける。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者 （ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
	⑭設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑮設計ＧＬ	※図示　・設計GL＝現状GL
	⑯工事写真	・「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。
2 仮設工事	1 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による　構内に新設（20m2程度）　(2.3.1) （監督職員事務所の備品を含む）
	②工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
	③工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　(2.3.1)
3 土工事	①埋戻し及び盛土	種別　・A種　※B種　・C種　・D種　(3.2.3)（表3.2.1） ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ
	②建設発生土の処理	※現場説明書による　○・構外搬出適切処理　(3.2.5) ・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し
4 地業工事	1 既製コンクリート杭地業	種別　(4.3.2) ※高強度プレストレストコンクリート杭 ・ 杭径（mm）／杭長（m）及び種別／継手数／セット数／備考 試験杭 本　杭

章	項目	特記事項
		先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.2) 杭の継手　建築基準法に基づく指定機関において性能評定を受けた無溶接継手を使用してもよい。　(4.3.6) 杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.7) 施工法　(4.3.3～5) ・特定埋込み杭工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=　、β=　、γ=を採用できる工法 工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀拡大根固め工法 杭周固定液　・使用する ・
	2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.3)（表4.5.1） （　）種かつ（　）N/mm 以上 鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.3) セメントの種類　高炉セメントB種 Ⓖ　(4.5.3) 掘削工法　・アースドリル工法（・安定液使用　・無水掘削）　(4.5.4、5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張　・行う　・行わない） ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法（※安定液使用　・　） ・ 側壁測定　・行う（　）　・行わない　(4.5.4)
	③砂利地業	※再生クラッシャラン Ⓖ　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.2)
	4 床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ビット下を除く）　(4.6.6)
	5 地盤改良	工法　・　浅層混合処理工法 ・　室内事前配合試験　・　六価クロム溶出試験　・　一軸圧縮試験
5 鉄筋工事	①鉄筋の種類	(5.2.1)　(表5.2.1) 種類の記号 ／ 呼び名（mm） ・SD295A ／ ※D16以下　・ ・SD345 ／ ※D19以上　・
	②鉄筋の継手	D19以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
	③鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 ／ 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm） ・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面 ／ ※10　・ ・
	4 既製コンクリート杭の杭頭補強	・A形　・B形　※図示　(別1.1)
	5 最上階柱頭補強	・行う　・行わない　(別2.1)
	⑥帯筋	※H形（口は除く）　・　(別2.2)
	7 壁開口部の補強	一般壁　・A形　※B形　・図示　(別4.2)（別表4.3,4） 耐震壁　※図示
	8 梁貫通孔の補強形式	※H形　・MH形　・M形　(別7.1)（別表7.1～3）
	9 機械吊上げ用フック	・A種　・B種　・C種（　ヶ所）　(別7.3)
	⑩圧接完了後の試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	①普通コンクリートの設計基準強度	(6.1.4) 設計基準強度Fc（N/mm）² ／ 施工箇所 ◎21+3 ／ 基礎・基礎梁・柱・梁・スラブ ○18 ／ 捨てコンクリート
	②レディーミクストコンクリートの類別	※Ⅰ類　Ⅱ類　(6.4.1,2)（表6.2.1）
	③スランプ	基礎、地中梁　土間スラブのスランプ　15cm　、　一般のスランプ　18cm　(6.2.4)
	④セメントの種類	(6.3.2)　(6.13.2)　(6.16.2)　(表6.3.1) セメントの種類 ／ 施工箇所 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ／ 下記以外の全て ・高炉セメントB種 Ⓖ ／ 1FL より下部（立上り部含む） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱　7d　352J/g以下 水和熱　28d　402J/g以下
	Ⓔ骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　(6.3.3)　(6.5.4) ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3.0kg/m 以下）
	⑥混和材料	※混和剤　・混和材　(6.3.5)　(6.4.8)
	7 無筋コンクリート	設計基準強度Fc（N/mm ）²　※18　(6.14.3) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 Ⓖ（捨てコンクリート）
	8 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm 以上かつ、2.5分/m 以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ　※20mm　・ ※施工範囲は図示による。
	9 断熱材兼用型枠	適用及び適用個所について 標仕19章内装工事14断熱材による。

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No. / SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・08	140606 / A - 03
		図面名	SCALE	
		建築工事特記仕様書（１）	A2 - A3 -	

7 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場
製作工場の加工能力 (7.1.3)
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（R ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

2 入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示（ ）
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示 ・

3 施工管理技術者
適用する (7.1.3、4)

④ 鋼材
鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.4) (表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
BCR295	柱	※JIS規格による
SS400	大梁、小梁他	※JIS規格による
SN490C	ダイヤフラム	※JIS規格による
SNR400B	ブレース	※JIS規格による
SSC400	母屋、胴縁	※JIS規格による

5 スカラップ
改良型スカラップ

6 エンドタブ
鋼製エンドタブ
切断する個所（ ）

⑦ 高力ボルト
※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.2.2) (7.12.4)

⑧ 溶接部の試験
A0QL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)
検査水準 ※第6水準 ・図示 (7.6.11) (表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11 (b) による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

9 耐火被覆 (7.9.2~6)

種 別		所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

⑩ アンカーボルトの保持及び埋込み工法
Ⓒ 構造用アンカーボルト （※図示 ・ ）
・建方用アンカーボルト （・A種 ※B種 ・C種） (7.10.3) (表7.10.1)

⑪ 柱底均しモルタル工法
※A種 ・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)
無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）：砂＝1：2

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内
無収縮性	材齢7日 収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日 25.0N/mm 以上 材齢28日 45.0N/mm 以上
付着強度	材齢28日 3.0N/mm 以上
塩化物量	0.30kg/m 以下
試験方法	1）日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。 2）塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

12 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.3) (表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材 料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	外部鉄部 全て
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造
※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16－W (8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
※標仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)

適用箇所		厚さ（mm）
・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁		・
・塀	2m以下	・120
	2mを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・

3 ＡＬＣパネル (8.4.2~6) (表8.4.3,4)

種 類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法種別
・外壁パネル	・1180 ・1960	※100 ・	・A種 ・B種 ・C種
・間仕切壁パネル		※100 ・	・B種 ・C種 ・D種 ・E種
・屋根パネル	・980	※100 ・	※標仕8.4.6による
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150	

・床パネルの耐火性能（・1時間 ・2時間）

4 押出成形セメント板（ECP） (8.5.2~5) (表8.5.1,2)

種 類	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	工法種別
・外壁パネル	※F ・F－R			・A種 ・B種
	・D ・D－R			
	・T ・T－R			
・間仕切パネル	※F ・F－R			・B種 ・C種
	・D ・D－R			
	・T ・T－R			

耐火性能 ・有り（ ）
・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水 (9.2.2,3) (表9.2.3~8)

種 別	施工箇所
※AⅠ－2	
・A－2	
・D－2	
・BⅠ－2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材 厚さ（mm） ※25 ・ (9.2.2)
ただし、ノンフロンのもの Ⓖ
立上り部の保護
・乾式保護材 ※押出成形セメント板（厚さ 15mm） (9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~4) (表9.3.1)

種 別	・AS－1 ・AS－2	厚 さ	（ ）
施工箇所	・		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2,3) (表9.4.1)

種 別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S－F1	※1.2 ・		・シルバー	※非歩行
・S－F2	※2.0 ・		・カラー	・軽歩行
・S－M1	※1.5 ・			
・S－M2	※1.5 ・			
・S－M3	※1.2 ・			

4 塗膜防水 (9.5.2,3) (表9.5.1,2)

種 別	施工個所	備 考
・X－1		仕上げ塗料塗り ・シルバー ・カラー
・X－2		
・Y－1	地下外壁防水	Y－2工法の保護シート
・Y－2		※適用する ・適用しない

X－1の脱気装置
・設ける 材質（ ） 設置数量（ ㎡ 当たり1箇所）

⑤ シーリング
下表以外は、標仕表9.6.1による (9.6.2) (表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り	MS2
水切り廻り	MS2

※シリコーンシーリング材は、防カビ性・防汚染性のものを使用する

10 石工事

1 天然石張り
石の種類・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1,2)

施工箇所	種 類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り
種石の種類 ※大理石 ・ (10.2.1) (表10.2.2)
表面仕上げ ※本磨き ・
形状・寸法 ※図示

3 壁の石張り工法
外壁石張り (10.3.2,3) (10.5.2,3)
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法 ・ ）
・乾式工法
石裏面処理 ・行う（・小口共）
裏打ち処理 ・行う
ドレンパイプ ※ステンレスSUS304 ・

内壁石張り (10.4.2,3) (10.5.2,3)
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
石裏面処理 ・行う（・小口共）
裏打ち処理 ・行う

4 床及び階段の石張り
床石張りの裏面処理 ・行う (10.6.2)
屋内のワックス掛け ・行う (10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル
タイルの種類 (11.2.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	うわぐすり 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 Ⓖ	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ）

2 張り付け用材料
既製調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (11.2.3)

3 壁タイル張りの工法
内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り (11.3.3) (表11.3.2)

外装タイル ※密着張り ・マスク張り
躯体表面の処理 ・行わない ※行う（施工範囲 ※図示 ・ ）
躯体表面の処理方法 MCR工法又は目荒し工法（6章コンクリート工事）
下地モルタル塗り ※標仕15.2.2~15.2.5
タイルの試験張り ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ ） (11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法 (11.2.2) (11.4.2) (表11.4.1)

種 別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル ・二丁掛タイル	※標仕6.9.3［材料］(b) (2) 又は 金属製タイル先付け用パネル
	大型タイル	・

12 木工事

1 木材の品質
※標仕12.2.1 ・市販品 (12.2.1)
・保存処理木材を適用する箇所（ ）

2 樹種
※標仕表12.2.3による (12.2.1) (表12.2.3)
・代用樹種を適用しない箇所（ ）

3 集成材等 Ⓖ (12.2.2)

品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	※1級 ・2級	・	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

4 接着剤
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.6)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

5 防腐・防蟻処理
行う箇所（ 木部すべて ） (12.2.8,9)
防腐処理 ※行う（※標仕12.2.8（C）による ・図示 ）
防蟻処理 ・行う（※図示 ・ ）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

6 床板張り
フローリング及び縁甲板張り床 (12.7.1) (表12.7.1)

下張り用床板	※無し	
	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	・板張り	
床板	・縁甲板	※ひのき ・

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺 (13.2.2,3) (表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR－20－AZ150） ・フッ素ガルバリウム鋼板 ・カラーガルバリウム鋼板	※0.4 ・0.45 ・0.5

屋根葺工法 ※図示
下葺材料 ※アスファルトルーフィング940 ・

② 折板葺 (13.3.2,3) (表13.2.1)

形 式	※重ね形 ○ はぜ締め形 ・かん合形
形状（mm）	山高（ 90 ） 山ピッチ（ 300 ） 板厚※0 Ⓔ ・0.8
材 料（規格等）	ポリカーボネイト t1.5 ・
軒先面戸板	※有り ・無し
断 熱 材	※有り（種別： 厚さ： mm） ・無し
耐火性能	※30分耐火 ・無し

③ とい
材 種 ※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管○ ・カラーVP (13.5.2) (表13.5.1)
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） Ⓖ
・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） Ⓖ
軒 樋 ○ 軒樋 塩ビ製大型角とい 超芯V型V500 積水化学工業 同等

鋼管製といの防露 ※標仕表13.5.5による (13.5.3) (表13.5.5)
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

掃 除 口 ※有り（図示） ・無し

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)

種 類	施工箇所
※HL程度	下記以外の見え掛かり全て
・No.2B程度	
・鏡面仕上げ	
・	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)

種 別	施工箇所
・B－1種（無着色）	
・B－2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）	
・	

3 鉄の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 軽鉄天井下地
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊ボルトの補強を行う。
耐震補強 ・あり（図示）
屋外軒天井及びピロティー天井補強 ・あり（図示）

5 金属成形板張り (14.6.2) (表14.2.1)

形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・B－1種 ・B－2種（ ） ・
・パネル形	※プレス ・				

伸縮調整継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示）

6 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1)

種 類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備 考
・250形	1.6以上	※A－1又は B－1種 ・B－2種 （ ）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上			
・100形				
・				

7 手すり及びタラップ (14.2.1) (14.8.2,3) (表14.2.2)

種 類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度 ・鏡面程度 ・
	・鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 ・ 内部 ※E種 ・
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し ・
	・鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種 ・

⑧ その他
・ 木小屋組み用角部材（ ※ 図示） ○ 水切・ケラバ包みの製作金物（ ※ 図示）

15 左官工事

1 モルタル塗り材料
吸水調整材 (15.2.2)

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） (15.2.2)
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JISA1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

安全性、膨張性のひび割れ及びぜそりがないこと。（JISR5201の試験9）

2 床コンクリートの直均し仕上げ
下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4) (15.3.1,2)

施工箇所	平たん さ（mm）	備 考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7以下	

3 仕上塗材仕上げ (15.5.2) (表15.5.1)

種 類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・
	・可とう形外装薄塗材Si	・
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材Si	・
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性 ※3種 ・
	・複層塗材Si	上塗材
	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	※複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系
	・複層塗材RS	・
	・防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・つやなし
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材 ※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

④ コンクリート直押え
⑨ 図示

CHECK DRAWING

工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事
図面名 建築工事特記仕様書（２）

DATE H 26・08
PROJECT No. 140606
SHEET No. A－04
SCALE A2 － A3 －

16 建具工事

1 見本の製作等　・特殊な建具の仮組（建具符号：　）　(16.1.4)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具　(16.2.2)　(16.2.4)　(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示
○B種	S－5	・	・	・	
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理　※B－1種　・B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(表14.2.1)

・アルミフロント
製造所・品名　　三協立山アルミ　　インタックス３５　同等品

屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種　(表14.2.1)
・C－2種又はB－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

3 網戸　防虫網　(16.2.3)
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂㊙　・ステンレス製（SUS316）
形　　式　※外部可動式　・固定式

4 鋼製建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.3.2)　(表16.3.1)
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・適用あり

5 鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　(16.4.2)

6 ステンレス製建具　簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL程度　・鏡面仕上げ　・　(16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）　(16.5.5)
特定防火設備の戸　・適用あり　(表16.5.1)

7 木製建具　かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　(16.6.2)

ふすまの上張り　(表16.6.3)
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　(16.6.2)
※規制対象外　・第三種

8 建具用金物　マスターキー　※製作する　・製作しない　(16.3.6)　(16.4.6)　(16.7.4)

9 自動ドア開閉装置　(16.8.2,3)　(表16.8.1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ　・音波スイッチ
	・熱線スイッチ　・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

10 自閉式上吊り引戸装置　品質規格　※標仕表16.9.1による　(16.9.2,3)
・製造所標準仕様による

11 重量シャッター　(16.10.2)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.10.2)　(表16.10.1)

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.10.2)

⑫ 軽量シャッター　開閉形式　○※手動式○・上部電動式（手動併用）　(16.11.1)　(表16.11.1)
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ・鋼板　(16.11.3)
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　(16.11.4)
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　(表16.11.2)
耐風圧性能　（　）N/m²
・製造所・品名

13 オーバーヘッドドア　(16.12.2,3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304）
		・バーチカル形	

耐風圧性能　（　）N/m²

⑭ ガラス　板ガラスの種類、厚さ等は建具表による　(16.13.2)
・ガラスブロック　(16.13.5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形	・	・	※クリア	※無し
・長方形				・有り

⑮ ガラス留め材及び溝　ガラス留め材　(16.13.2)　(表9.6.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.13.3)
標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

16 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質　JIS A 5759による

17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類　(17.2.2)

種　類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式　（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料　(9.6.2)　(17.2.2)　(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示　）
断熱材　※適用しない　(17.2.2)
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工個所※図示　）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による　(17.2.3)　(表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理　(17.2.3)　(表14.2.1)

種　別	色彩等
・A－1種　・B－1種	無着色
・A－2種　・B－2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　）焼付け方法（　）コート（　）ベーク	

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（K ）　※1.0　・
垂直方向（K ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W－4　・W－5　・　(17.1.3)
気密性　・A－3　・A－4　・　(17.1.3)
耐火性能　※適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　(14.2.3)　(表14.2.2)

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC版打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料　(9.6.2)　(17.3.2)　(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　(17.3.3)　(表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²以上及び負圧　N/m 以上に対して安全であること。
耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（K ）　※1.0　・
垂直方向（K ）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

18 塗装工事

1 材料　屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする　(18.1.3)
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

② 素地ごしらえ　亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別　(18.2.4)　(表18.2.3)　(表18.3.4)

種　別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　(18.2.7)　(表18.2.7)
種別　※A種　・B種（施工箇所：　）

3 床用塗料塗り　材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡ 以上とする

4 防塵用塗料塗り　材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m 以上とする。

19 内装工事

1 接着剤　(19.2.2)　(19.3.3)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

2 床シート張り　(19.2.2)

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	※2.5　・2.0
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　）　(19.2.3)

3 ビニル床タイル張り　(19.2.2)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

4 帯電防止床タイル張り　(19.2.2)

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0X10 Ω以下、または、
・	・	漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0X10 Ω未満

5 ビニル幅木　高さ（mm）　※60　・75　(19.2.2)

6 カーペット敷き　・織じゅうたん　(19.3.3,4)　(表19.3.1,2)

種　別	パイル形状	色柄等	備　考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　(19.3.3,4)　(表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4～6　・		
・カット、ループ併用			

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タイルカーペット　(19.3.3)　(表19.3.2)

パイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
・

7 合成樹脂塗床　(19.4.2,3)　(表19.4.1～7)

種　別	仕上げの種類
・強性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※厚膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　(19.4.2)
※規制対象外　・第三種

8 フローリング張り　(19.5.2～7)　(表19.5.1～4)

種　別	樹　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	
・単層フローリング	・ひのき		・無塗装品	
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.5.2)

9 畳敷き　(19.6.2)　(表19.6.1)

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地（・ノンフロン G）	※C種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材　・ノンフロンのもの G
畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

① せっこうボード その他のボード張り　(19.7.2)　(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW G	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF G	・15　・20　・25　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（・6　・8　・　）
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）・12　・　） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19・　）
○せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材付き
・普通合板（難燃処理）	G	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF G	・素地MDF（RS）化粧MDF（・DV・DO・PC） ・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	G	・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	HB G	・素地　・RN－HB　・RS－HB ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード	IB G	・T－IB　・A－IB　・S－IB ・9　・12　・15　・18　・
・抗菌メラミン不燃化粧板		・3

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　(19.7.2)　(表9.6.1)
※適用する　・適用しない

12 吸音材　(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25　・

13 壁紙張り　(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他 化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(表18.2.4)　(表18.2.7)
モルタル、プラスター面　※B種　・A種（施工箇所：　）
せっこうボード面　※B種　・A種（施工箇所：　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　(19.8.2)

14 断熱材　(19.9.2,3)

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・50	※ノンフロンのもの G ・特定フロンを使用しないもの
	※3種b （スキン層付）	・接地部分 ・	※25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	―	※ノンフロンのもの G ・特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級 ・難燃材料相当品
		・一般部 ・	※15 ・25	
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （㎡・k/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

15 浴室天井材　市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

・
・
・

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・08	140606	A－05
		図面名	SCALE		
		建築工事特記仕様書（３）	A2 － A3 －		

20 ユニットおよびその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口
1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

3 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ （36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

4 トイレブース
表面仕上げ材 (20.2.5)
※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

5 階段滑止め
材　種　ステンレスSUS304 (20.2.6)
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

6 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ	

7 黒板及び ホワイトボード (20.2.8)

種　類	寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け	※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
		・緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう	※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

8 鏡
寸法（mm）　・図示　・ (20.2.9)
厚さ（mm）　※5　・

9 表示
衝突防止表示 (20.2.10)
※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）
（・両面　・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10 煙突ライニング
・煙突用成形ライニング材 (20.2.11)
最高使用温度　・650℃　・400℃

・キャスタブル耐火材
工　法　※こて押さえ
最高使用温度　※400℃

11 ブラインド (20.2.12)

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12 ロールスクリーン
防炎性能　※有り (20.2.13)

施工箇所	装置 電動	装置 手引	備　考
	・	・	
	・	・	
	・	・	

13 カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	ひだの種類	性　能	備　考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

14 カーテンレール
(20.2.14)
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15 ブラインドボックス及び カーテンボックス
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・90×80
色彩　※B－1　・B－2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示（スチール製焼付塗装）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・90×80

16 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

17 止水板
形　状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸　法
製造所

18 天井点検口
材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ　・額縁目地混合タイプ）

19 床点検口
材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

20 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

21 かぎ箱
市販品
形　式　・30組用　・60組用　・120組用　・

22 くつふきマット
市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

23 流し台ユニット

種　類	寸法（L＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※900　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード ※有り	（セクショナルキッチンI型）
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

・製造所・品名

24 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製　・木製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25 洗面器カウンター
材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

26 防煙垂れ壁
・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27 視覚障害者用 床タイル、鋲 （誘導用及び 注意喚起用床材、鋲）
ブロックパターンはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
・ステンレス鋲
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
◯点字シート貼り

28 旗竿
材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29 旗竿受金物
材　種　ステンレス製SUS304

30 フェンス
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・亜鉛メッキ

31 屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

32 車止め支柱
※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径114.3mm　t＝2.5mm　H＝GL＋700mm
※スプリング付　・スプリング無し
・

33 収納家具
材質
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34 エキスパンション ・ジョイント金物
材質　・アルミ　・ステンレス
クリアランス　・50　・100　・150　・
耐火性能　・有り（　）　・無し
防水型　※外部　適用する　※内部　適用しない

35 建築物緑化
屋上緑化システム Ⓖ
管理方法による区分　・省管理型　・管理型
質量の上限値　（　）kg/m²
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
かん水方法　・自動　・手動　・手撒き
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240 l /m²・h 以上
耐荷重性能
省管理型：3×10³N/m² 以上の載荷重で異常のないこと。
管 理 型：最大有効土層厚の荷重の1.5倍以上かつ3×10 ³N/m ²以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ0.3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする

36 ポスト
37 ガラス庇
・ブックポスト　ステンレス製（1箇所）
・グリーンガラス　強化合わせガラス（TP5+TP5）　SUS製ロッド

㊳ 消火器
・ABC10型粉末消火器　（本数　）

㊴ 消火器ボックス
・ヤマトプロテック　シングルスタンドE00　同等

40 定礎
・黒御影（文字共）　200×100
・定礎箱あり　・定礎箱なし

21 排水工事

① 排水管
排水管用材料 (21.2.1)（表21.2.1）(21.3.3)

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種　・2種）	B形（ゴム接合）
◯硬質塩化ビニル管	※VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・REP－VU Ⓖ	

車道部の排水管の敷設 (21.3.1) (21.3.3)
※図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

② 排水桝及びふた
鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種　類	適用荷重
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）　・中ふた付密閉形	・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用

グレーチングふた (21.2.2)

材　質	形　式	種　類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
◯鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	◯溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ◯U字溝用	・歩行用 ◯T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	※細目 ※普通目 ◯細目	※凹凸形 ※平形 ◯凹凸形

③ 埋戻し土
※B種　・ (21.2.3)（表3.2.1）

4 浸透管及び浸透桝
製造所

22 舗装工事

① 盛り土に用いる材料
・A種　※B種　・C種　・D種 (22.2.3)（表3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料
・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・ (22.2.2,3)
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示

3 路床安定処理
※添加材料による安定処理 (22.2.2,3)（表22.2.2）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　）　・消石灰（　）
添加量　kg/m³（目標CBR　※5以上　・　）

4 路床土の支持力比試験
※行う（※乱した土　・乱さない土） (22.2.5)

5 路床締固め度の試験
※行う (22.2.5)

6 路盤材料 Ⓖ
※再生クラッシャラン（RC－40） (22.3.3)
・クラッシャラン（C－40）又はクラッシャランスラグ（CS－40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

⑦ アスファルト舗装 (22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
◯カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　◯・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト Ⓖ　・ストレートアスファルト (22.4.3)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)（表22.4.6）

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　） (22.4.5)

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

8 コンクリート舗装
早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)（表22.5.3）

溶接金網　※有り　・無し (22.5.3,4)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.5.6)

9 透水性舗装
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.6.6) (22.4.6)

10 排水性舗装
アスファルト混合物 (22.7.3)（表22.7.2）
・改質アスファルト Ⓖ 型　※改質アスファルト Ⓖ 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3)（表22.7.3）

適用時期	種　類
下記以外	PKR－T1
冬期	PKR－T2

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)

⑪ ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 (22.8.2,3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル

・製造所・品名　日本興業　NTアイ　同等品

◯インターロッキングブロック舗装 (22.8.2,3)

種　類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック（V）	※80　・100	

・製造所・品名　日本興業　ベイブロック　同等品

インターロッキングブロック

項　目		品　質　・　性　能
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長　さ	幅	厚　さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5～－1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	5.0以上
	透水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	1×10⁻²以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	32.0以上
	透水性タイプ	17.0以上

・舗石舗装 (22.8.2,3)

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩）	※80～100　・	※ふるい張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

⑫ 路面標示用塗料
JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 Ⓖ	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して
・2種 Ⓖ	加熱		・	・	・	5%以下
※3種1号	溶融	粉体状				

23 植栽工事

① 樹木の植栽基盤整備
芝及び地被類 (23.2.2,3)（表23.2.1,2）

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2,3)（表23.2.1,2）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	・葉張りの範囲
・7超～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60　・	・C種	・図示
◯3以下	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

② 植込み用土
※現場発生土の良質土　◯・客土（※畑土　・黒土） (23.2.3)

③ 土壌改良材 Ⓖ
※適用する (23.2.3,4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

バークたい肥
有機物の含有量（乾物）：70%以上
炭素窒素比（C/N比）：35以下
陽イオン交換容量（乾物）：70meq/100g以上
pH：5.5～7.5
水分：55～65%
幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物）：0.5%以上
りん酸全量（現物）：0.2%以下
加里全量（現物）：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

Cd 素	：0.005%以下
カドミウム	：0.0005%以下
水銀	：0.0002%以下
ニッケル	：0.03%以下
クロム	：0.05%以下
鉛	：0.01%以下
有機物の含有量（乾物）	：35%以上
炭素窒素比（C/N比）	：20以下
pH	：8.5以下
水分	：50%以下
窒素全量（現物）	：0.8%以上
りん酸全量（現物）	：1.0%以上
アルカリ分（現物）	：15%以下

4 支柱材
※杉の焼丸太（間伐材）Ⓖ　・真竹 (23.3.2)

5 幹巻き用材料
※幹巻き用テープ　・わら及びこも (23.3.2)

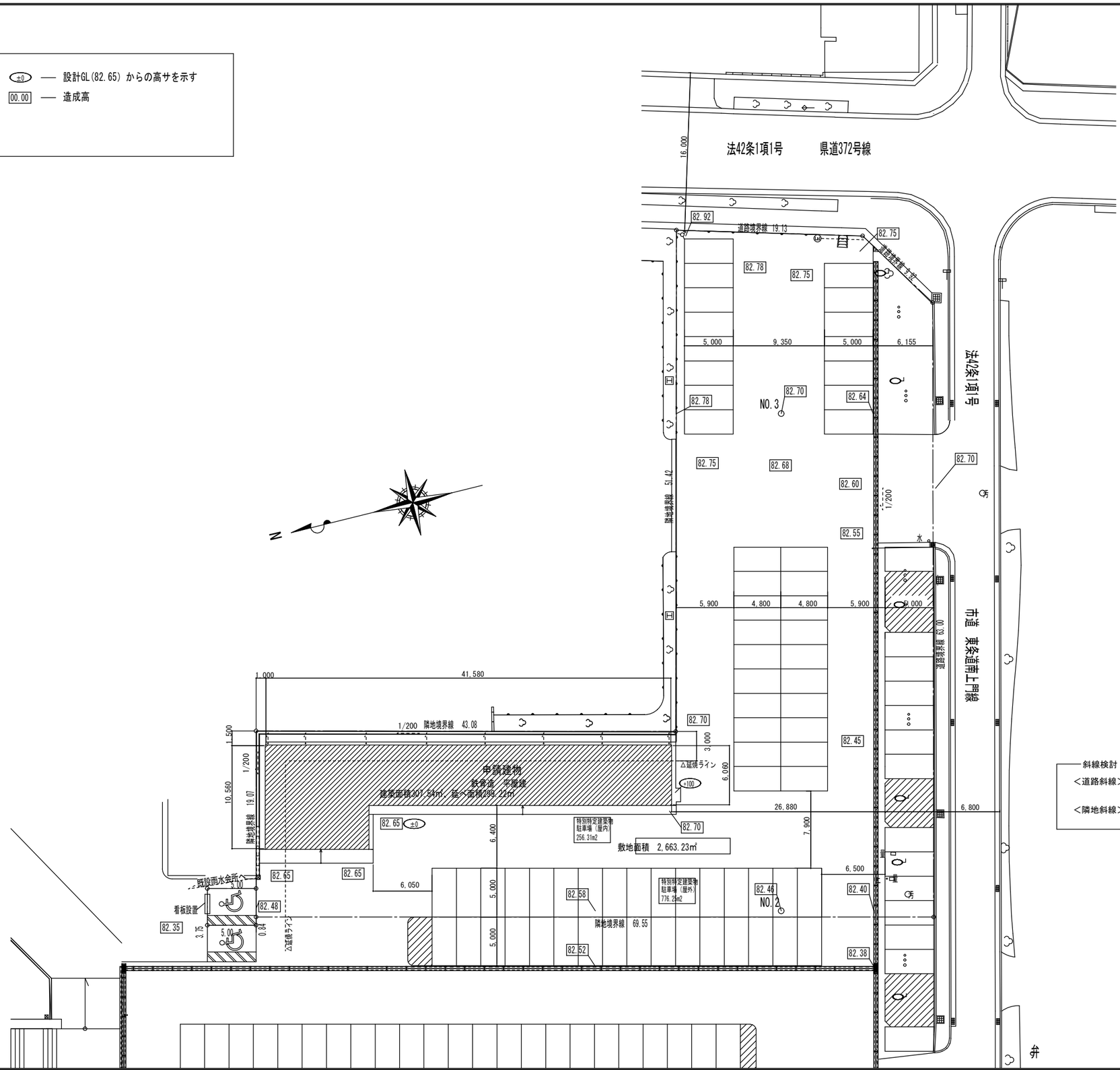
⑥ 芝張り
種類　※こうらい芝　・野芝 (23.4.2)

CHECK　DRAWING

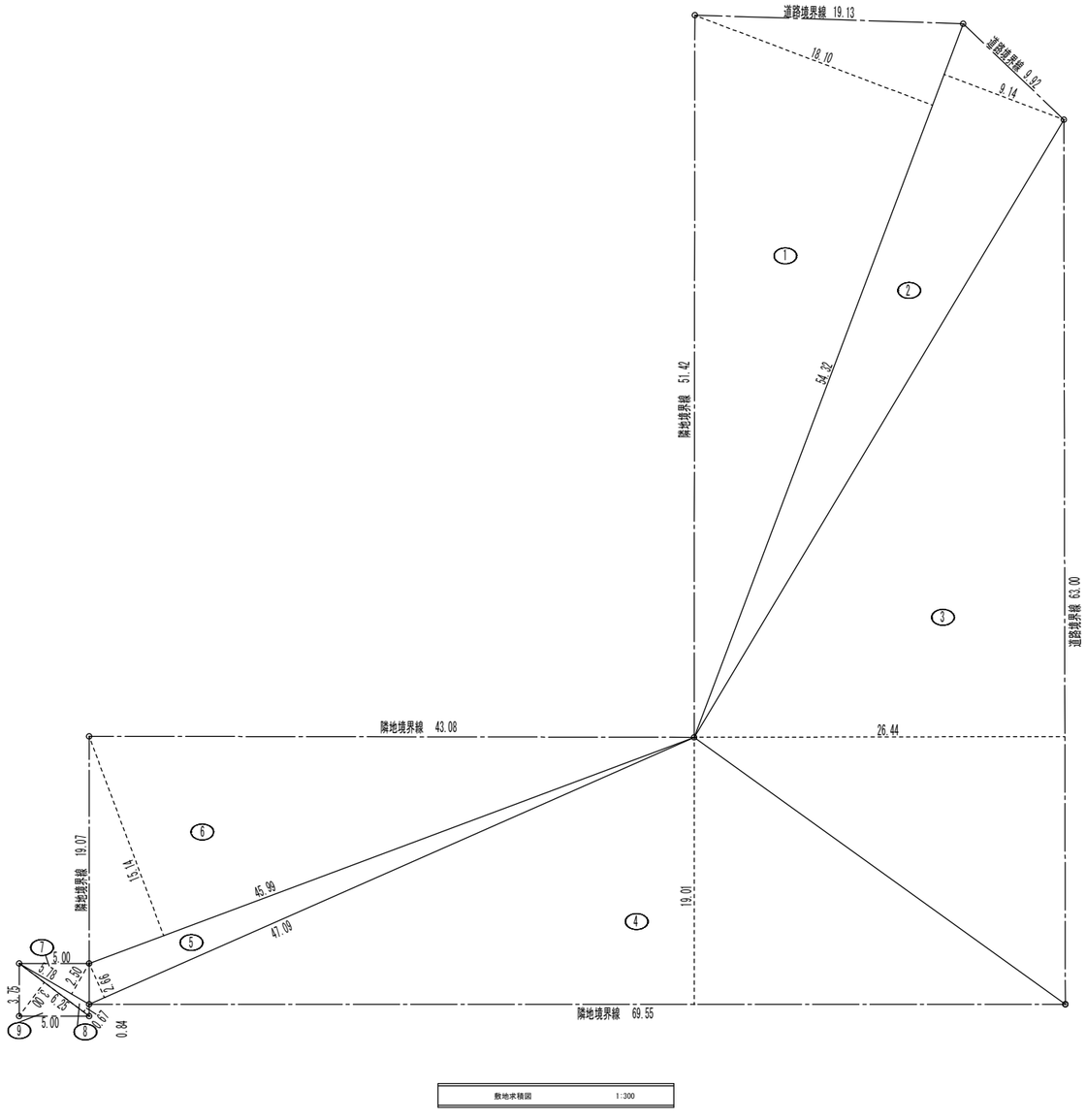
工事名：加東市庁舎南駐車場等整備工事
DATE：H 26・08　PROJECT No.：140606　SHEET No.：A－06
図面名：建築工事特記仕様書（4）
SCALE：A2 －　A3 －

凡　例

- 敷地境界線
- 計画建物
- 雨水
- 会所
- ±0 — 設計GL(82.65) からの高サを示す
- 00.00 — 造成高



CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・08	140606	A - 07
		図面名	SCALE		
		配置図	A2　1:300 A3　1:420		



敷地求積図　1:300

番 号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	54.32	18.10	983.19200	491.59600
2	54.32	9.14	496.48480	248.24240
3	63.00	26.44	1,665.72000	832.86000
4	69.55	19.01	1,322.14550	661.07275
5	47.09	2.66	125.25940	62.62970
6	45.99	15.14	696.28860	348.14430
7	5.78	2.50	14.45000	7.22500
8	6.25	0.67	4.18750	2.09375
9	6.25	3.00	18.75000	9.37500
合　計				2,663.23~~890~~＝
敷地面積				2,663.23 ㎡

CHECK　DRAWING

工事名　加東市庁舎南駐車場等整備工事

図面名　敷地求積図

DATE　H 26・08

PROJECT No.　140606

SHEET No.　A - 08

SCALE　A2 1:300　A3 1:420

外部仕上表

屋　根	ハゼ式折板カラーガルバリウム鋼板葺き　厚0.8（山高90）、ペフ貼（ガラス繊維シート貼 厚5.0）
	軒樋：塩ビ製W=130、縦樋 ：カラーVP100φ、ステンレス掴み金物@1000程度
外　壁	角波ガルバリウムカラー鋼板張　厚0.5 ＋ ＰＢ厚12.5
腰　壁	コンクリート打放し補修の上、防水形複層塗材E
建　具	アルミサッシ見込70（鉄骨用外付）、軽量スチール電動シャッター（スラット：カラー鋼板t=1.0）、軽量スチール手動シャッター（スラット：カラー鋼板t=0.4）

法定不燃、準不燃、難燃、認定番号一覧表

材料名	認定番号	材料名	認定番号
石膏ボード　厚12.5	ＮＭ－８６１９		
ガラス繊維シート貼　厚5.0	ＮＭ－２９３９		
ケイ酸カルシウム板　厚６	法定不燃：告示第1400号-７		

＜準耐火建築物仕様＞ 法第二条九の三（ロ）、令第百九条の三（ニ）

柱・梁：鉄骨造（法定不燃）

外壁　：角波ガルバリウムカラー鋼板張（法定不燃）

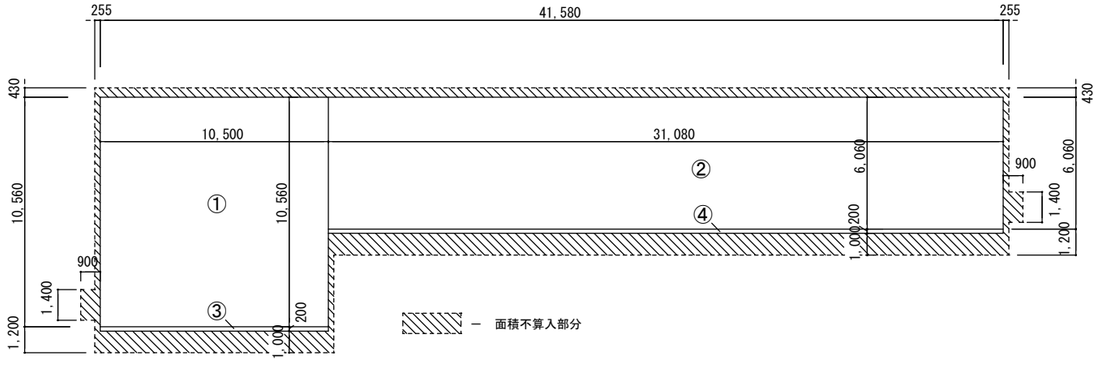
床　　：コンクリート直押え （法定不燃）

屋根　：ハゼ式折板カラーガルバリウム鋼板葺き（法定不燃）

内部仕上表

室　名	内装制限	天井高	下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	備　考
車　庫	準不燃	CH=4,530～4,170 CH=3,040～2,810	—	コンクリート直均し仕上げ（目地切）	コンクリート打放し	胴縁表し 軽量鉄骨下地65形	ＰＢ裏面表し（鉄部SOP塗装） ケイ酸カルシウム板　厚6 底目貼 + EP塗	—	屋根折板裏貼り材表し	線引き、コンクリート製車止メ
ゴミ庫	—	CH=3,040～2,810	—	コンクリート直均し仕上げ（目地切）	コンクリート打放し	胴縁表し 軽量鉄骨下地65形	ＰＢ裏面表し（鉄部SOP塗装） ケイ酸カルシウム板　厚6 底目貼 + EP塗	—	屋根折板裏貼り材表し	

建物求積図　1:200

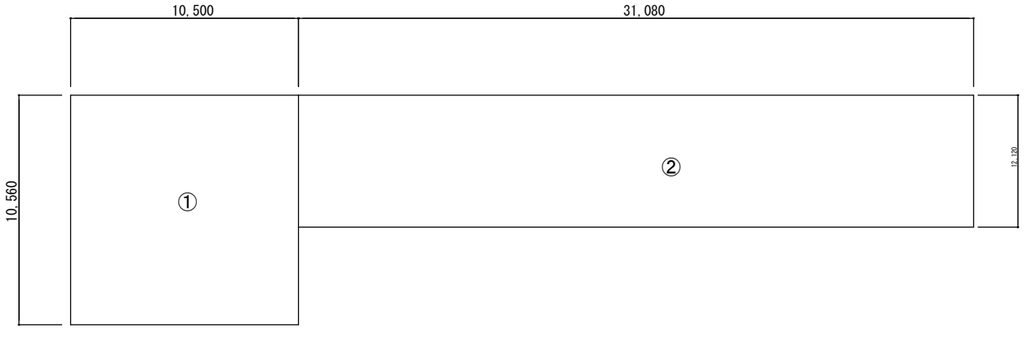


＜建築面積＞

①	10.50	x	10.56	=	110.8800
②	31.08	x	6.06	=	188.3448
③	10.50	x	0.20	=	2.1000
④	31.08	x	0.20	=	6.2160
				計	307.54~~08~~

合計　307.54　㎡

1階床求積図　1:200

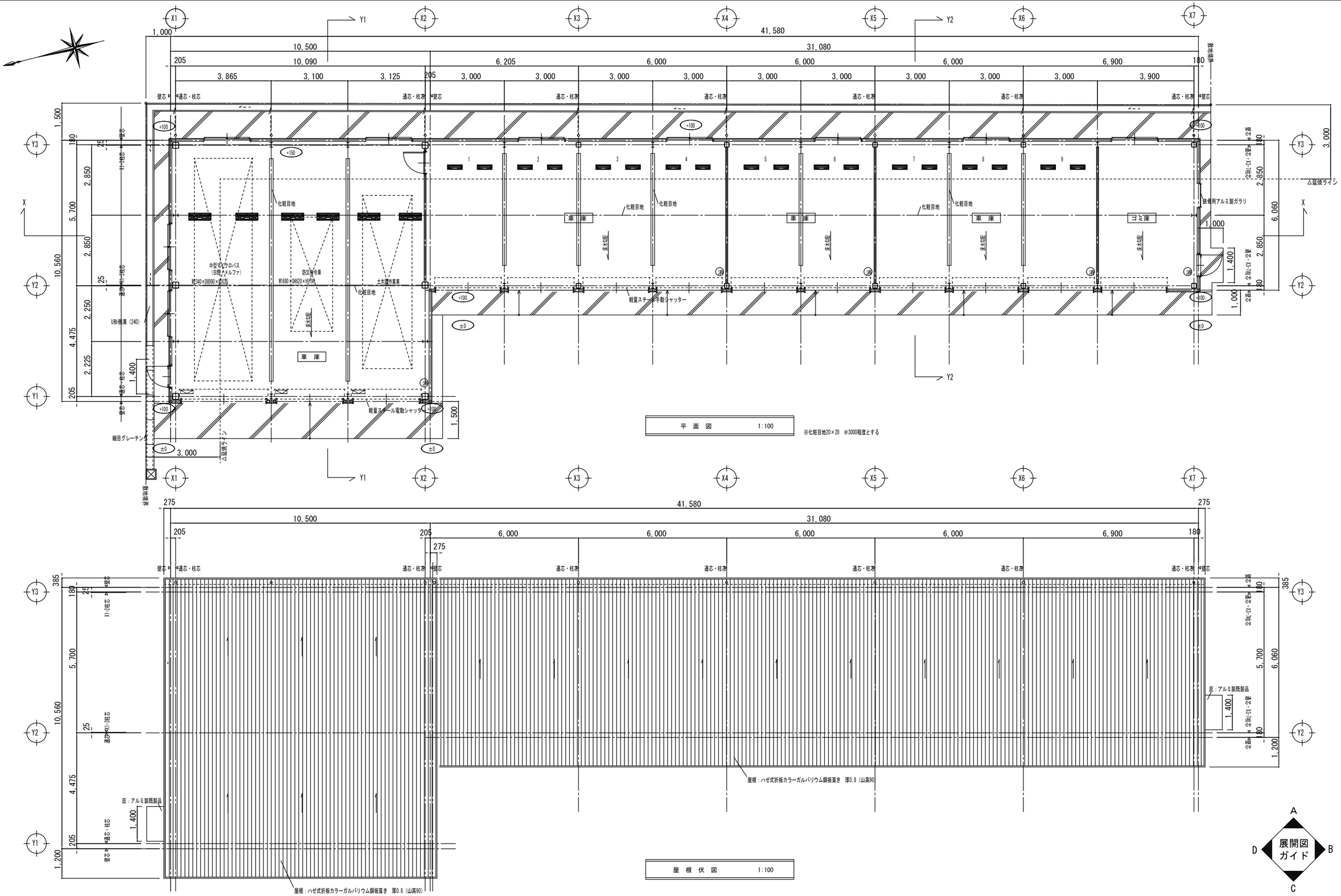


＜延床面積＞

①	10.50	x	10.56	=	110.8800
②	31.08	x	6.06	=	188.3448
				計	299.22~~48~~

合計　299.22　㎡

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・08	140606	A－09
		図面名	SCALE		
		仕上表・建物求積図	A2 1:200 A3 1:280		



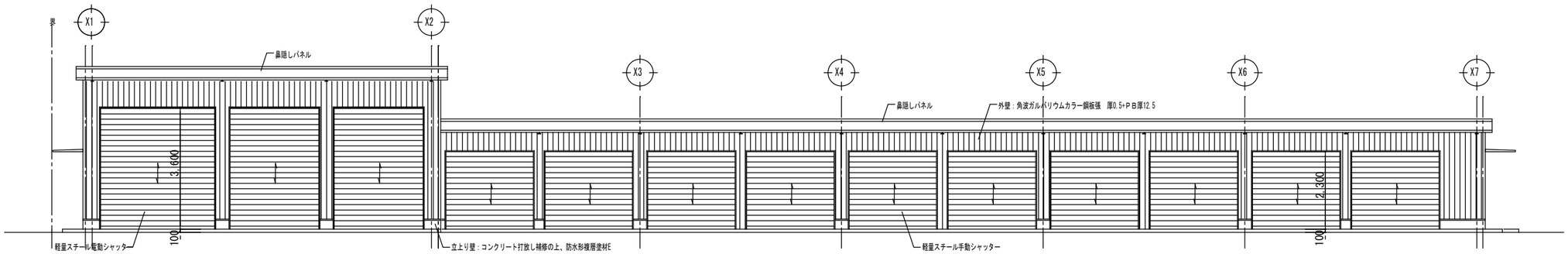
平　面　図　　1:100

※化粧目地20×20　@3000程度とする

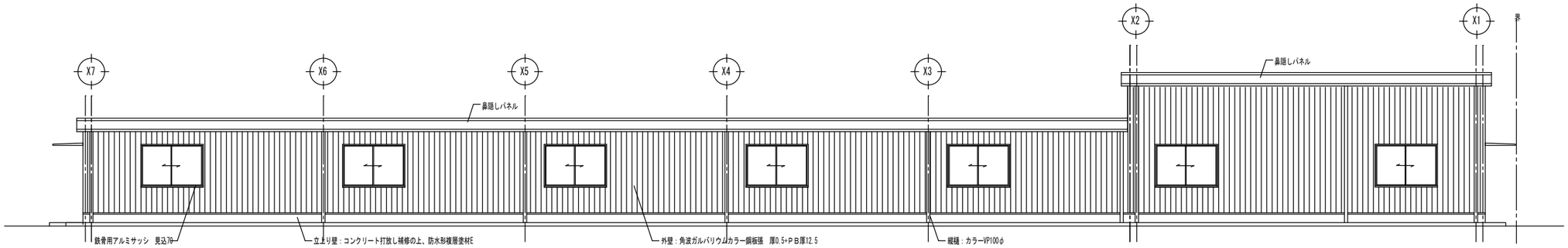
屋　根　伏　図　　1:100

展開図ガイド

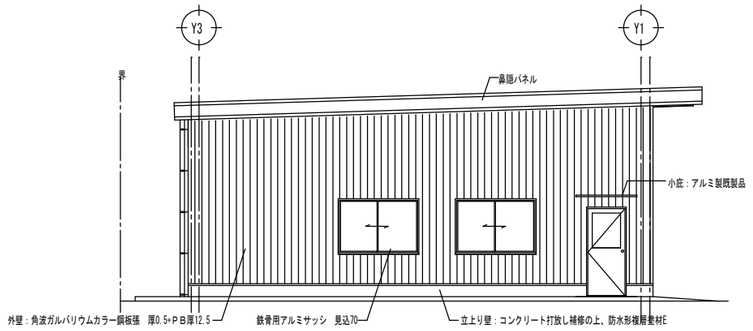
CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・08	140606	A－10
		図面名	平面図・屋根伏図	SCALE A2 1:100 A3 1:140		



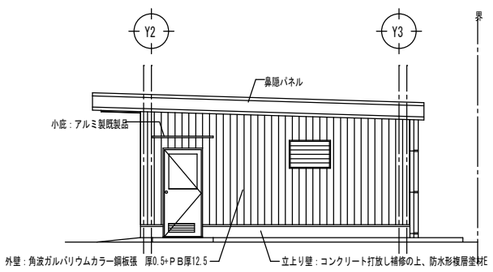
西　立　面　図　　1:100



東　立　面　図　　1:100



北　立　面　図　　1:100



南　立　面　図　　1:100

CHECK　　DRAWING

工事名　加東市庁舎南駐車場等整備工事

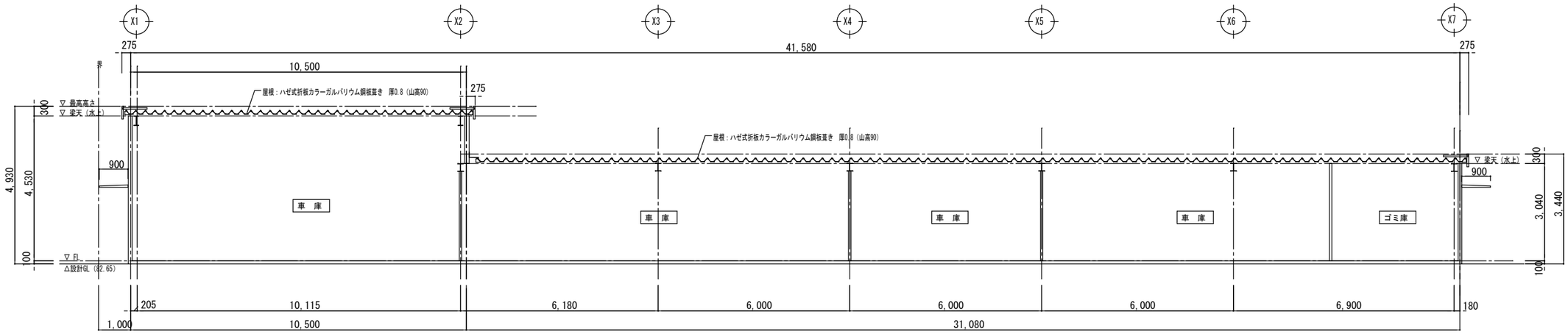
図面名　立面図

DATE　H 26・08

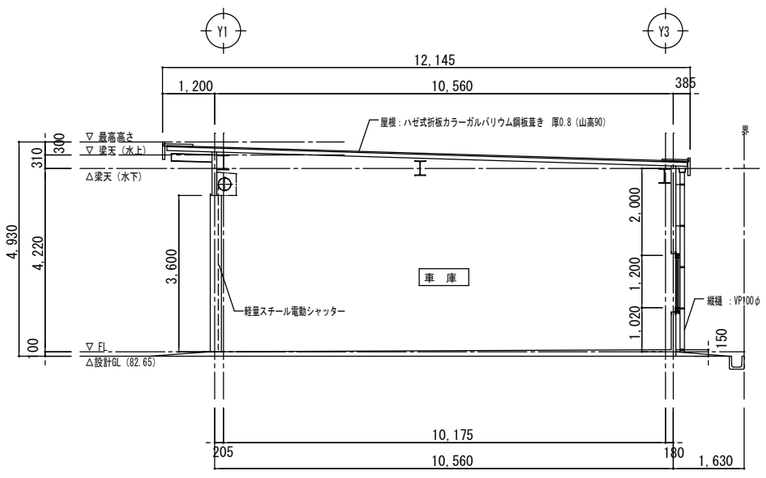
PROJECT No.　140606

SHEET No.　A - 11

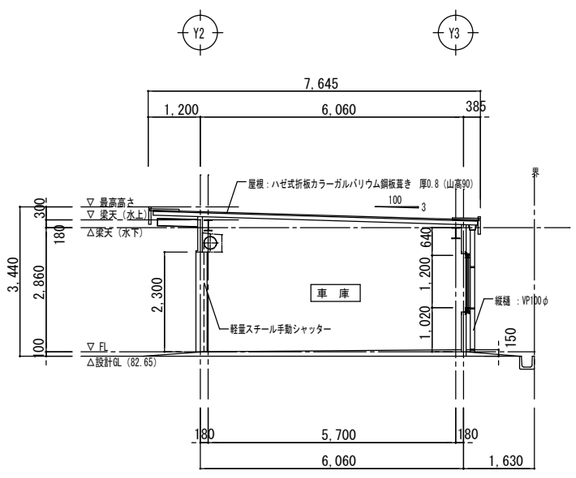
SCALE　A2　1:100　A3　1:140



X-X 断 面 図　　1:200

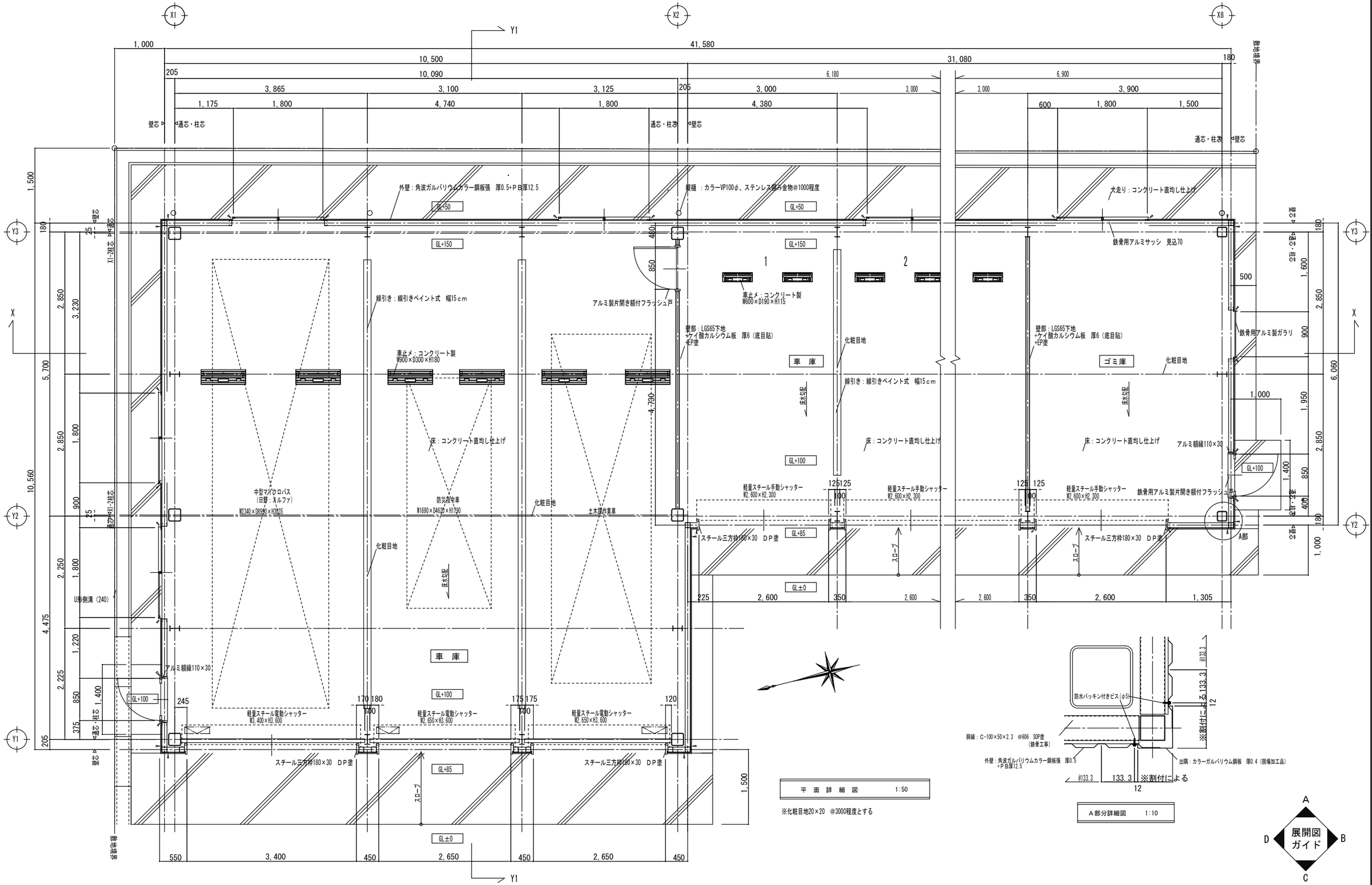


Y1-Y1 断 面 図　　1:100



Y2-Y2 断 面 図　　1:100

CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・08	140606	A － 12
		図面名	断面図	SCALE A2 1:100 A3 1:140		



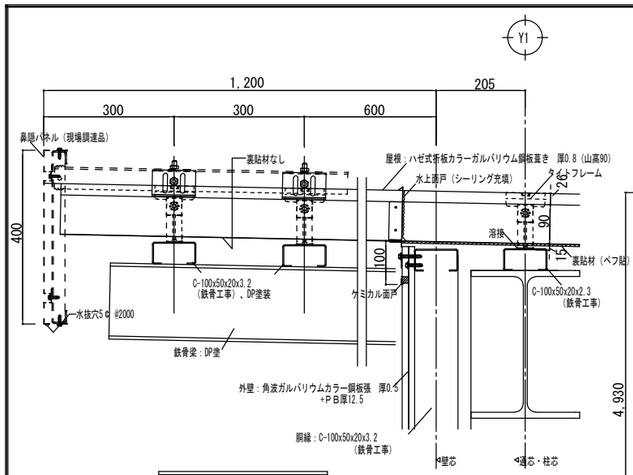
平　面　詳　細　図　　1:50

※化粧目地20×20　@3000程度とする

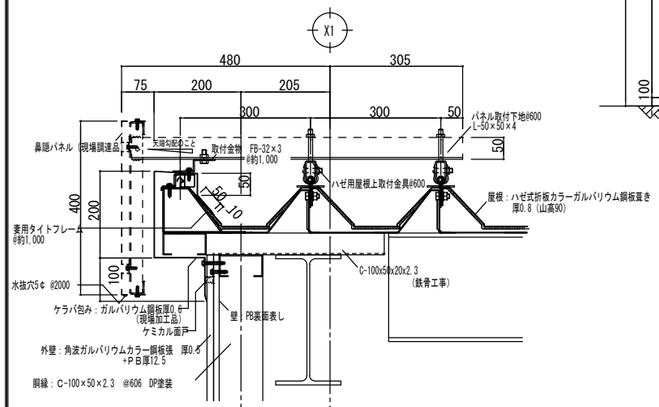
A部分詳細図　　1:10

展開図ガイド

CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・7	140606	A－13
		図面名	平面詳細図	SCALE A2 1:50 A3 1:70		

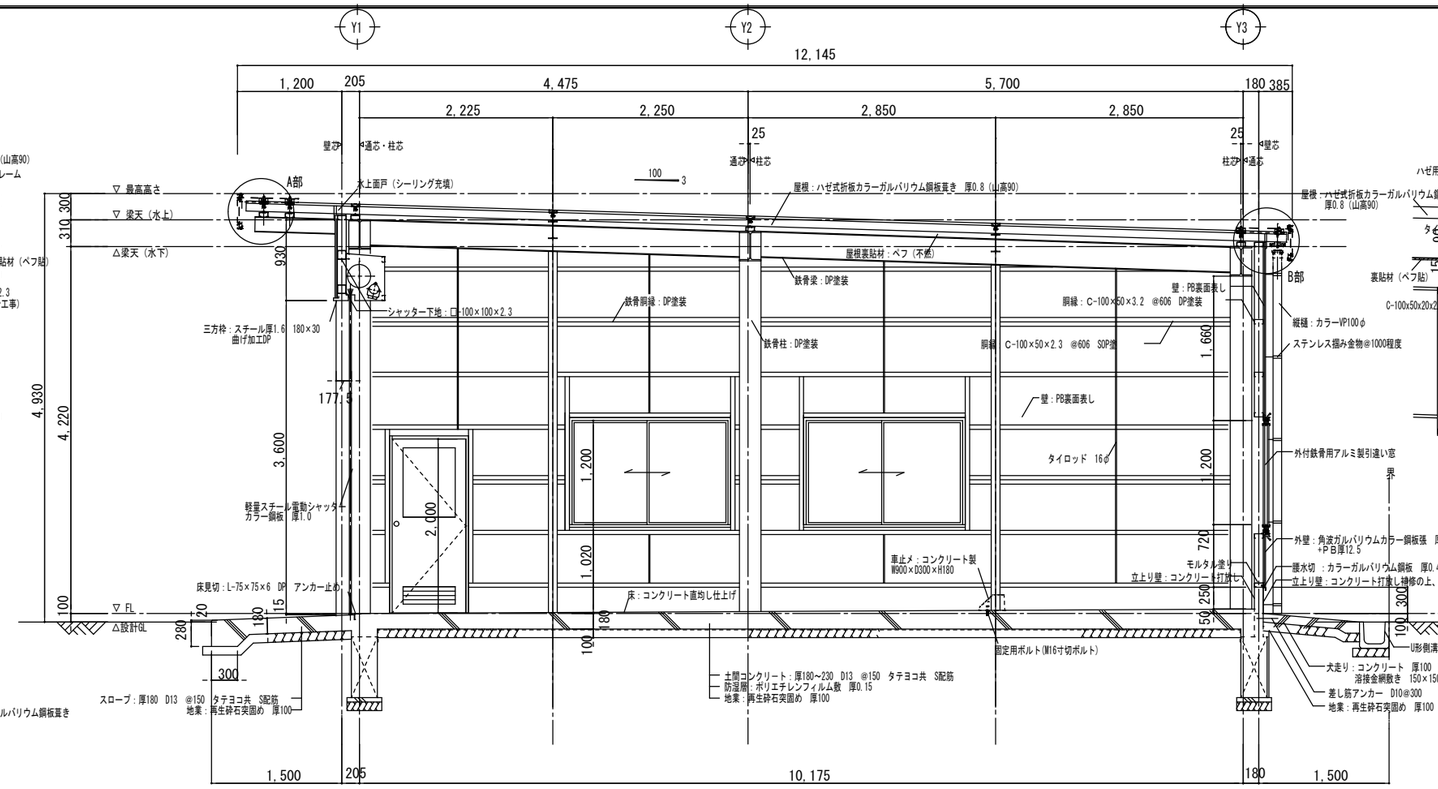


A部分詳細図　1:10

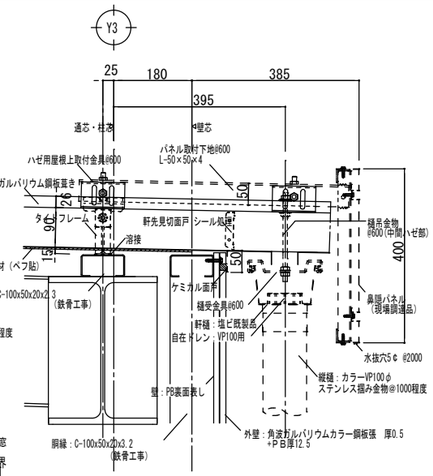


C部分詳細図　1:10

D部分詳細図　1:10

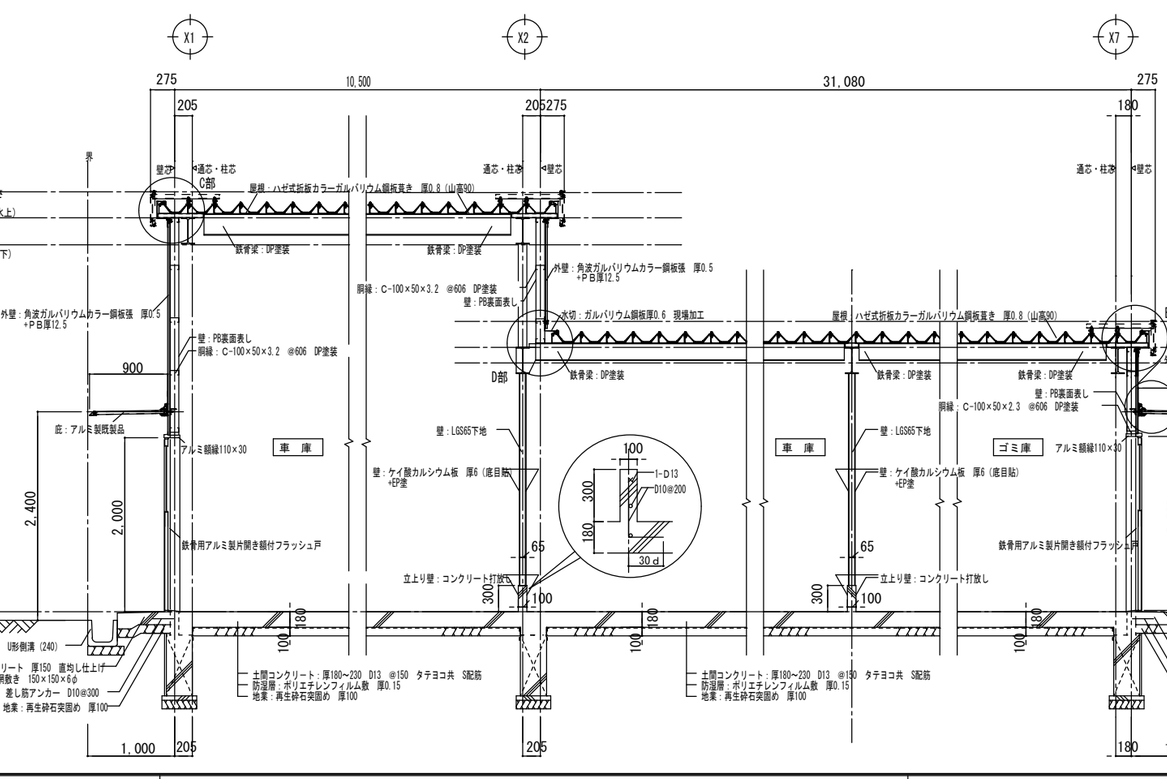


B部分詳細図　1:10

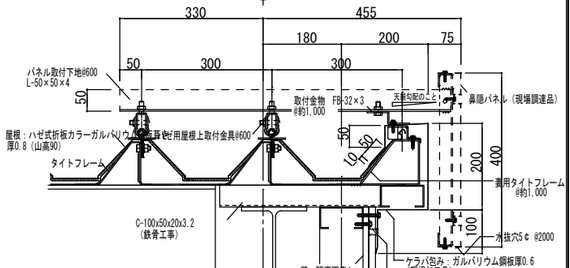


B部分詳細図　1:10

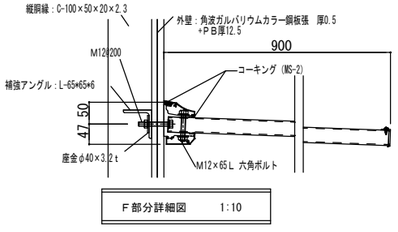
X通矩計詳細図　1:50



Y通矩計詳細図　1:50

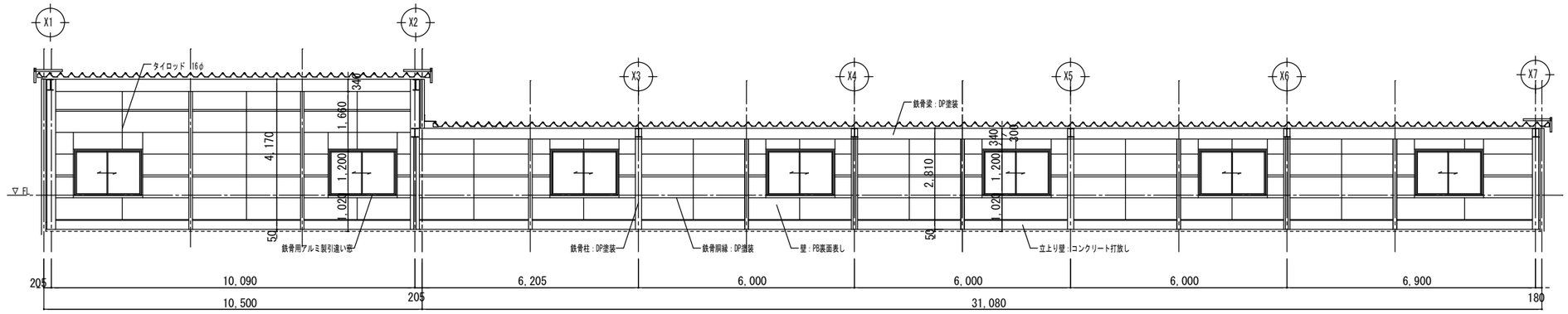


E部分詳細図　1:10

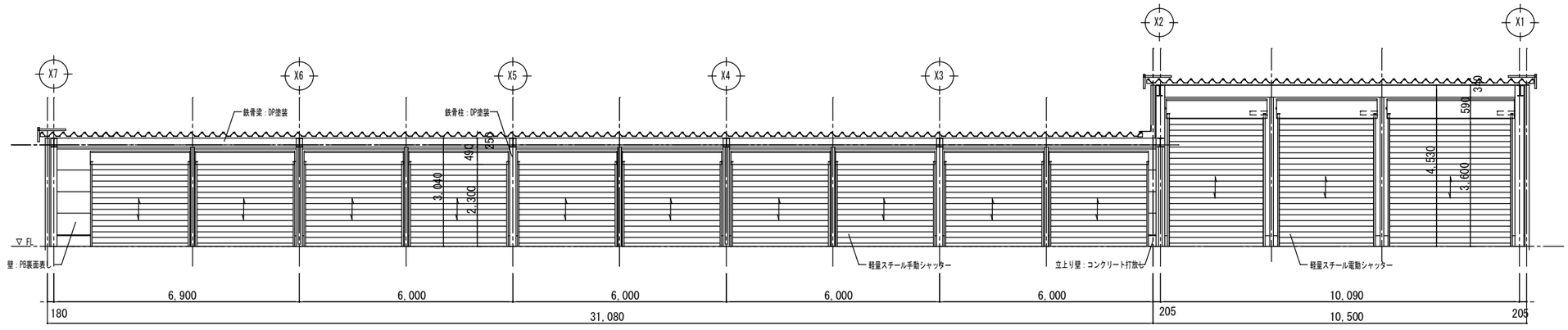


F部分詳細図　1:10

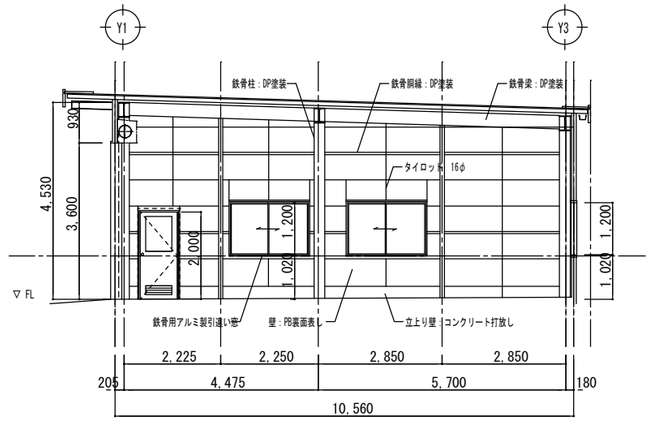
CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・7	140606	A - 14
		図面名	SCALE		
		矩計図	A2 1:10, 50 A3 1:14, 70		



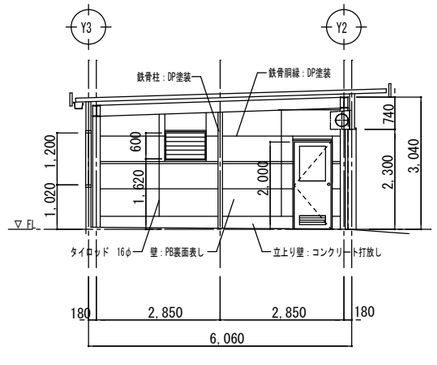
A 展開図 1:200



C 展開図 1:200



D 展開図 1:100

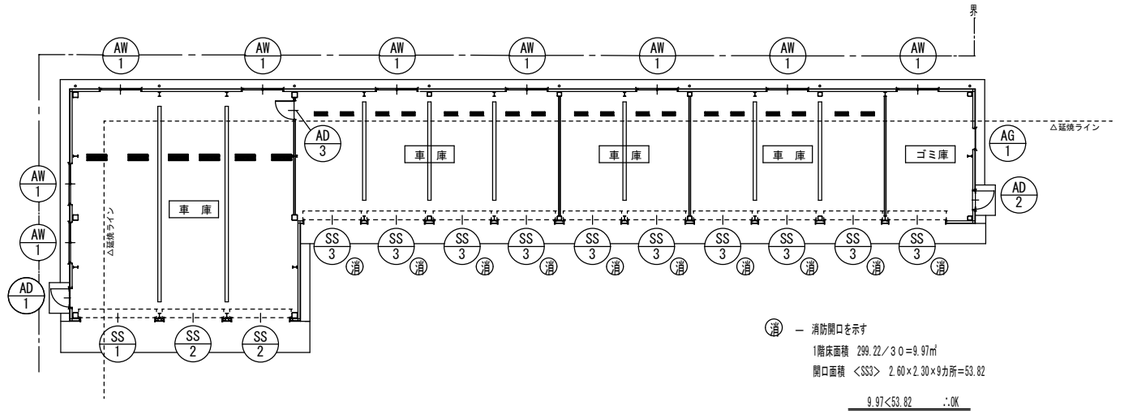


B 展開図 1:100

CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・08	140606	A － 15
		図面名	展開図	SCALE A2 1:100 A3 1:140		

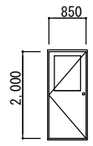
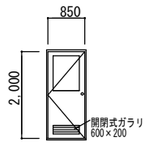
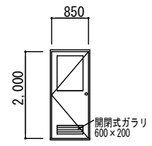
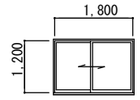
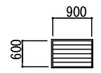
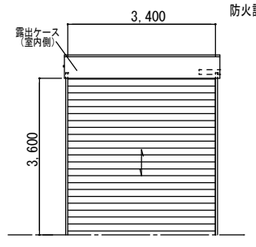
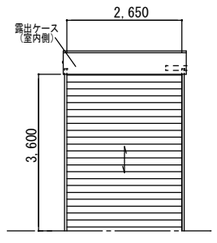
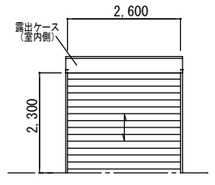
建具キープラン

1:200



建具リスト

1:100

記号数量	AD 1　1	AD 2　1	AD 3　1	AW 1　9	AG 1　1		
形状 寸法	防火設備 						
見込	ガラス：600×800　外付　70	ガラス：600×800　外付　70	ガラス：600×800　110	外付　70	外付　70		
位　置	車庫	車庫	車庫	車庫	車庫		
名　称	アルミ製片開き額付フラッシュ戸（鉄骨用）	アルミ製片開き額付フラッシュ戸（鉄骨用）	アルミ製片開き額付フラッシュ戸	アルミ製引違い窓（鉄骨用）	アルミ製ガラリ（鉄骨用）		
仕　上	シルバー	シルバー	シルバー	シルバー	シルバー		
ガ ラ ス	網入型板ガラス　厚6.8	網入型板ガラス　厚6.8	網入型板ガラス　厚6.8	網入型板ガラス　厚6.8	―		
金　物	握り玉錠・丁番・DC・戸当・シリンダー錠・付属金物一式	握り玉錠・丁番・DC・戸当・シリンダー錠・付属金物一式	握り玉錠・丁番・DC・戸当・付属金物一式	網戸・戸車・クレセント・アルミ水切・付属金物一式	防虫網・アルミ水切・付属金物一式		
備　考	ステンレス沓ズリ　厚2．0・アルミ額縁110×30	ステンレス沓ズリ　厚2．0・アルミ額縁110×30	ステンレス沓ズリ　厚2．0・アルミ額縁110×30	―	―		
記号数量	SS 1　1	SS 2　2	SS 3　10				
形状 寸法	防火設備 						
見込							
位　置	車庫	車庫	車庫・ゴミ庫				
名　称	スチール製軽量シャッター（電動）	スチール製軽量シャッター（電動）	スチール製軽量シャッター（手動）				
仕　上	カラー鋼板（スラット厚1.0）	カラー鋼板（スラット厚1.0）	カラー鋼板（スラット厚0.4）				
ガ ラ ス	―	―	―				
金　物	障害物検知装置付座板・押しボタンスイッチ・リモコン ガイドレール・付属金物一式	障害物検知装置付座板・押しボタンスイッチ・リモコン ガイドレール・付属金物一式	ガイドレール・座板・付属金物一式				
備　考	スチール三方枠180×30　厚1.6　DP	スチール三方枠180×30　厚1.6　DP	スチール三方枠180×30　厚1.6　DP				

・
・
・

CHECK　DRAWING

工事名　加東市庁舎南駐車場等整備工事

図面名　建具キープラン・建具リスト

DATE　H 26・08

PROJECT No.　140606

SHEET No.　A － 16

SCALE　A2　1:100.200　A3　1:140.280

駐車場(A)

駐車場(D)
N=7台

D

駐車場

ラポートやしろ

社税務署

社庁舎東棟

社庁舎

社福祉センター

車庫

車庫

車庫

縁石撤去
L=33.33

CT-1 82.279
CT-2 82.480
CT-3 81.168
CT-4 82.144

KBM 1 H=82.524
KBM 2 H=82.637

NO.0 82.01
NO.1 82.45
NO.2 82.49
NO.3 82.69

34.254m

一凡例一

：キャスターゲート　片開き　W=6.0m　H=1.8m

：ガードマン配置位置

第1回仮囲い（3か月）

フェンスバリケード　シート貼　H＝1.8m
L=146.69

第2回仮囲い（2か月）

フェンスバリケード　シート貼　H＝1.8m
L=202.88

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	B－01
		図面名	SCALE		
		仮設計画図	A2 1:500 A3 1:700		

駐車場(A)

駐車場(D)
N=7台

D

石碑

鉄ニ

車庫

駐車場

ラポートやしろ

社税務署

社庁舎東棟

更地

社庁舎

現況のまま

社福祉セ

車止め撤去
12箇所

現況のまま
CT-2
82.480

500角会所
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋撤去

植栽既存のまま

縁石撤去
10.05*2

鉢植
低木撤去

プランター撤去
１０箇所（給水管共）

灰皿
KBM 2 H=82.637

ベンチ
4脚

500角会所
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋撤去

中木撤去

縁石撤去
L=33.33

タイル貼撤去
S=1038.01

34.254m

CT-3
81.168

縁石撤去(再利用)

植栽撤去

インターロッキング撤去

縁石撤去(再利用)

サビ石積5段
撤去復旧（再利用）

サビ石積2段
撤去復旧（再利用）

縁石撤去(再利用)

植栽撤去

インターロッキング撤去

縁石撤去(再利用)

サビ石積撤去
L=19.78

着板撤去

植栽撤去
S=25.75

CT-4

植栽撤去
S=12.46

植栽撤去
S=83.63

植栽撤去
W500
S=8.325

縁石撤去
L=63.91

植栽撤去
S=82.90

側溝撤去
（コンクリート蓋共）
L=115.58

植栽撤去
S=13.73

グレーチング
撤去 L=10.43

カッター切

AS撤去

側溝
撤去
（コンクリート蓋共）

縁石撤去
L=34.41

KBM 1 H=82.524

NO.1

NO.2

NO.3

A

B

C

D

E

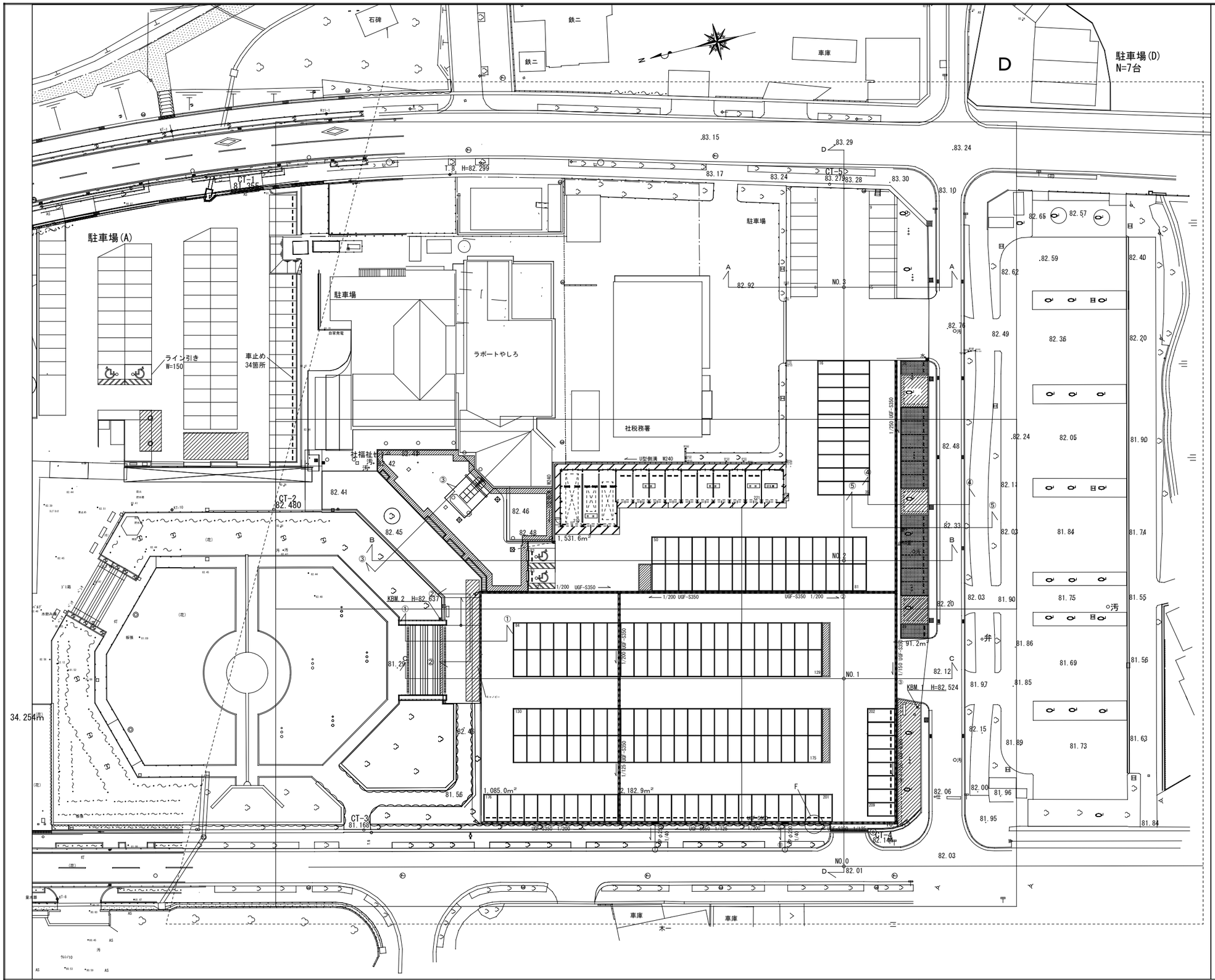
F

－ 凡 例 －

- **.** － 現況高
- － As撤去部分
- － 植栽撤去部分
- － タイル貼撤去部分

※ GL-500までの配管及び枡等は、全て撤去とする。
※ 外灯は、電気設備図による。

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	B－02
		図面名	SCALE		
		現況撤去平面図	A2 1:500 A3 1:700		



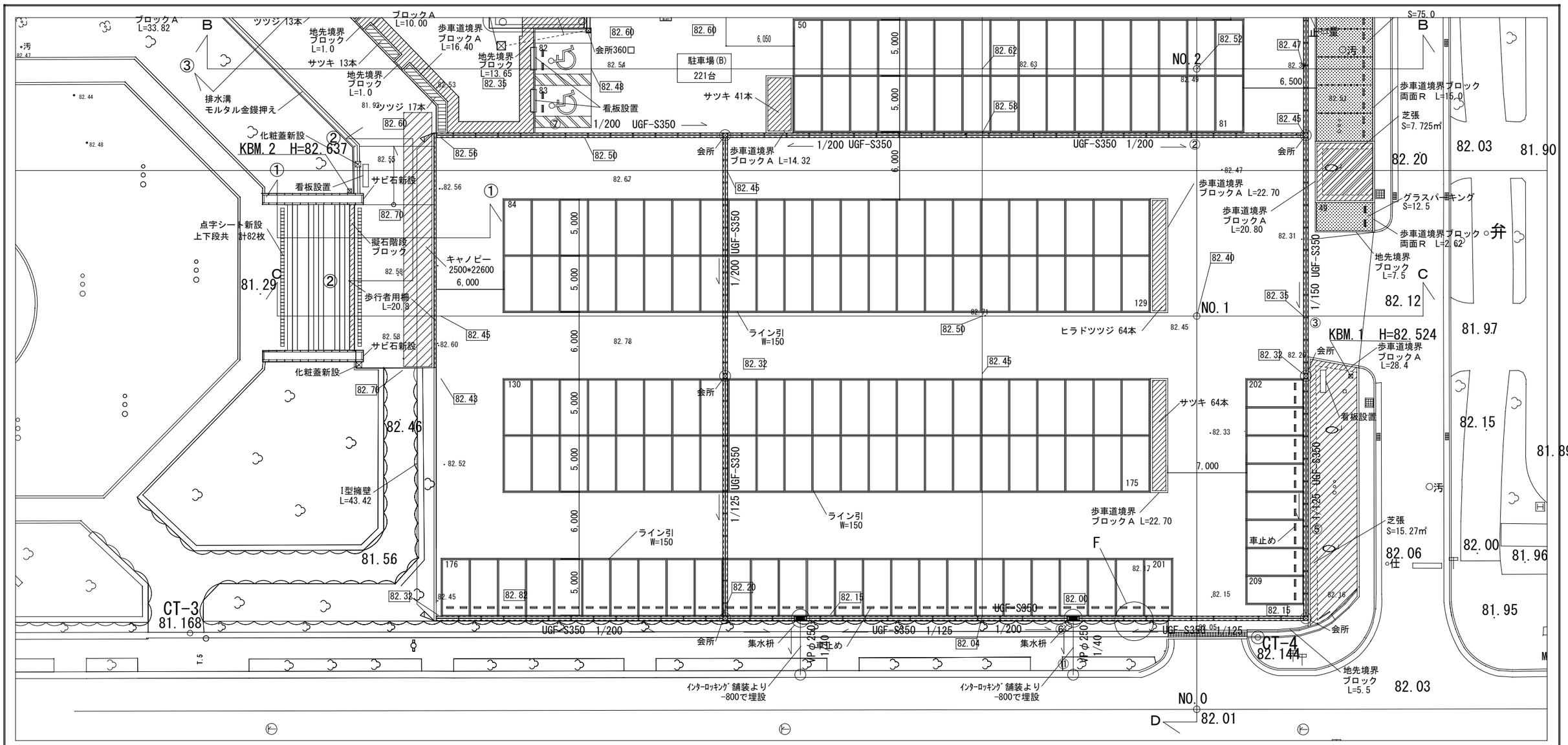
駐車台数

A	76台	内身障者用　2区画	
B	221台	内身障者用　2区画	内車庫内12台
C	97台		
D	5台		
E	80台		
F	102台		
G	60台		
H	44台		
庁舎	5台		
計	690台		

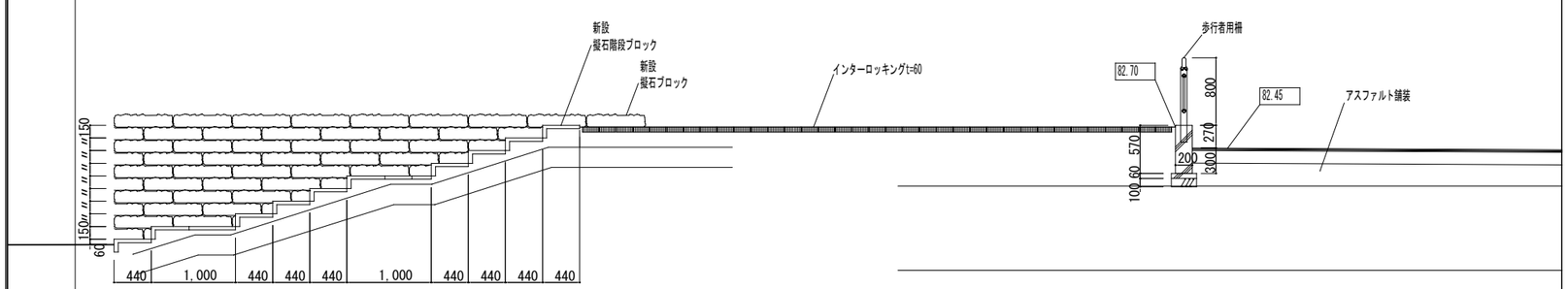
－ 凡 例 －

- **.** ― 造成高
- **.** ― 現況高
- ☒ ― 会所（特記なきは400□とする）
- ▭ ― ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装
- ▨ ― ｶﾗｰAS舗装

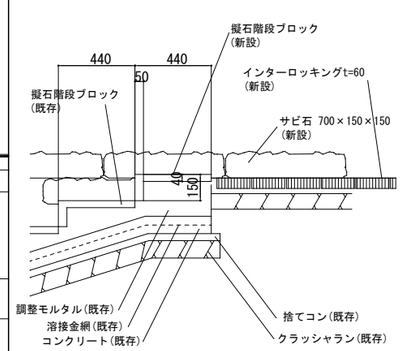
CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	B－03
		図面名 造成計画平面図	SCALE A2 1:500 A3 1:700		



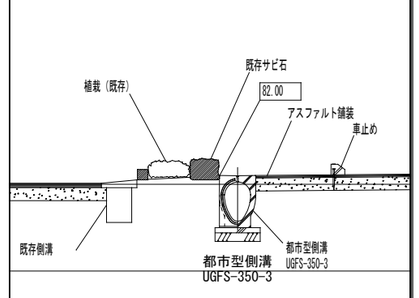
①-① 断面詳細図 1:50



階段新設部 1:25

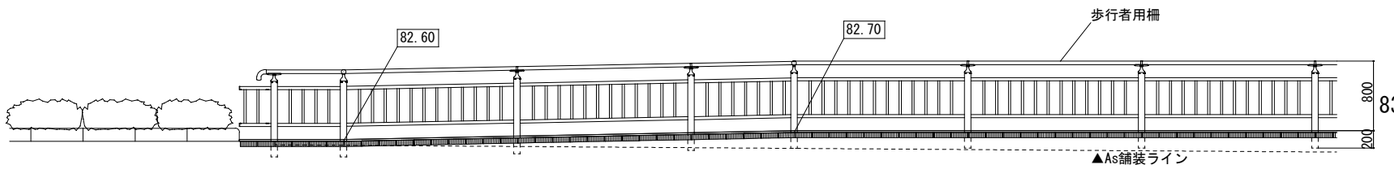


F 断面詳細図 1:50

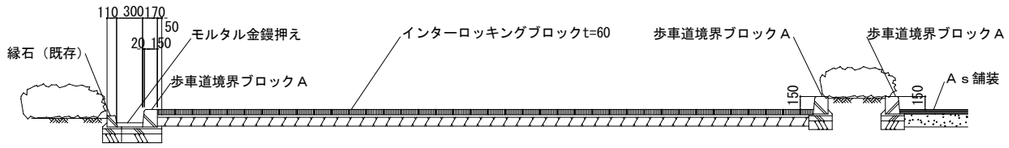


CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・8	140606	B － 04
		図面名	造成計画平面詳細図・断面詳細図（１）	SCALE		
				1:400,1:50,1:25		

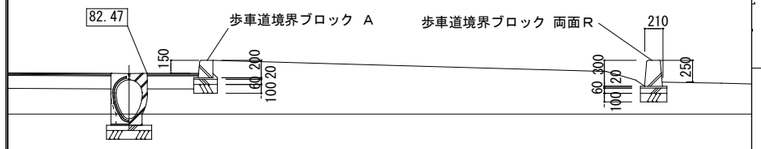
②－② 断面詳細図 1:50



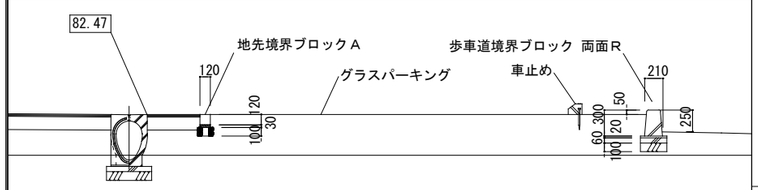
③－③ 断面詳細図 1:50

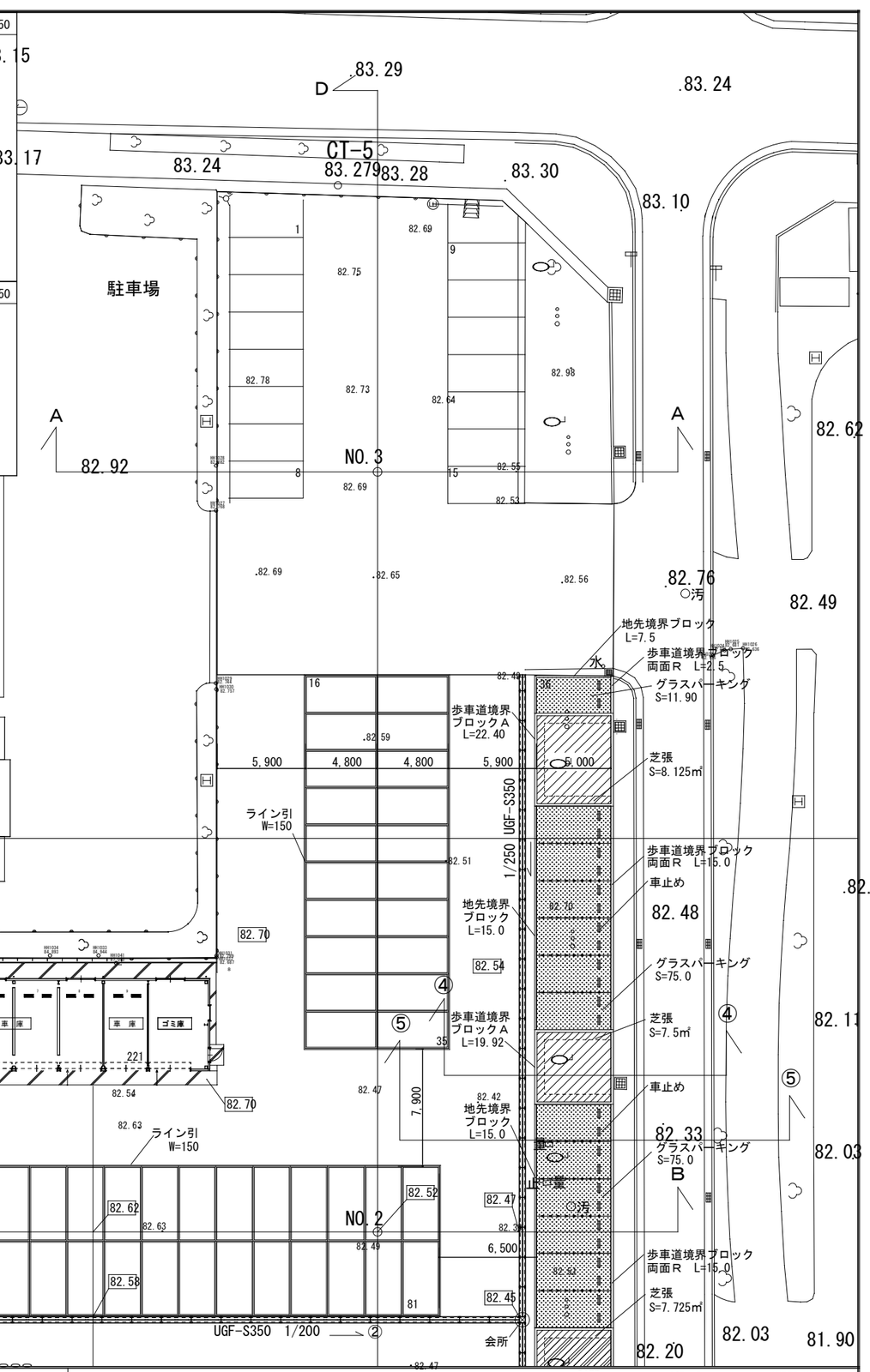


④－④ 断面詳細図 1:50

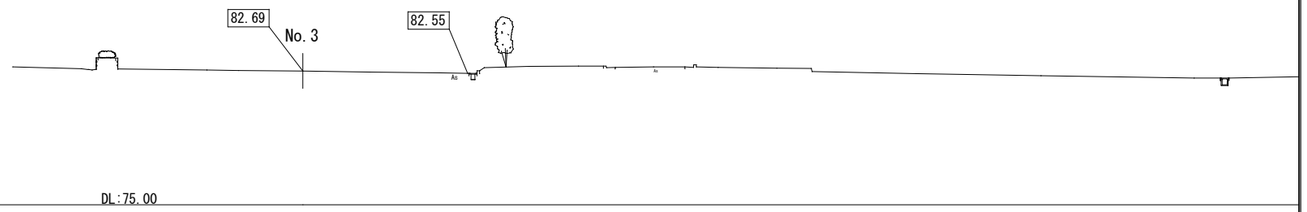


⑤－⑤ 断面詳細図





CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No. / SHEET No.
		図面名	造成計画平面詳細図・断面詳細図（２）	H 26・8 / 140606 / B － 05	SCALE 1:400,1:50



DL:75.00

A － A 断 面 図



DL:75.00

B － B 断 面 図



DL:75.00

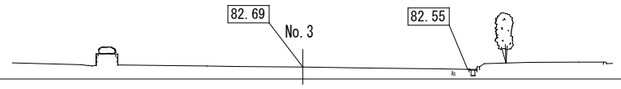
C － C 断 面 図



DL:75.00

D － D 断 面 図

・		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・8	PROJECT No. 140606	SHEET No. B － 06
・				図面名 現況断面図	SCALE A2 1:250 A3 1:350		
・							



DL:75.00

A － A 断 面 図



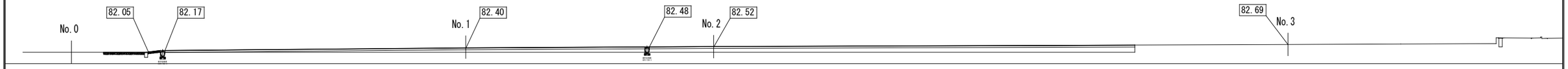
DL:75.00

B － B 断 面 図



DL:75.00

C － C 断 面 図

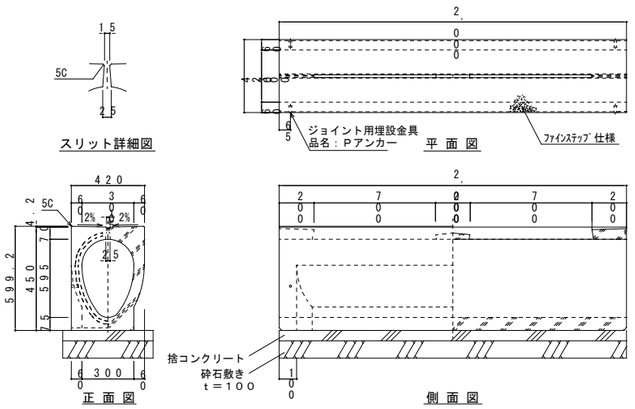


DL:75.00

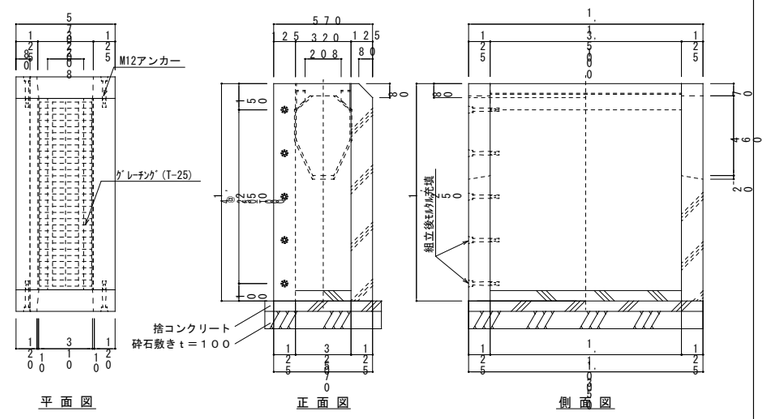
D － D 断 面 図

・		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・8	PROJECT No. 140606
・				図面名 造成計画断面図	SCALE A2 1:250 A3 1:350	SHEET No. B － 07
・						

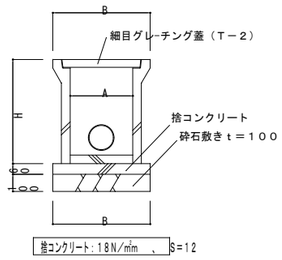
都市型側溝 UGFS-350-3　L=2000 T-25縦断用　1:25



都市型側溝 UGFS-350用　集水桝　1:25



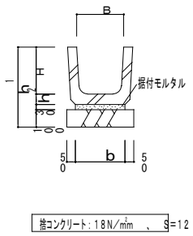
雨水会所（市販品）　1:25



符号	製品名	寸法 A	寸法 B	寸法 H
	会所240	240	340	360
	会所300	300	410	420
	会所300ロング	300	410	600
○	会所360	350	480	490
	会所360ロング	350	480	690
○	会所400	400	550	580
	会所400ロング	400	550	810
	会所450	450	620	680
	会所450ロング	450	620	880
	会所500	500	700	750
	会所600Ａ	600	830	900
	会所600Ｂ	600	830	1000
	会所600Ｃ	600	830	1100

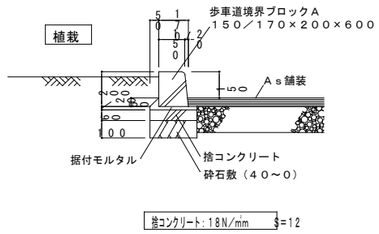
註１）会所深さに関しては外構平面図参照とし、最終現場にて確定する
註２）雨水会所用グレーチング蓋の設置ヶ所は外構平面図参照とする

Ｕ型側溝（市販品）

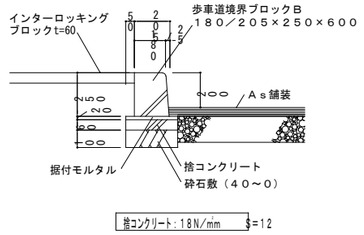


呼び名	B	H	H1	h2	b
120	120	120	280	25	130
150	150	150	315	35	160
180	180	180	350	40	190
○ 240	240	240	420	50	240
300Ａ	300	240	430	60	300
300Ｂ	300	300	490	60	300
300Ｃ	300	360	555	65	300
360Ａ	360	300	495	65	360
360Ｂ	360	360	555	65	360
450	450	450	650	70	430
600	600	600	810	80	600

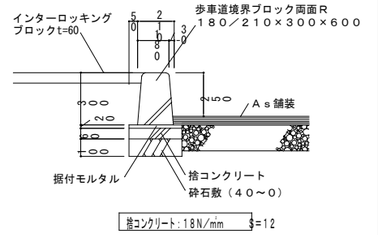
歩車道境界ブロックＡ　1:25



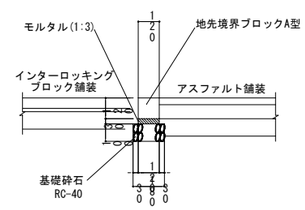
歩車道境界ブロックＢ　1:25



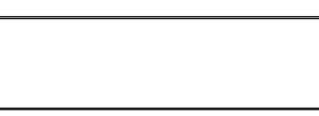
歩車道境界ブロック両面Ｒ　1:25



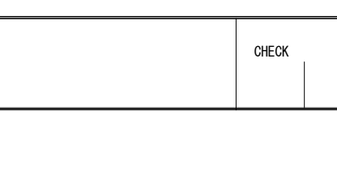
地先境界ブロックＡ　1:25



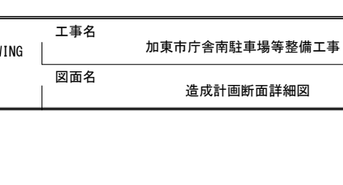
車止め（アスファルト舗装部）　1:25



駐車場アスファルト舗装　1:25

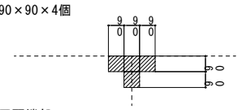


透水性インターロッキング舗装（歩道用）　1:25

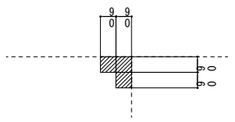


駐車区画（ピンコロ石）　1:25

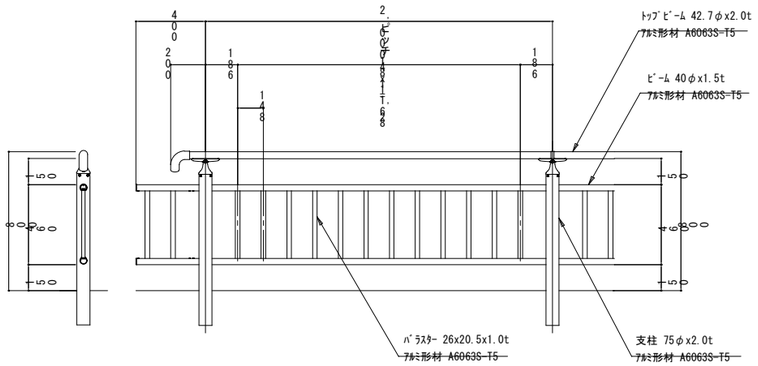
駐車区画隣接部
90×90×90×4個



駐車区画端部
90×90×90×3個

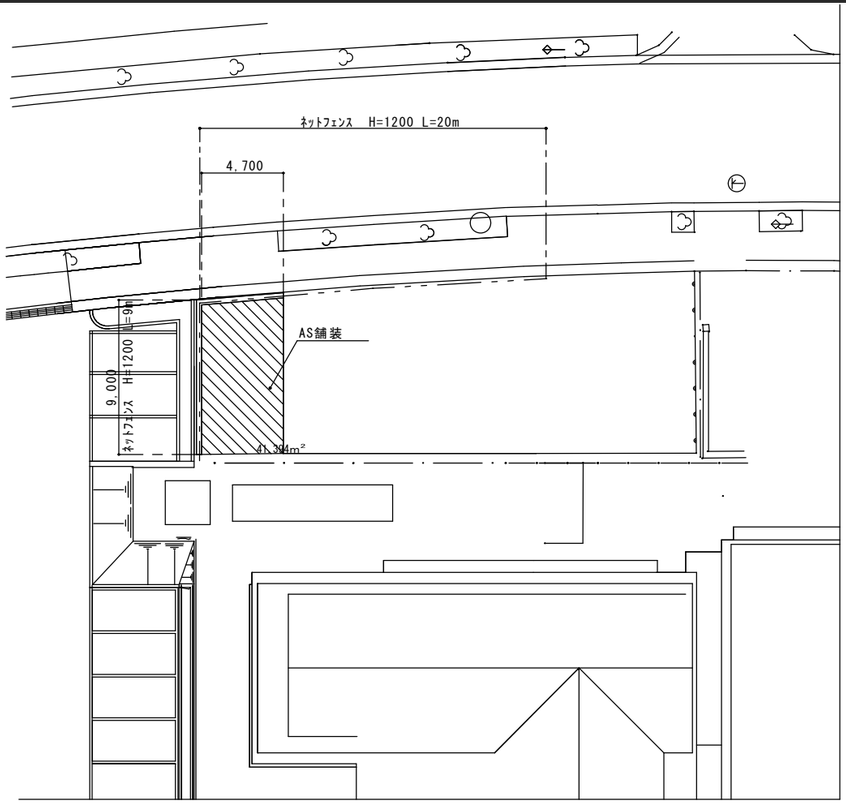


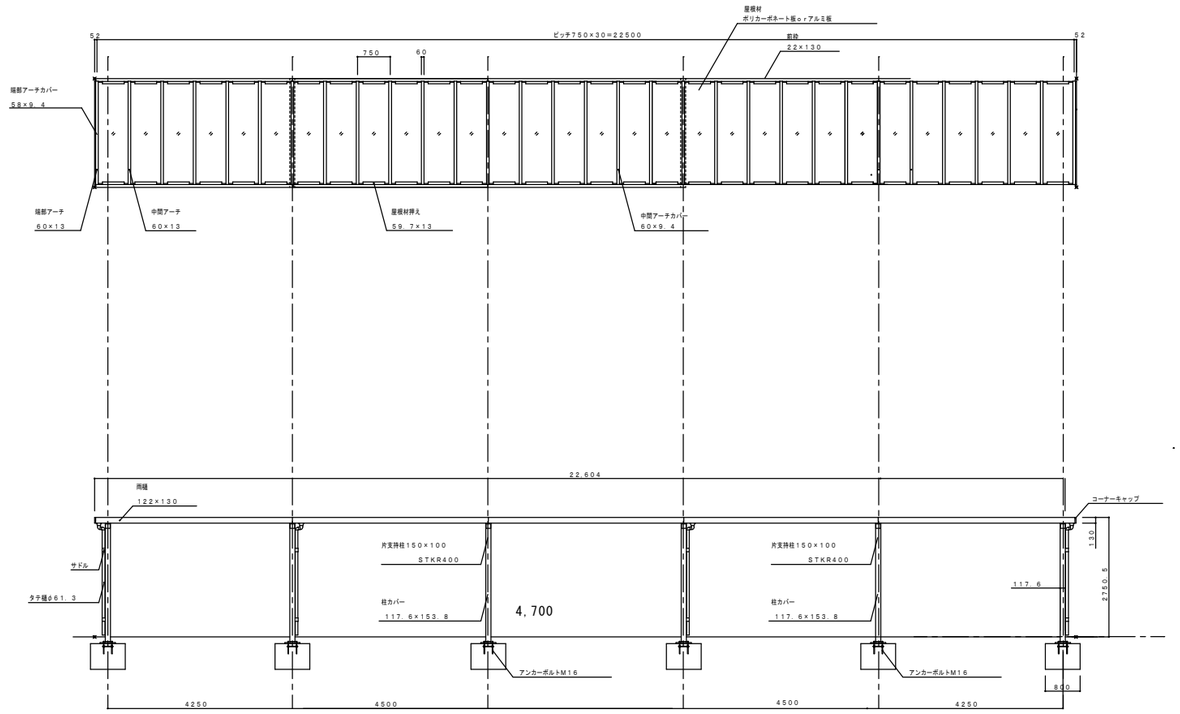
歩行者用柵 詳細図　1:25

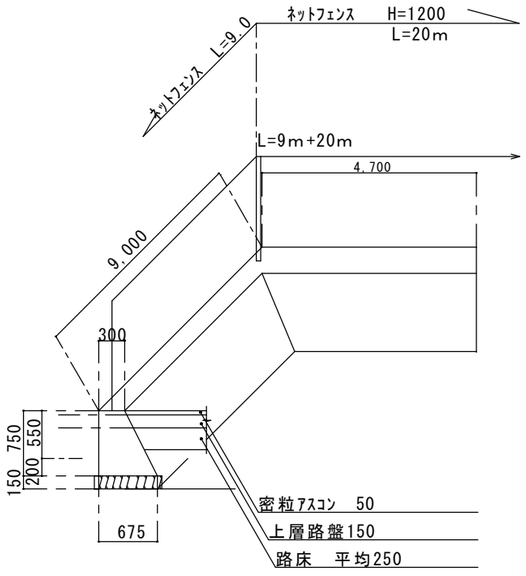


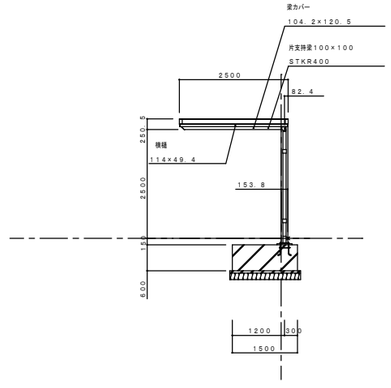
-
-
-

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	B － 08
		図面名	SCALE		
		造成計画断面詳細図	1:25,1:50		









CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
				H 26・9		B － 09
		図面名	キャノピー・福祉センター舗装工事	SCALE A2 1:50 A3 1:70		

構 造 特 記 仕 様 書

§1 一般事項

選択項目は⊙印を適用し⊙印が無い場合は ＊ 印を適用する。
○印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2 設計図書の優先順位は下記による。

1) 本特記仕様書

2) 設計図

3) 標準図 ⊙ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図⊙ 鉄骨工作標準図
• 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図• 高強度せん断補強筋施工仕様書
• 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4) 仕様書（ ＊ 国交省標準仕様書• 公共建築協会• 日本建築家協会 ）

5) 日本建築学会標準仕様書 ， JASS5 ， JASS6

1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に ＊含む • 含まない ）

1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1－6 梁貫通位置、径、及び箇所数は ＊ 意匠図• 構造図 設備図 ）による。

1－7 その他

§2 構造計算ルート

2-1

方 向	構造計算ルート
X	⊙ ルート1 • ルート2 • ルート3 •
Y	⊙ ルート1 • ルート2 • ルート3 •

2-2 鉄筋の継手及び定着

構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さ

＊ 建築基準法施行令第73条(政令第73条)による仕様規定

• 日本建築学会 JASS5(2009),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説

• 日本建築学会 RC規準2010

XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5（2009），鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

§3 仮設工事，土工事

3-1 山留め、根切り

3-2 埋戻し土、盛土、残土処分

埋戻し土 ＊ 根切り土の中の良土 • 搬入良土

盛土 ＊ 根切り土の中の良土 • 搬入良土

残土処分 • 場内均し ＊ 場外搬出処分（ ＊ 自由 • 指定場所 ）

§4 地業工事

4-1 基礎及びスラブ下地業 （単位mm）

場所		※(1) 捨てコンクリート厚さ	A：砕石 B：割栗石	厚さ
基礎	独立，布	＊ 50 • 60 • 100	⊙ A • B	• 60 ⊙100 • 150 •
基礎	ベタ	• 50 • 60 • 100	• A • B	• 60 • 100 • 150 •
地中梁		＊ 50 • 60 • 100	＊ A • B	• 60 ⊙100 • 150 •
構造スラブ		• 50 • 60 • 100	• A • B	• 60 • 100 • 150 •
土間スラブ	屋内	⊙ 30 • 60 • 100	＊ A • B	• 60 • 100 ⊙150 •
土間スラブ	屋外	• 50 • 60 • 100	＊ A • B	• 60 • 100 ⊙150 •

注 (1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2) 端部aは100以上とする。 a≧100

4－2 設計地耐力 長期 100 kN／㎡ 短期 150 kN／㎡ 終局 kN／㎡

地耐力載荷試験 • 行う （ 箇所，長期設計耐力の３倍を確認する）＊行わない

4－3 地盤改良

• 無筋コンクリート地業 • 締固め工法 • ソイルセメント杭 • 圧密排水工法

• セメント系固化材攪拌（浅層混合処理工） • 柱状改良（無筋コンクリート）

[• 載荷試験 • 一軸圧縮試験 • 行う （ 箇所） ＊行わない

[• 六価クロム溶出試験] • 行う ＊行わない

4-4 既製コンクリート杭

1) 杭種

• PHC 杭 • A 種 • B 種 • C 種 •

• ST 杭 • A 種 • B 種 • C 種 •

• SC 杭 t mm • • • •

• PRC 杭 • Ⅰ種 • Ⅱ種 • Ⅲ種 • Ⅳ種

• 節杭 • A 種 • B 種 • C 種 •

2) 工法

• 打撃工法 • 油圧ハンマー • ディーゼルハンマー

• 埋込み工法 • プレボーリングセメントミルク注入工法

• プレボーリング拡大根固め工法（認定工法）

杭周固定液 ＊あり • なし

• 中掘拡大根固め工法（認定工法）

• 回転埋設根固め工法（認定工法）

3) 杭径，設計耐力，本数表

杭 径（拡底部）mm	長期 kN	短期 kN	終局 kN	本数	備 考
（ ）					
（ ）					
（ ）					
（ ）					

4) 杭の構成は設計図による。

5) 杭頭補強

• かご筋 • スタッド溶接 • 杭外周溶接 • 図示

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭，場所打鋼管コンクリート杭

1) 工法

• アースドリル工法 • 拡底アースドリル工法

• リバース工法 • オールケーシング工法（• ペノト工法• ）

• BH工法 •

2) 杭径，設計耐力，本数表（拡底部は施工径を示す）

杭 径（拡底部）mm	管厚 mm	長期 kN	短期 kN	終局 kN	本数	備 考
（ ）						
（ ）						
（ ）						
（ ）						
（ ）						

3) 杭先端深さ GL− m

4) 孔壁測定（2 方向）

＊行う （ • 全数 • % ） • 行わない

5) 使用材料

コンクリート Fc （ • 普通ポルトランドセメント • 高炉セメントB種 ）

鉄筋 • D 以下 SD295A • D 以上 SD345

• D 以上 SD390

鋼管（リブ付） • SKK400 • SKK490

4-6 杭打地業共通事項

1) [• 杭長決定用先行杭 • 試験掘] • 行う （ 本） • 行わない

2) 載荷試験 • 行う （ 箇所，長期設計耐力の３倍を確認する）＊ 行わない

3) ＳＬ塗布 • 行う ＊ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1 材種

種 類	径	継 手
⊙ SD295A	D 16 以下	*重ね継手 • スパイラル • 工場溶接
⊙ SD345	D 19 以上 ～D25	• 重ね継手 *溶接継手 • 機械継手(級)
• SD390	D 以上	*溶接継手 • 機械継手 級）
• SD490	D 以上	溶接継手 • 機械継手 級）
• 溶接金網		• 重ね継手
• 高強度せん断補強筋	• 1275級 P	• 重ね継手 • スパイラル • 工場溶接
	• 785級 K	
	• 685級 UD UR	

溶接継手 *ガス圧接 • 突き合せ溶接（D16以下は重ねアーク溶接でも可）

5-2 溶接部の検査（第三者機関による）

⊙ 抜取り検査

⊙ 引張り試験（JISZ3120）

1 検査ロットにつき ＊ 3 本 •

• 超高音波探傷試験(JISZ3062) • 熱間押抜き試験

1 検査ロットにつき • 全 箇所 •

○ 不合格となった溶接部は切り取って再溶接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した溶接箇所の数量で200箇所以内

5-3 梁貫通補強

補強筋は原則として工場製品（評定品）を使用する。

5-4 その他

鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。

コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。

コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1 設計基準強度 (N/mm²)

1) セメント ＊ 普通ポルトランドセメントJISR5210 • 高炉セメントB種

• 低熱ポルトランドセメントJISR5210 •

2) 粗骨材 • 砂利砕石 •高炉スラグ骨材 • 人工軽量骨材 再生骨材

最大径(mm) ＊ 20 • 25 • 40

3) 躯体 （使用区分は設計図の軸組図に示す）

• 普通コンクリート

• Fc18 ⊙ Fc21 • Fc24 • Fc27 • Fc30 • Fc36 • Fc

• 軽量コンクリート （ *1種 • 2 種 気乾単位容積質量 ＊ 1.85 • 1.75 ） t/m³

• LFc18 • LFc21 • LFc24 • LFc27 • LFc30 • LFc

4) 土間コンクリート⊙ Fc 21 （ただし柱，壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）

5) 捨てコンクリート⊙ Fc 18

6) 防水押さえコンクリート • Fc • LFc （気乾単位容積質量 ＊ 18.5 • ）

7) かさ上げコンクリート • Fc • LFc （気乾単位容積質量 ＊ 18.5 • ）

6-2 混和材 ＊ AE減水剤 ⊙ 高性能AE減水剤 • 躯体防水材 • 膨張材

6-3

箇 所	基礎,地中梁	一 般	土間コン	捨てコン	備 考
スランプ cm	15	18	15	15	
水セメント比 %					60 以下
単位水量 kg／㎥					185以下
単位セメント量 kg／㎥					270以上

6-4 試験 （躯体コンクリートの28日圧縮試験及びコンクリート受入れ検査は第三者機関において行う）

1) 骨材 [⊙塩分含有量 ⊙ アルカリシリカ反応性] ＊行う •行わない

2) フレッシュコンクリート [⊙スランプ ⊙空気量] ＊行う •行わない

3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験 ＊行う •行わない

4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験 •行う ＊行わない

5) マスコンクリートのひび割れ照査（温度応力解析） •行う ＊行わない

6-5 調合 （補正値は工事費に含む）

計画供用期間の級（ ）は耐久設計基準強度 Fd

• 短期（18） ＊ 標準（24） • 長期（30） • 超長期（36）

調合管理強度 Fm=Max（Fc，Fd）+S S=3～6

材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。

F≧Fm1.73σ F≧0.85Fm+3σ

6-6 せき板及び支柱の存置期間（普通ポルトランドセメントの場合）

		基礎，梁側、柱、壁	スラブ下	梁 下
コンクリートの材齢による場合	15 ℃以上	3 日	17 日	28 日
	5 ℃以上	5 日	25 日	
	0 ℃以上	8 日	28 日	
圧縮試験による場合		5N/mm²	0.85Fc または 12N/mm²	設計強度

6-7 住宅性能表示

劣化等級 • 等級2 • 等級3

劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）2-7かぶり厚さが変わる場合があるので注意すること。

6-8 Fc60を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書による。

§7 鉄骨工事

7-1 材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼 材 名	柱	通しダイア	内ダイア	大梁	ブレース	小梁，他
一般構造用圧延鋼材	⊙ SS400 •				○		○
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A • SM490A						
建築構造用圧延鋼材	• SN400A • SM490B						
	• SN400B • SM490B						
	• SN400C ⊙ SM490C		○	○			
	⊙ SNR400B					○	
一般構造用角形鋼管	• STKR400 • STKR490						
冷間成形角形鋼管	⊙ BCR295 •	○					
	• BCP235 • BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B • SHC400C						
	• SHC490B • SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	• STK400 • STK490						
一般構造用軽量形鋼	⊙ SSC400 •						○

7-2 高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト	＊ S10T	全般
JIS形高力ボルト	• F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	• F8T	母材が亜鉛メッキされている部分

7-3 普通ボルト，アンカーボルト

1) 材質 • SS400 • SS490（M 以上）⊙ ABR490 • SNR490（M 以上）

2) 大臣認定柱脚（メーカー仕様による） • 使用する ⊙ 使用しない

7-4 頭付きスタッド

径	長 さ (mm)	使用箇所
16 φ	• 80 • 100 • 120 • 150 •	
19 φ	• 80 • 100 • 120 • 150 •	
22 φ	• 100 • 120 • 150 • •	

7-5 溶接材料

1) アーク溶接に使用する溶接棒，ワイヤ及びフラックスは母材の種類，寸法，及び溶接条件に相応したものを選定する。

2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6 スカラップ形状 スカラップ工法 •ノンスカラップ工法

7－7 継手

	柱		梁	
フランジ	⊙ 高力ボルト	• 現場溶接	＊ 高力ボルト	• 現場溶接
ウェブ	⊙ 高力ボルト	• 現場溶接	＊ 高力ボルト	• 現場溶接

7－8 溶接手法及び管理

使用する溶接ワイヤー、入熱量及びパス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の管理技術者により管理を行うこと。

7－9 デッキプレート （単位 mm）

1) 床用 高さ • 板厚 •

2) 合成スラブ用 高さ • 板厚 •

3) 型枠用 高さ • 板厚 • 形版 タイプ

4) 防錆処理 • プライマー • 亜鉛メッキ • Z12 • Z27

7-10 錆止め塗装（工場塗１回、現場塗１回を原則とする）

1) 素地こしらえ ＊ ケレン • ブラスト

2) 錆止め塗料

適用 室外	適用 室内	塗 料		種 別		標準膜厚
•	⊙	鉛、クロムフリー錆び止め	J1SK5674			35μm
	•	一般用錆止めペイント	J1SK5621	• 1種	• 2種	
•	•	鉛丹錆止めペイント	J1SK5622	• 1種	• 2種	
⊙		ジンクリッチプライマー	J1SK5552	• 1種	⊙2種	
⊙		構造物用さび止めペイント	J1SK5551	⊙A種	• B種	

3） 溶融亜鉛メッキ • 行う ⊙ 行わない

7－11 溶接部の検査（受入検査） ＊ 行う • 行わない

1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者（元請）との直接契約による。

2) 第三者検査機関は（社）日本溶接協会によるＣＩＷ検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。

3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。

4) 外観検査の合否判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付則6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。

5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準・同解説」2008により合否判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。

6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。

7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。

a）工場溶接の場合

i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以上で構成する。

ii. 抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。

iii. サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合はロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合を合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。

b）現場溶接の場合

i. 全数検査とする。

8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。

9) ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参考にする。

7－12 鉄骨製作工場

国土交通省大臣認定（グレード）					
S	H	M	R	(J)	

§8

8-1 コンクリートブロック

1) 種類 ⊙ A 種 • B 種 • C 種

2) 厚さ mm ⊙ 100 • 120 • 150 • 190

8-2 ALC パネル

1) 使用箇所 • 床 • 屋根 • 外壁 • 内壁

2) 厚さ mm • 75（80） • 100 • 125 • 150 • 175 • 50

3) 外壁取り付け構法

方 向	構 法	使用箇所	備 考
縦	• スライド構法		
	• ロッキング構法		
横	• カバープレート構法		
	• ボルト止め構法		

8-3 押出成形セメント板

外壁取付構法及び厚さmm • •

方 向	構 法	使用箇所	備 考
縦	• ロッキング構法		
横	• スライド構法		

8-4 PCa板

1) 床及び屋根 • 床 • 屋根

• PCa板単独 厚さmm • •

• 合成板

PCa板厚さ mm	現場打厚さ mm	合計厚さ mm	備 考

2) 外壁 厚さ mm • •

関西建築構造設計事務所協会
TEL(06)6763-8205 FAX(06)6763-8206 http://www.kks-web.com/

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・6	140606	C－01
		図面名 構造特記仕様書	SCALE －		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

§１　一般事項

1-1 基本事項

1．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「ＪＡＳＳ５（２００３）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3．本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

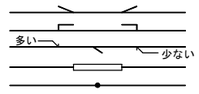
§２　共通事項

2-1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記　号	•	×	⌀	●	○	⊙	⊠	⊗	⌖	✦	✖
呼び径d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- 溶接継手表示
（ガス圧接、突き合せ溶接）



2-2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角　度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法　直径（D）
180	d D 余長 4d以上	柱・梁主筋 基礎主筋 帯　筋 あばら筋 ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋 ｽﾗﾌﾞ筋 壁　筋	SD295	D16以下	最小3d以上（標準5d以上）
135	d D 余長 6d以上		SD345	D19～D38	最小4d以上（標準6d以上）
				D41	最小5d以上（標準7d以上）
90	d D 余長 8d以上		SD390	D41以下	最小5d以上（標準7d以上）
			SD490		

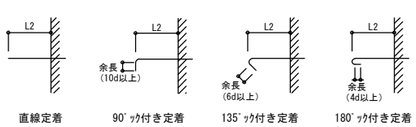
鉄筋折曲げ内法直径Dの標準値の採用は JASS5（2009）表11.2〔注〕に準拠

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5（2009）」に準拠

鉄筋の種　類	コンクリートの設計基準強度（N/mm²）	重ね継手の長　さ（L1）	定着の長さ 一　般（L2）	定着の長さ 下端筋（L3） 小　梁	定着の長さ 下端筋（L3） 床 屋根スラブ
SD295 SD345	18	45d直線又は 35dフック付き	40d直線又は 30dフック付き	25d直線又は 15dフック付き	10d かつ 150 以上
	21～27	40d直線又は 30dフック付き	35d直線又は 25dフック付き		
	30～45	35d直線又は 25dフック付き	30d直線又は 20dフック付き		
	48～60	30d直線又は 20dフック付き	25d直線又は 15dフック付き		
SD390	21～27	45d直線又は 35dフック付き	40d直線又は 30dフック付き		
	30～45	40d直線又は 30dフック付き	35d直線又は 25dフック付き		
	48～60	35d直線又は 25dフック付き	30d直線又は 20dフック付き		
SD490					

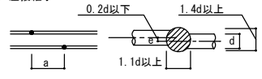
一般定着の直線またはフック付きのL2の図



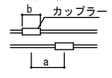
1．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL2は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2．軽量コンクリートを使用する場合は、上表の数値に5dを加算する。
3．構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さは上表L1　L2かつ40d（軽量コンクリートを使用する場合は50d）とする。
4．構造特記仕様書2-2でJASS5（2003）、RC規準1999とした場合、主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さは設計者の指示による。参考値として上表JASS5（2003）にL1　L2　を示す。
5．柱梁接合部内に折曲げ定着する梁主筋を柱せいの3/4倍以上のみ込ませてもフック付き定着長さ（L2）が確保できない場合は、柱せいの3/4倍のみ込みを保ちながら、2-3表のL2（フック付）の2/3部を下回らない範囲内で定着長さを短くし（△1,△2）、短くした長さ（△1,△2）を余長に加えてよい。但し、構造特記仕様書2-2定着長さRC規準1999を採用した場合は△1,△2＝0とできる。

2-4 継手一般

1．圧接継手



2．機械式接合



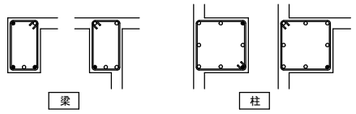
3．重ね継手（下記のいずれかとする。壁、ｽﾗﾌﾞ筋でD16以下の場合を除く）



4．D35以上の鉄筋は重ね継手としてはならない。（溶接、機械式継手等による）
5．溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は２サイズ、突き合せ溶接の場合は１サイズまでとする。
6．溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2-5 鉄筋のフック

- 下記の1.～7.に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
1．あばら筋及び帯筋　　2．煙突の鉄筋
3．柱及び梁（基礎梁をのぞく）の出隅部分の鉄筋（下図参照）



上記の • 印の鉄筋の末端にはフックが必要

4．片持ちスラブの上端筋の先端
5．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭2本打以上の場合）
7．鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は、根巻きコンクリートの四隅の鉄筋

- 鉄筋のあきaは原則として下記による。
　呼び名の数値dの1.5倍以上
　粗骨材の最大寸法の1.25倍以上　　かつ25以上



- 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
- 二段筋のあきは1.5dとする。

2-6 鉄筋のあき

2-7 かぶり厚さ

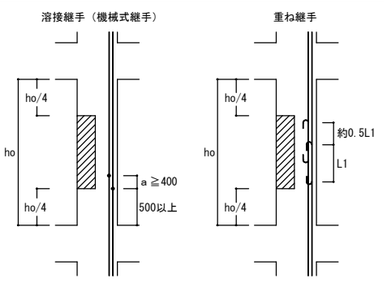
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部　位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋　内	30（20）	30（20）
		屋　外	30（20）	40（30）
	柱 梁 耐力壁	屋　内	40（30）	40（30）
		屋　外	40（30）	50（40）
	擁　壁		※1 ※1 50（40）	※1 ※1 50（40）
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		※2 ※2 50（40）	
	基　礎　・　擁　壁		※2 ※2 70（60）	

1．（　）内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3．※1　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。
4．※2　軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5．柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

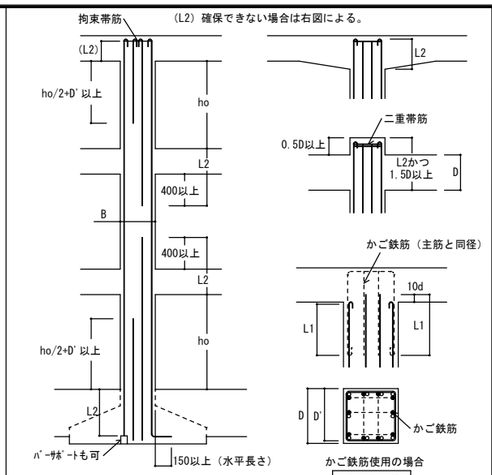
§３　柱

3－1 主筋の継手

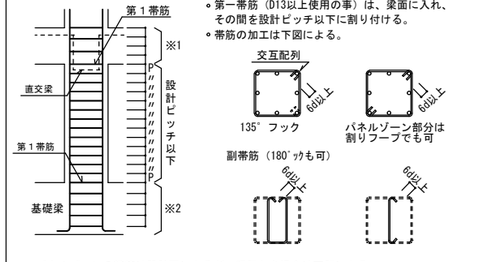


- 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

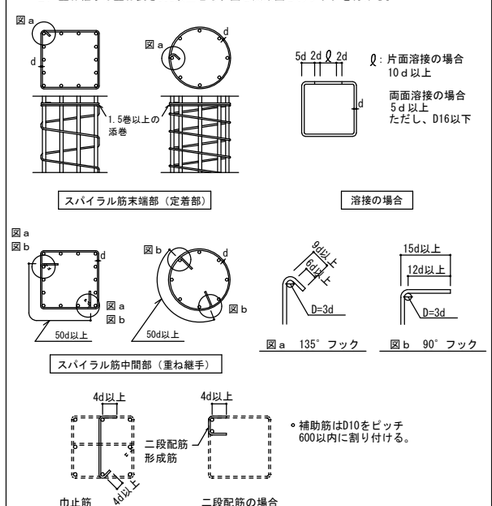
3-2 主筋の定着



3-3 帯筋 副帯筋



- 第一帯筋（D13以上使用の事）は、梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
- 帯筋の加工は下図による。
- パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。
ただし、帯筋量(pw)は0.2%以上とする。
※1．設計ピッチの1.5倍以下とする。□形以上の場合は同径同材質で □形@100以下とする。
※2．基礎梁部分は同径で □形@150以下とする。
- スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
1．末端は1.5巻以上の添巻きをし、図ａのフックを付ける。
2．重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図ａ又は図ｂのフックを付ける。

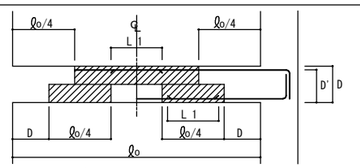


3-4 補助筋

- 補助筋はD10をピッチ600以内に割り付ける。

4-1 主筋の継手

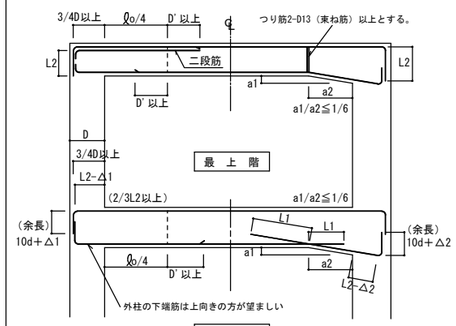
§４　梁



- ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上はなすこと。
- 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

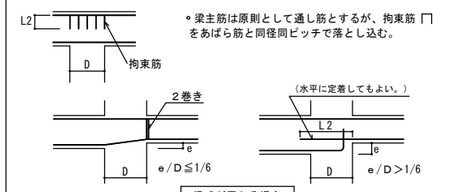
4-2 主筋の定着及び余長

外　柱

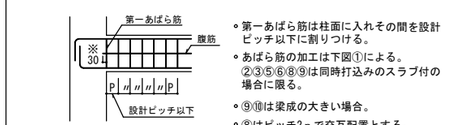


※余長D'は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

中　柱

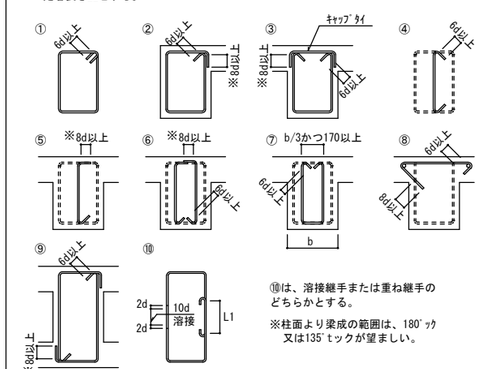


- 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋 ⊓ をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。



※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL2とする。

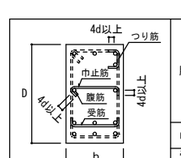
- 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割りつける。
- あばら筋の加工は下図①による。
②③⑤⑥⑧⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
- ⑨⑩は梁成の大きい場合。
- ⑧はピッチ2p で交互配置とする。
- 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。



⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※柱面より梁成の範囲は、180°ﾌｯｸ又は135°ﾌｯｸが望ましい。

4-3 あばら筋 副あばら筋

4-4 補助筋



腹　筋	D＜600	不要
	600≦D＜900	2-D10（１段）
	900≦D＜1200	4-D10（２段）
	1200≦D	D10@300以内
巾止筋	D10@1000以内で割り付ける	
受　筋 つり筋	D10@1000以内で割り付ける	

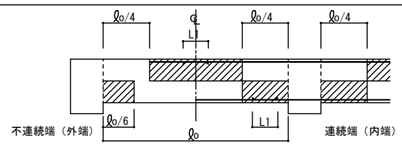
構造担当建築士　　岸本　康宏
（一級建築士登録：第222920号）
（構造設計一級建築士登録：第7173号）

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・6	140606	C－02
		図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	SCALE －		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

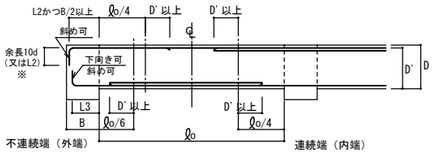
4-5 小梁及び片持梁

a) 小梁継手



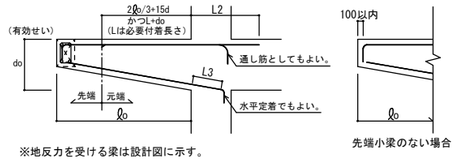
- ▨ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。

定着



b) 片持梁 定着 継手

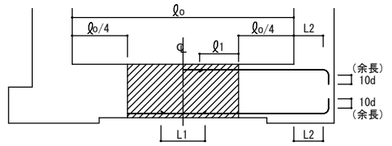
- 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。



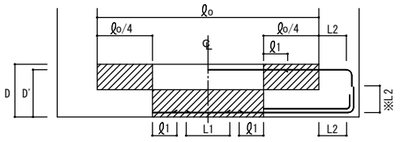
※地反力を受ける梁は設計図に示す。

① 地反力を受けなく、床など上載荷重を受ける場合は（4-1）（4-2）による。
ただし、余長は $\ell_1[\ \ell_1 \geqq \min(D', L2)\ ]$ とする。
※余長D'は構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

② 地反力及び上載荷重を受けない場合。



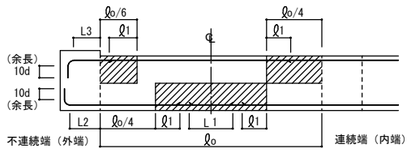
③ 地反力（又は杭反力）を受ける場合



※設計者の判断による。

b) 基礎小梁の継手及び定着

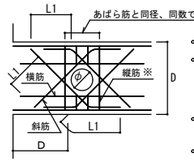
① 地反力を受けない場合は(4-5)による。
② 地反力を受ける場合



- ▨ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より500以上はなすこと。L2は2-3-3によってよい。

4-7 梁貫通補強

1．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
2．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。



- 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。
- 孔が複数の場合は中心間隔を径（φ）の３倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成D以上はなし、梁成の中央D/2の範囲内とする。
- φが100かつD/10以下のとき、補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。
- ※縦筋はあばら筋加工とする。

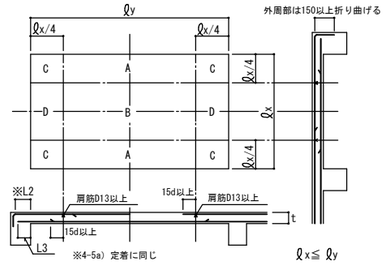
5-1 鉄筋の折曲げ及び定着

5-2 継手

5-3 片持ちスラブ

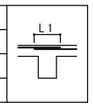
5-4 補強筋

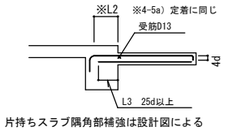
§5 スラブ



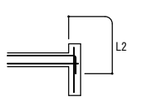
継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B D
	長辺方向	A B
下端筋	短辺・長辺方向	A C D





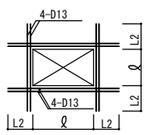
片持ちスラブ隅角部補強は設計図による



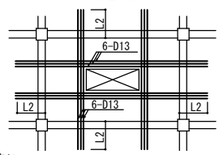
先端に荷重のある場合

開口補強　A：開口面積

$A \leqq 0.3m^2$ かつ $\ell \leqq 0.6m^2$

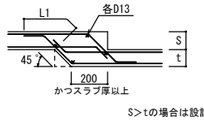


$0.3m^2 < A \leqq 1.0m^2$ かつ $\ell \leqq 1.0m^2$

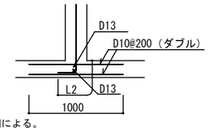


注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

段違床

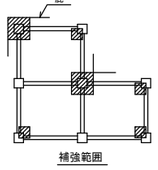


RC壁・CB壁が床にのる場合

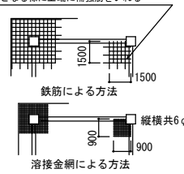


S＞tの場合は設計図による。

屋上スラブ隅角補強

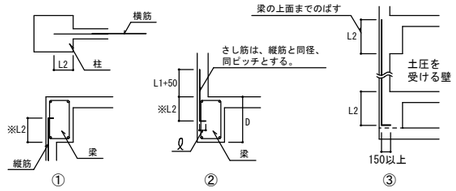


スラブ筋と同径で1/2ピッチ以下（与@100）程度となる様に上端に補強筋をいれる



§6 壁

6-1 定着及び継手



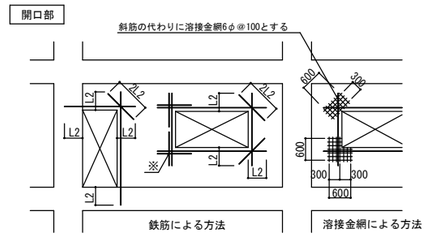
- 定着長さはL2、及び継手長さはL1とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=150程度 45°～90°折り曲げ、定着長さはL2かつD/2以上とする。（通し配筋の場合は不要）
- 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
- 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。

6-2 壁配筋

壁の配筋は設計図書による。
- ダブル配筋は巾止筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。

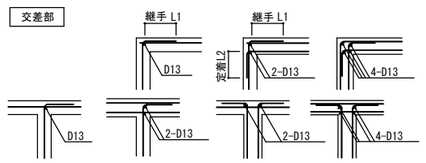
6-3 補強筋

開口部



- ※斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計者の指示による。
- 斜筋は外側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

交差部

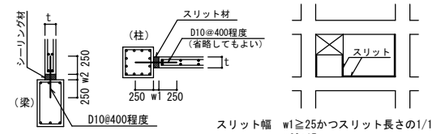


端部



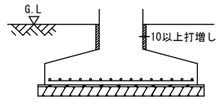
- 開口補強筋はリストによる。

スリット　完全スリットの場合



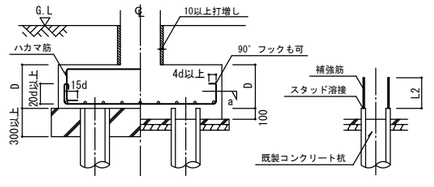
§7 基礎

7-1 独立基礎



ただしかぶり厚さ50（軽量コンクリートの場合60）の場合は不要

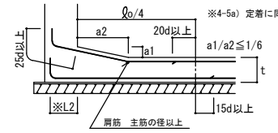
7-2 杭基礎



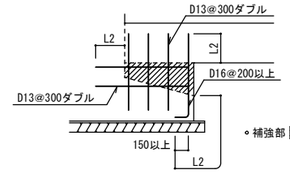
- １本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
- 杭頭補強筋は設計図による。
- 杭頭を切断した場合の補強は、設計者の指示による。

7-3 べた基礎継手及び定着

継手位置は５－２項の上端筋を下端筋に読みかえる。



7-4 基礎と基礎梁

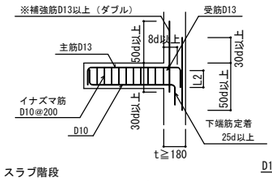


- 補強部 ▨ の厚さは梁巾とする。

§8 その他

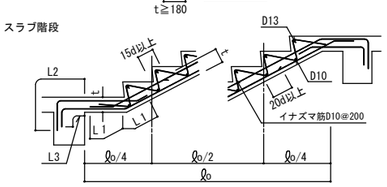
8-1 階段

片持階段

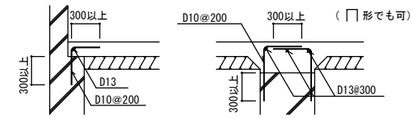


※壁配筋が片持荷重を受ける配筋がされている場合は不要。

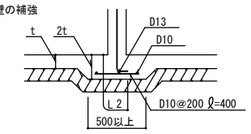
スラブ階段



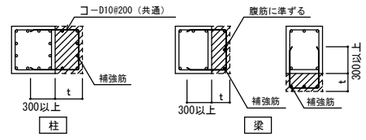
8-2 土間コンクリート



RC壁・CB壁の補強

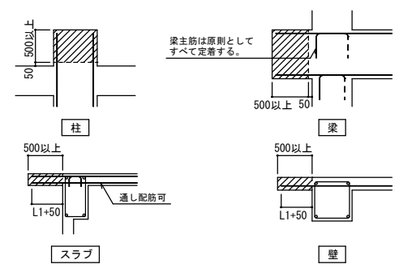


8-3 打増し補強



- ▨ は打増し部分を示す。
- 補強筋（定着は20ｄ以上）
ｔ≦50　補強なし　　50＜ｔ≦100 D13@300
100＜ｔ≦200 D16@300　200＜ｔ≦300 D16@200
ｔ＞300 設計図による

8-4 増築予定



- ▨ は、はつり部分を示す。
- 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手とする。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

構造担当建築士　岸本　康宏 （一級建築士登録：第222920号） （構造設計一級建築士登録：第7173号）	CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606
			図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	SCALE －	SHEET No. C－03

鉄 骨 工 作 標 準 図 （1）

§1 一般事項

1-1 基本事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
   また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１−２−４，５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3. 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§2 共通事項

2-1 略 号

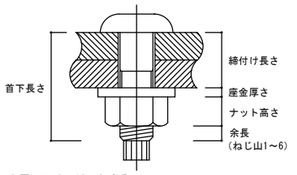
- AB ―― アンカーボルト
- BPL ―― ベースプレート
- DFPL ―― ダイヤフラム
- FPL ―― フランジプレート
- HTB ―― 高力ボルト
- SPL ―― スプライスプレート
- WPL ―― ウェブプレート
- HB ―― 組立てＨ形鋼
- CHPL ―― チェッカープレート
- FB ―― フラットバー
- GPL ―― ガセットプレート
- RPL ―― リブプレート
- TB ―― ターンバックル
- W 1-9 ―― 溶接記号（§４参照）

§3 ボルト接合

3-1 高力ボルト

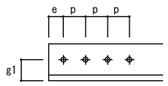
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T,F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



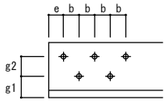
1．特記以外はすべてＳ10Ｔ（トルシア形高力ボルト、上図）又はＦ10Ｔとする。
2．本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3．ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4．亜鉛メッキボルトの場合は、全てＦ８Ｔとする。

3-2 高力ボルトのピッチ



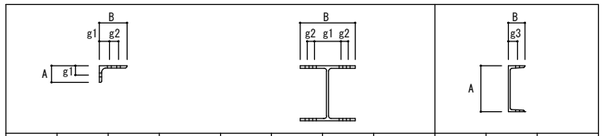
呼び径			M16	M20	M22	M24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	p	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40(50)	40(55)	45(60)
最小縁端距離	せん断縁、手動ガス切断縁		28	34	38	44
	圧延縁、自動ガス切断縁等		22	26	28	32

（ ）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。



ゲージ g2	千鳥打ちのピッチ b	
	M16,20,22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3-3 形鋼のゲージ



AorB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊Ｂ＝300は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄のｇおよび最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

4-1 隅肉溶接

§4 溶接接合

t ≦16							16＜ t ≦32						
記号 W 1							記号 W 1						
t	6以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24

脚長（ｓ） 0≦Δｓ≦0.5ｓ
かつ Δｓ≦5
Δｓ＝ｓ'−ｓ
ｓ ＝設計サイズ
ｓ'＝実際サイズ
余盛 0≦Δα≦0.4ｓかつΔα≦4

断続隅肉溶接の長さ Ｌ

L≧10Sかつ40以上

4-2 完全溶込み溶接（突合溶接）

1）板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）

クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

2）エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さℓ1は35以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5〜10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。

3）開先加工（下図は参考とする）

ａ）スカラップ工法

- スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。ｒ1は35程度、ｒ2は10程度とする。なお、複合円は滑らかに仕上げること。
- 完全溶込み溶接部以外のスカラップはｒ=25程度とする。

ｂ）ノンスカラップ工法

機械加工タイプ　機械加工＋ガス切りタイプ

4）開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法	アーク手溶接	ｶﾞｽｼｰﾙﾄﾞ及びｾﾙﾌｼｰﾙﾄﾞｱｰｸ手溶接
W2 MC-BL-B1 GC-BL-B1	裏当て	6≦T	G	7 +2 −2	6 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α1	45° −5	45° −5
W3 MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり	6≦T≦19	G	9 +2 −2	7 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α1	35° −5	35° −5
W4 MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり	16＜T	G	0 +4 −0	0 +3 −0
			d1	2/3(T−R)	2/3(T−R)
			R	2 +2 −2	2 +2 −2
			d2	1/3(T−R)	1/3(T−R)
			α1	45° −5	45° −5
			α2	60° −5	60° −5
W5 MC-BI-B1 GC-BI-B1	裏当て FB−4.5×19	3〜6	G	T −2	T −2
		6〜9	G		6 −2

MC…はアーク手溶接　GC…はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4-3 部分溶込み溶接

片面溶接 W6										両面溶接 W7
12≦ t ≦40										16≦ t ≦40
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t-2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	
t/4≦ s ≦10										

4-4 フレア溶接

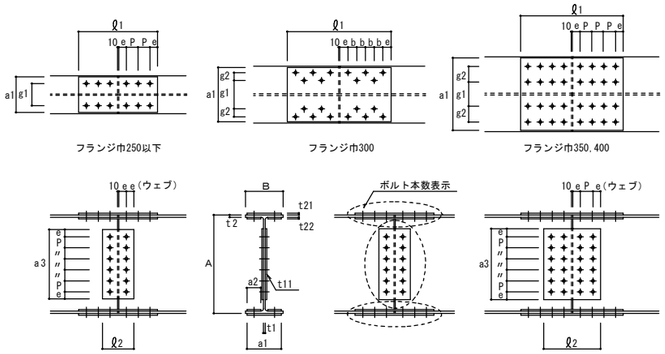
丸鋼等溶接 W8	軽量形鋼等溶接 W9
D/2 D/2 D D/2 D/2 D D D/2	t≧3のときs=t t<3のときs=3

4-5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

§5 継 手

5-1 継手リスト

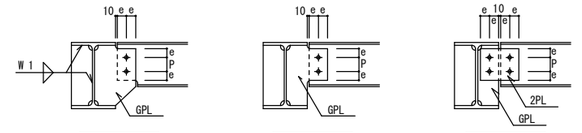


材種	主材	高力ボルト径	フランジ			ウェブ			ピッチ
			ボルト総本数	外側添板	内側添板	ボルト総本数	添板		
	H−A×B×t1×t2 BH−A×B×t1×t2			2PL−t21×a1×ℓ1	4PL−t22×a2×ℓ1		2PL−t11×a3×ℓ2		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		
	H− × × ×			× ×	× ×		× ×		

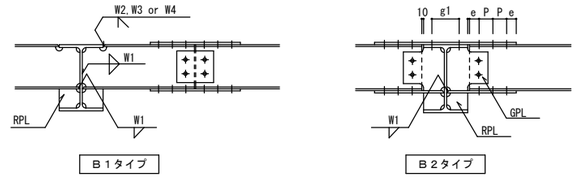
1．フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2．a3は原則として梁成の2/3以上確保すること。

5-2 小梁仕口

ピン接合 Ａタイプ



剛接合 Ｂタイプ



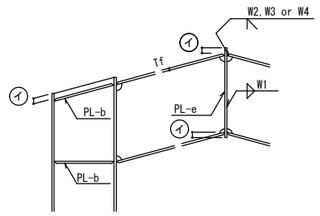
1．GPL,RPLは材種・版厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2．継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

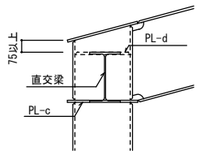
構造担当建築士 岸本 康宏 （一級建築士登録：第222920号） （構造設計一級建築士登録：第7173号）	CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606	SHEET No. C − 04
			図面名 鉄骨工作標準図（１）	SCALE −		

鉄 骨 工 作 標 準 図 （2）

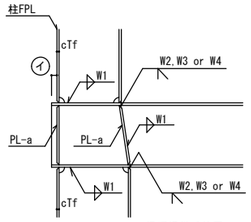
§6 柱梁接合部及び継手

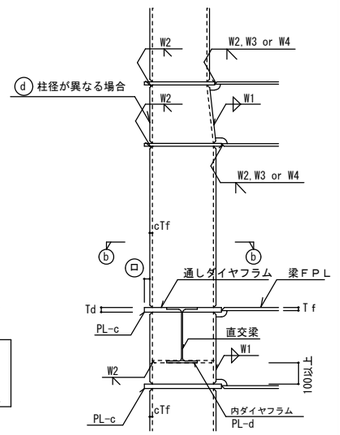
6-1 勾配屋根



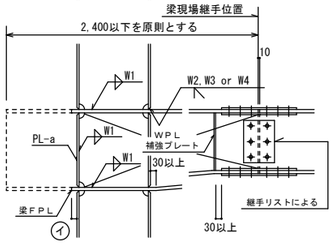


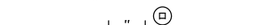
6-2 梁通し



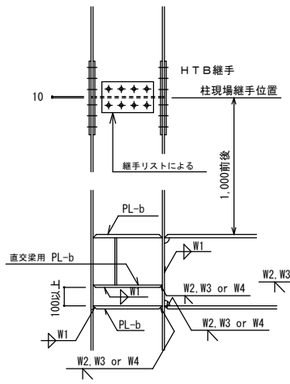


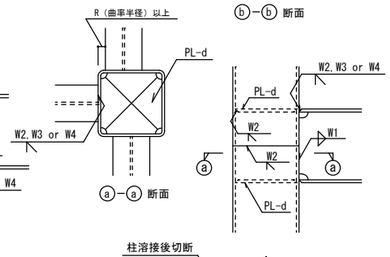
6-3 仕口と継手



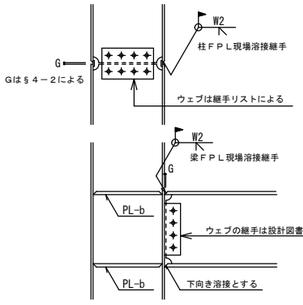


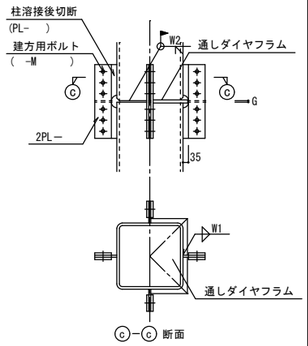
6-4 柱通し





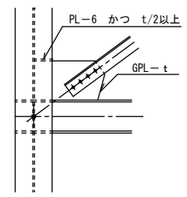
6-5 現場溶接継手





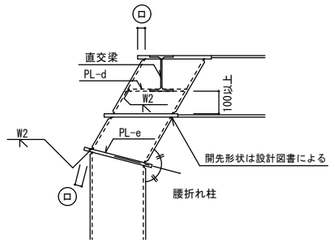
柱がＨ形鋼の場合　　柱が角形鋼管の場合

6-6 その他



Ｈ形鋼の弱軸にブレースが取りつく場合

柱がＨ形鋼の場合



柱が角形鋼管の場合

1）パネルゾーンのＰＬの厚さ

1．ＰＬ－ａ	（鉛直スチフナ）	上下柱のＦＰＬの厚い方より１サイズＵＰ以上
2．ＰＬ－ｂ	（水平スチフナ）	仕口部に集結する梁の最大ＦＰＬより１サイズＵＰ以上
3．ＰＬ－ｃ	（通しダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大ＦＰＬより２サイズＵＰかつ柱のＦＰＬ以上
4．ＰＬ－ｄ	（内ダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大ＦＰＬより２サイズＵＰ以上
5．ＰＬ－ｅ	（折れ曲がり部）	梁（柱）のＦＰＬより１サイズＵＰ以上

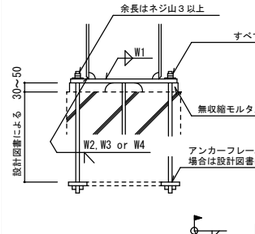
2）出寸法
- ㋑ 25mmかつcTf以上
- ㋺ cTf≦25の場合 25
  cTf≧28の場合 30

3）注記
1．ダイアフラムの材質は特記仕様書による。明記なき場合は、接続する柱及び梁の１ランク上質とする。
また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の１ランク上質とする。
2．ⓓ(6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
3．ハンチ部でＦＰＬを折り曲げる場合はＲ≧10Tfとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合（1/6程度）は不要。
4．ダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイヤフラムの厚みの内部で溶接すること。（告示1464）
5．現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

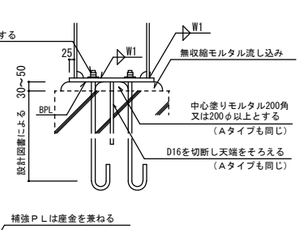
7-1 一般柱脚

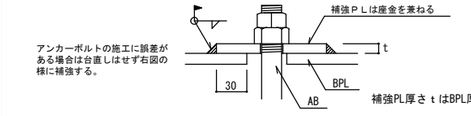
§7 柱 脚

Ａタイプ （主柱）

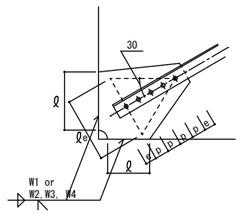


Ｂタイプ （間柱等二次部材）





§8 壁面ブレース



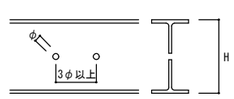
符号	部 材	高力ボルト 径	高力ボルト 本数	ＧＰＬ t	ＧＰＬ Qe	溶 接 脚長	溶 接 ΣＬ

1．ＧＰＬの最小幅 Qeが確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2．丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共ＪＩＳ規格品を使用する。
3．床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

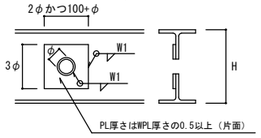
9-1 貫通補強

§9 その他

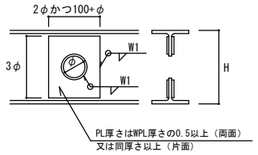
Ａタイプ （φ≦0.1Ｈ）



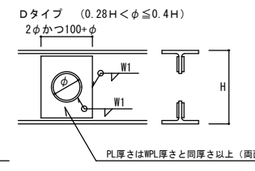
Ｂタイプ （0.1Ｈ＜φ≦0.2Ｈ）

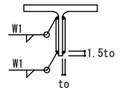


Ｃタイプ （0.2Ｈ＜φ≦0.28Ｈ）

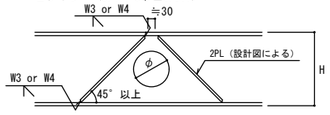


Ｄタイプ （0.28Ｈ＜φ≦0.4Ｈ）



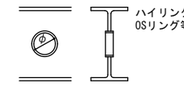


Ｅタイプ （0.4Ｈ＜φ≦0.5Ｈ）



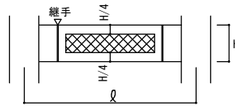
Ｆタイプ

既製品（評定品）を用いた場合

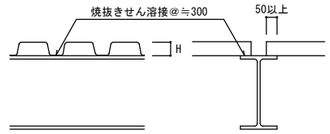


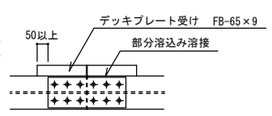
ハイリング、フリードーナツ
OSリング等 使用可

1．特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は0.5Ｈ以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。
（これを満足できない場合は設計者の指示による）
2．貫通孔を設ける範囲は右図の ▨ 部分を原則とする。
3．貫通孔が多くある場合はWPLを薄くした（WPL＋補強PL）BHとする。
4．上記Ａ～Ｅタイプ以外の貫通を行う場合は、Ｆタイプ（評定品）とし、尚且つ業者の責任施工とする。
5．鉄骨梁貫通については、原則Ｆタイプとする。（その他の仕様については、設計者の指示による。）



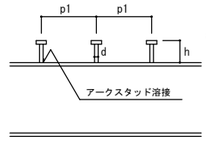
9-2 デッキプレート

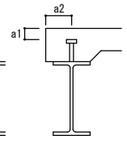


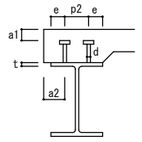


◦ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

9-3 スタッドジベル





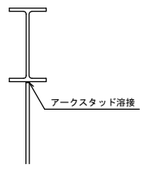


h≧4.0d
7.5d≦p1≦300
p2≧5.0d
a1≧40
a2≧100
e≧40
d≦2.5t

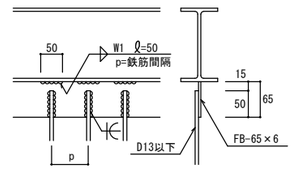
h，P1，P2は設計図書による。

9-4 壁筋の溶接

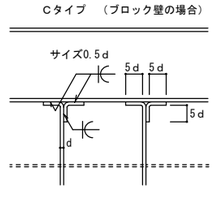
Ａタイプ （標準）



Ｂタイプ （軽微なＲＣ壁の場合）

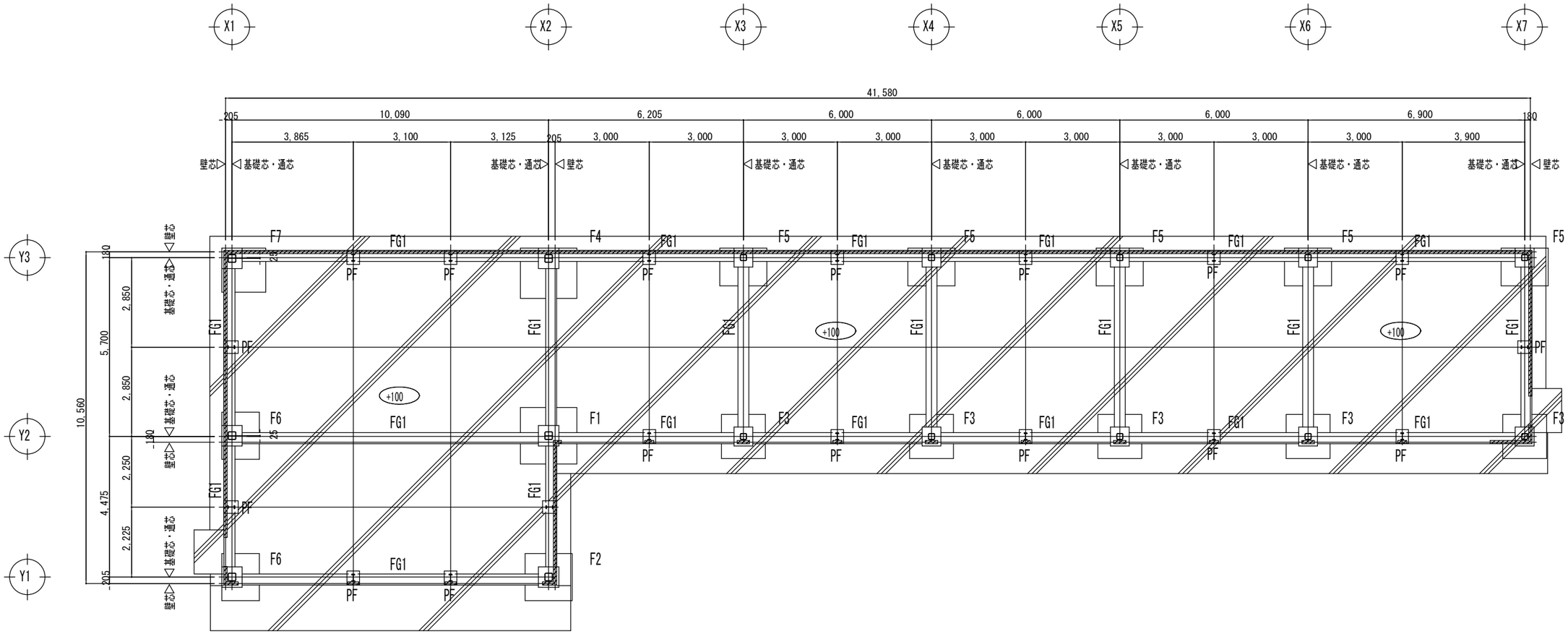


Ｃタイプ （ブロック壁の場合）



9-5 その他

・	構造担当建築士 岸本 康宏	CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6 / PROJECT No. 140606 / SHEET No. C－05
・	（一級建築士登録：第222920号）			図面名 鉄骨工作標準図（２）	SCALE A2 1:100 A3 1:150
・	（構造設計一級建築士登録：第7173号）				



基　礎　伏　図　　1：100

※特記なき限り下記による。

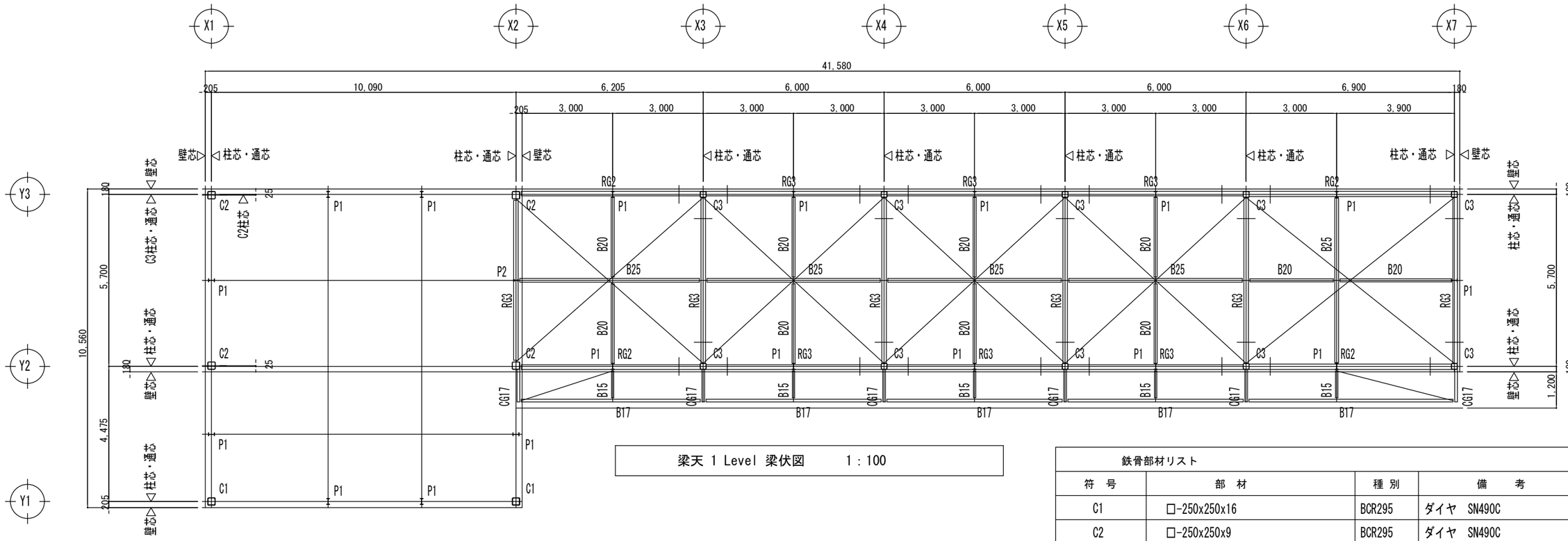
コンクリート立上り

(+100) SGLからの土間コンクリートの天端高さを示す。

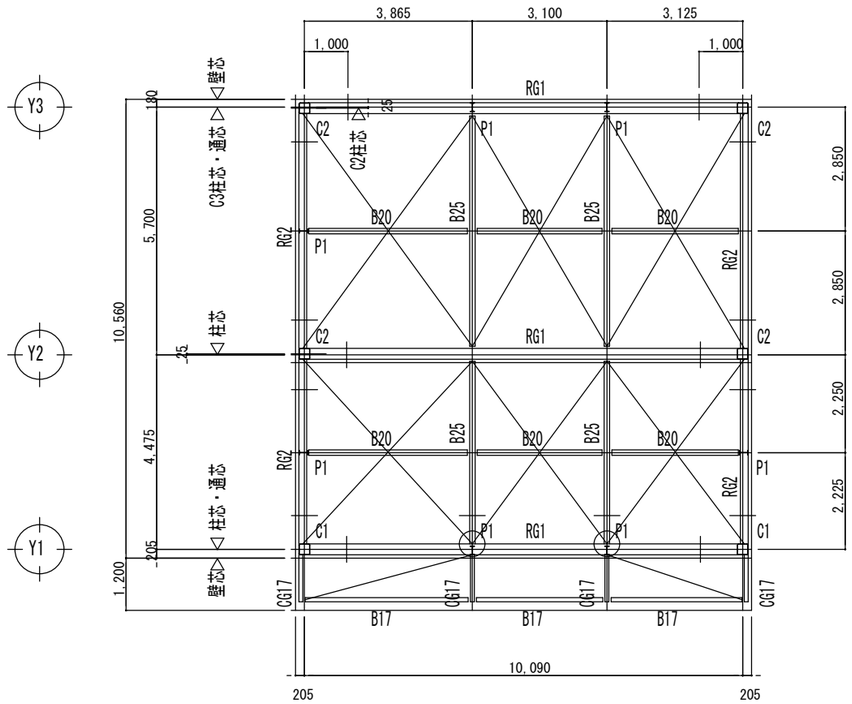
地中梁天端高さは、SGL-300とする。

土間コンクリートの範囲を示す。

	構造担当建築士　岸本　康宏 （一級建築士登録：第222920号） （構造設計一級建築士登録：第7173号）		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606	SHEET No. C－06
					図面名 基 礎 伏 図	SCALE A2 1:100 A3 1:150		



梁天 1 Level 梁伏図　　1：100



梁天 2 Level 梁伏図　　1：100

※特記なき限り下記による。
特記なき大梁継手位置は、柱芯より 800 とする。
ブレース 1-M16 TBを示す。
剛接合を示す。

鉄骨部材リスト

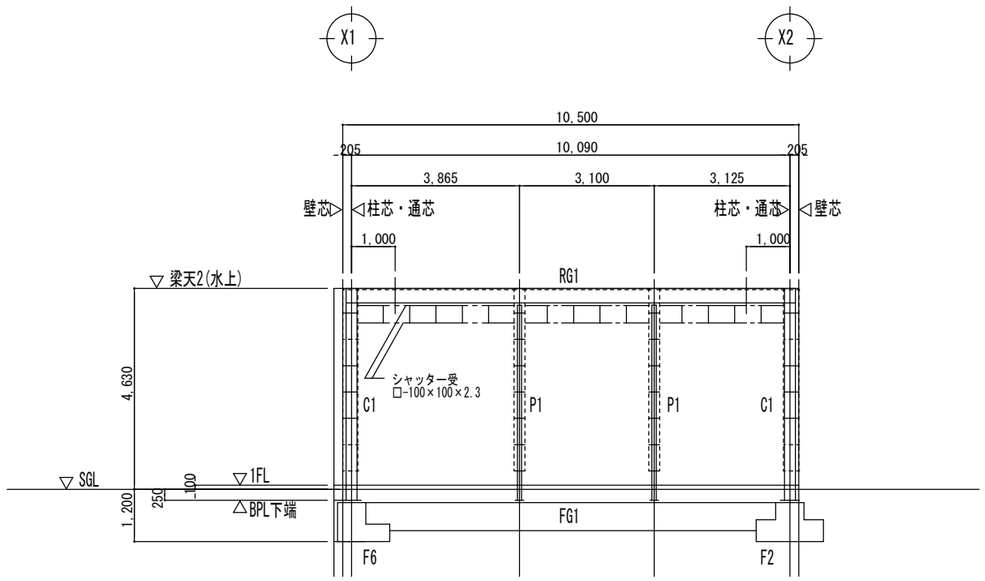
符　号	部　材	種 別	備　　考
C1	□-250x250x16	BCR295	ダイヤ　SN490C
C2	□-250x250x9	BCR295	ダイヤ　SN490C
C3	□-200x200x9	BCR295	ダイヤ　SN490C
P1	H-200x100x5.5x8	SS400	GPL-6　HTB　2-M20
P2	H-150x75x5x7	SS400	GPL-6　HTB　2-M16
RG1	H-340x250x9x14	SS400	継手リスト参照
RG2	H-350x175x7x11	SS400	継手リスト参照
RG3	H-300x150x6.5x9	SS400	継手リスト参照
CG17	H-175×90×5×8	SS400	GPL-6　HTB　2-M16
B25	H-250x125x6x9	SS400	GPL-9　HTB　2-M20
B20	H-200x100x5.5x8	SS400	GPL-6　HTB　2-M20
B17	H-175x90x5x8	SS400	GPL-6　HTB　2-M16
B15	H-150x75x5x7	SS400	GPL-6　HTB　2-M16
ブレース	1-φ16　TB締め　HTB　1-M16	SNR400B	GPL-6　HTB　1-M16
胴　縁 (X1-2,X6-7間)	C-100x50x20x3.2	SSC400	@606　2-M16　中ボルト
胴　縁 (その他)	C-100x50x20x2.3	SSC400	@606　2-M16　中ボルト

構造担当建築士　　岸本　康宏
（一級建築士登録：第222920号）
（構造設計一級建築士登録：第7173号）

CHECK　　DRAWING

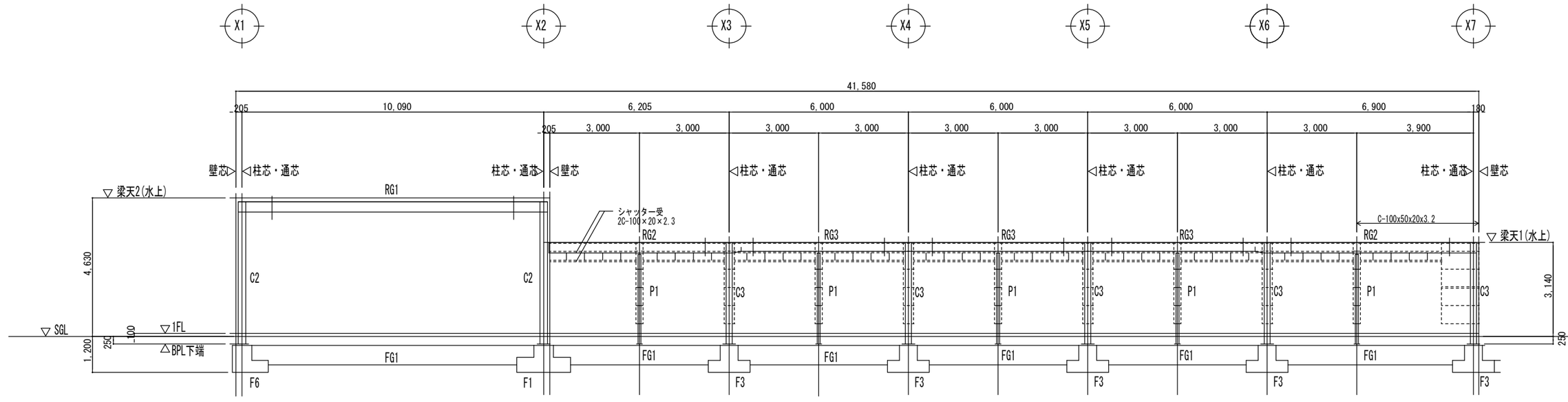
工事名　加東市庁舎南駐車場等整備工事
DATE　H 26・6
PROJECT No.　140606
SHEET No.　C - 07

図面名　小 屋 梁 伏 図・部材リスト
SCALE　A2 1:100　A3 1:150



Y1 通

※特記なき限り下記による。
特記なき大梁継手位置は、柱芯より 800 とする。



Y2 通

軸組図(1) 1：100

構造担当建築士 岸本 康宏
(一級建築士登録：第222920号)
(構造設計一級建築士登録：第7173号)

CHECK | DRAWING

工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事

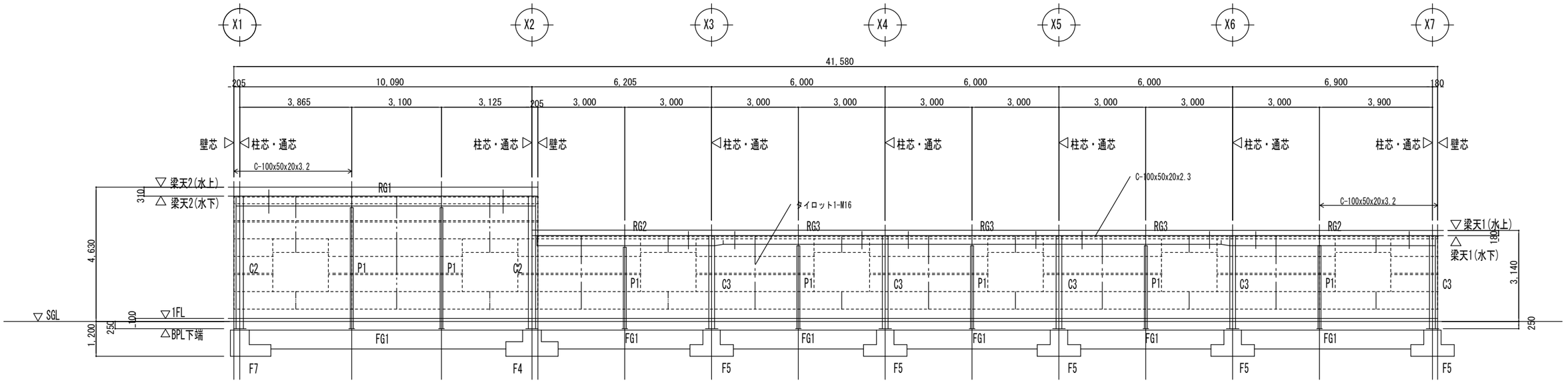
図面名 軸 組 図 (1)

DATE H 26・6

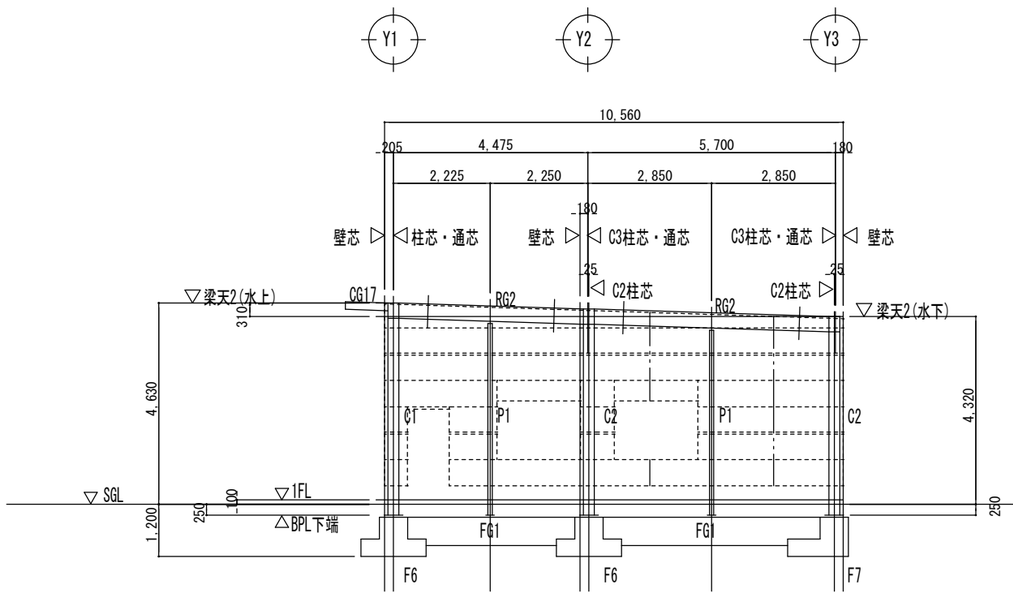
PROJECT No. 140606

SHEET No. C - 08

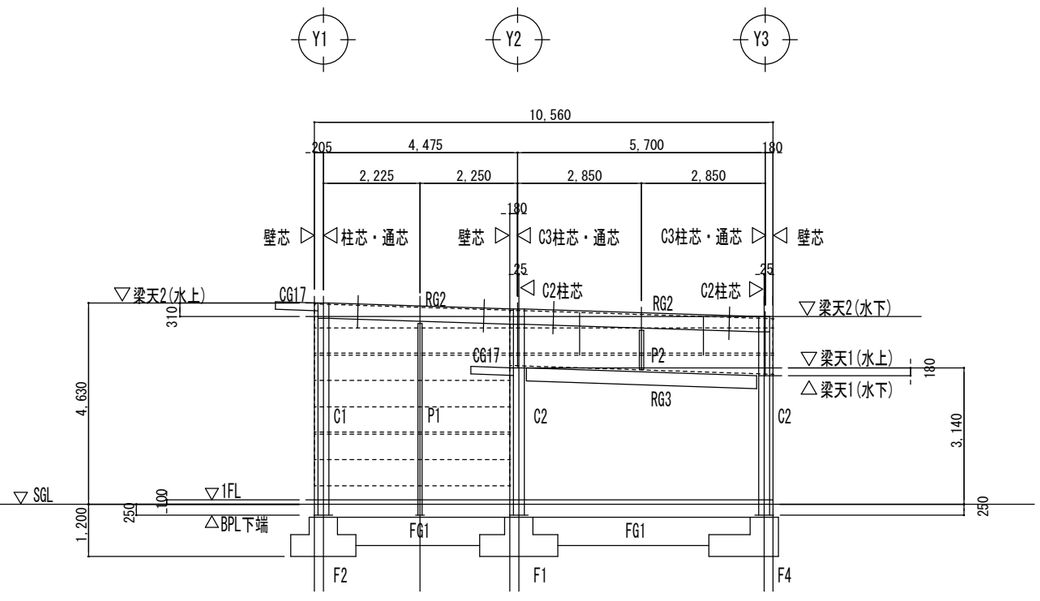
SCALE A2 1:100 A3 1:150



Y3 通



X1 通

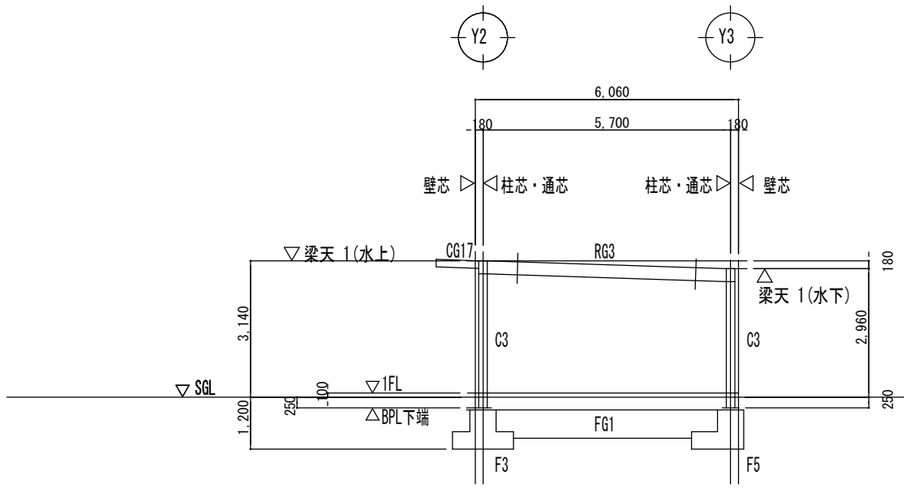


X2 通

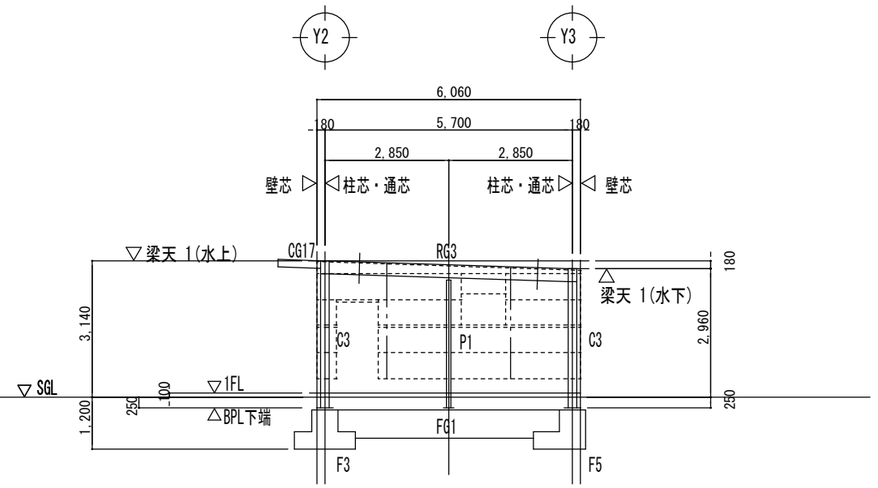
※特記なき限り下記による。
特記なき大梁継手位置は、柱芯より 800 とする。

軸組図(2)　　1：100

	構造担当建築士　岸本　康宏 (一級建築士登録：第222920号) (構造設計一級建築士登録：第7173号)	CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606	SHEET No. C－09
				図面名 軸 組 図 (2)	SCALE A2 1:100 A3 1:150		



X3～X6 通

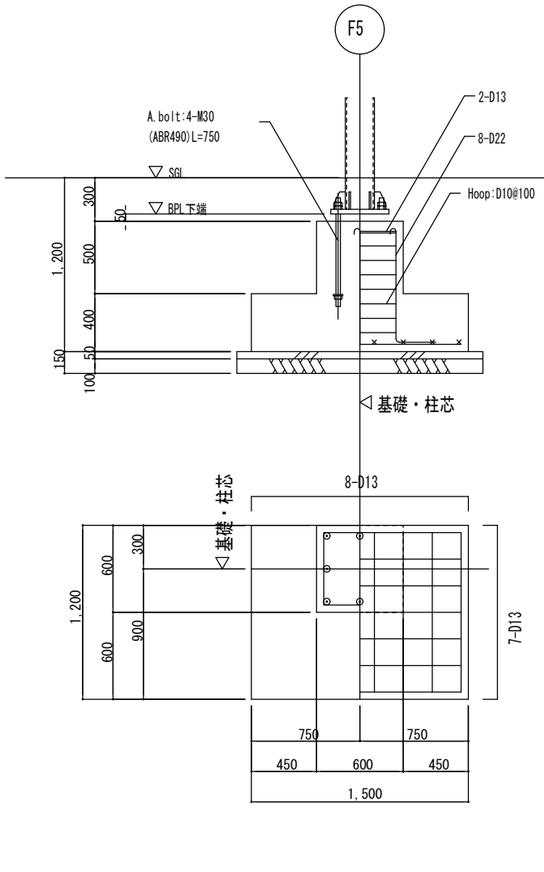


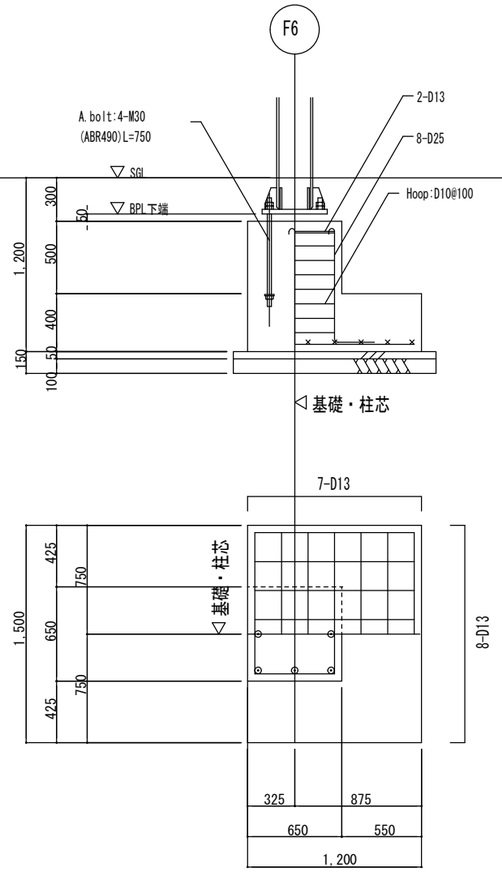
X7 通

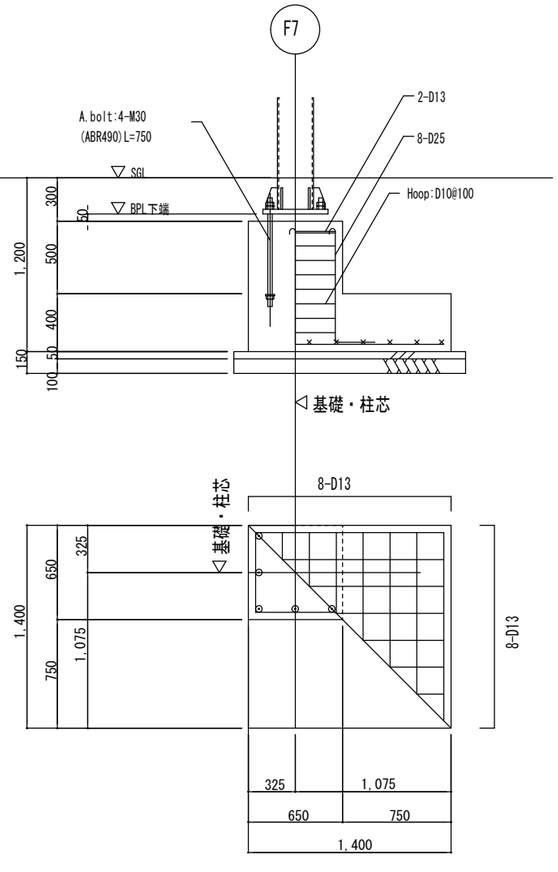
軸組図(3)　　1：100

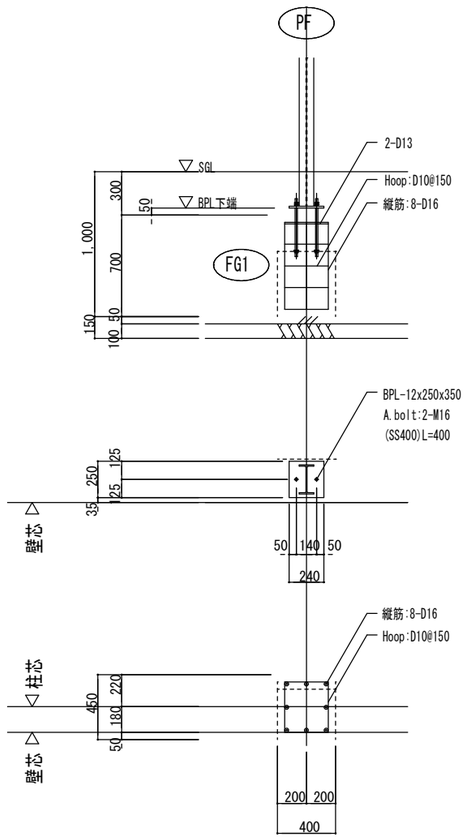
※特記なき限り下記による。
特記なき大梁継手位置は、柱芯より 800 とする。

・ ・ ・	構造担当建築士　岸本 康宏 (一級建築士登録：第222920号) (構造設計一級建築士登録：第7173号)		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606	SHEET No. C－10
					図面名 軸 組 図 (3)	SCALE A2 1:100 A3 1:150		



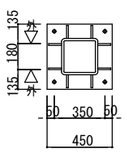
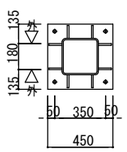
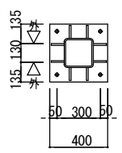




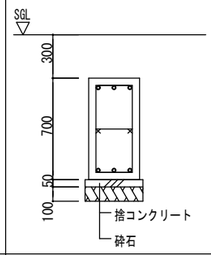


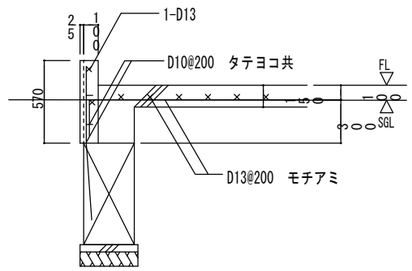
基礎詳細図 (2)　1:30

柱脚リスト　1:30

C1	□-250x250x16.0 (BCR295)	C2	□-250x250x9.0 (BCR295)	C3	□-200x200x9.0 (BCR295)
					
BPL-25x450x450 (SN490B)		BPL-22x450x450 (SN490B)		BPL-22x400x400 (SN490B)	
A.BOLT 4-M30 L=750 (ABR490)		A.BOLT 4-M30 L=750 (ABR490)		A.BOLT 4-M30 L=750 (ABR490)	
ダブルナット締め		ダブルナット締め		ダブルナット締め	
RPL-12 H=150		RPL-12 H=150		RPL-12 H=120	

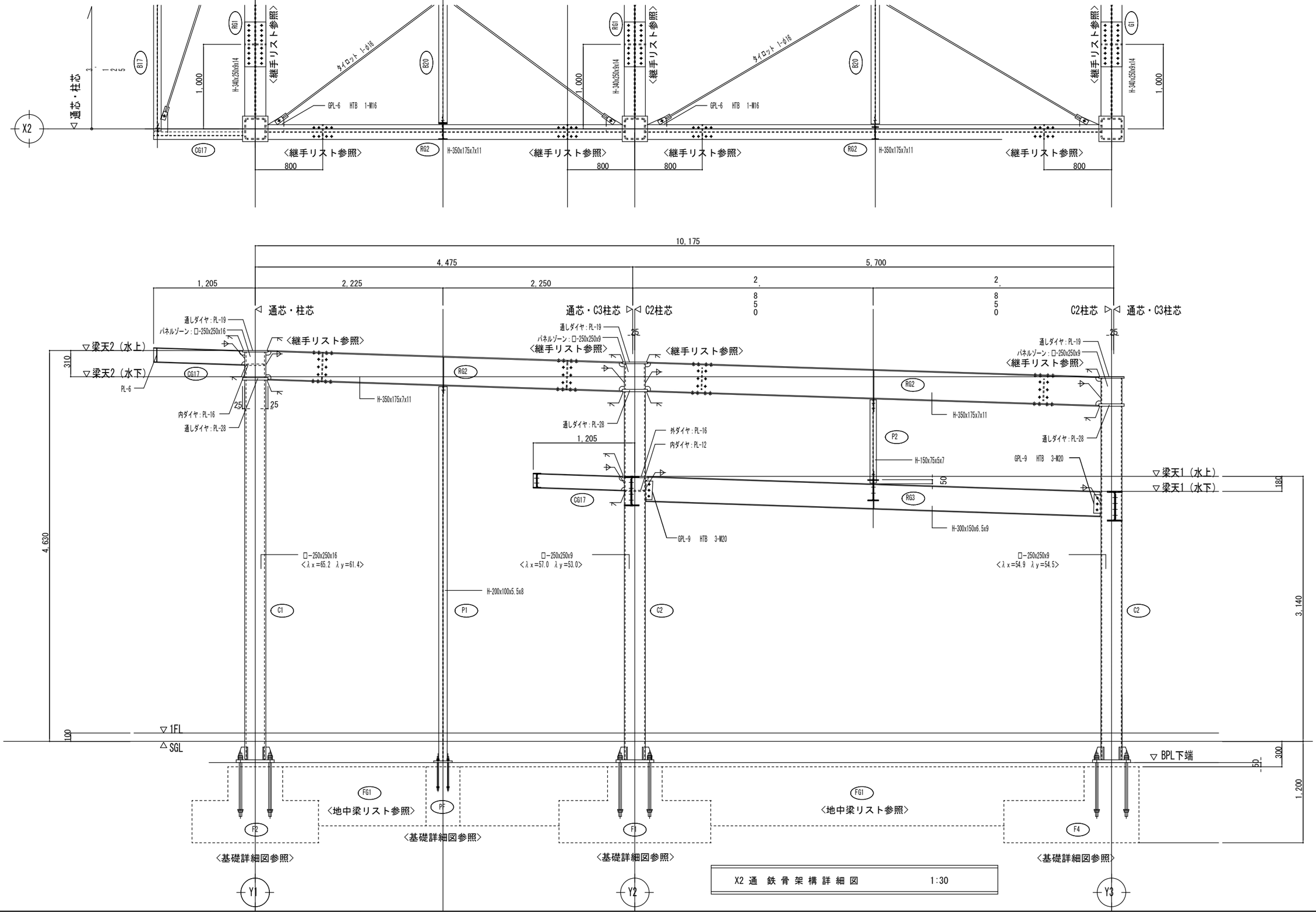
地中梁リスト　1:30

符号	FG1
位置	全断面
断面	
B x D	350x700
上端筋	3-D22
下端筋	3-D22
STP	D10@150
腹筋	2-D10
備考	巾止筋 :D10@1,000



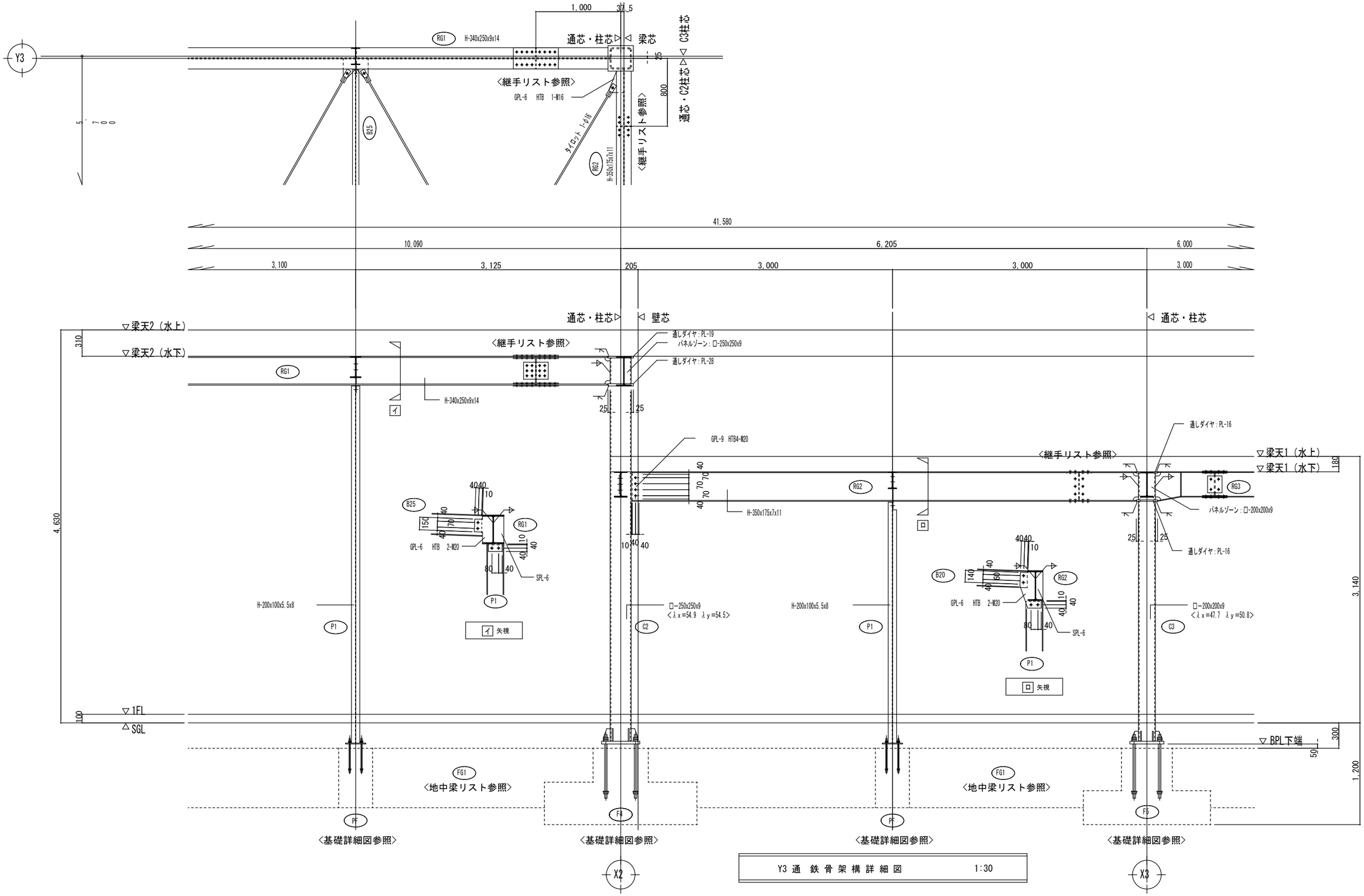
腰壁立上り・土間コン詳細図　1:30

.	構造担当建築士　岸本 康宏		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6 / PROJECT No. 140606 / SHEET No. C－12
.	(一級建築士登録：第222920号)				図面名 基礎詳細図 (2) ・柱脚リスト	SCALE A2 1:30 A3 1:45
.	(構造設計一級建築士登録：第7173号)					



X2 通 鉄 骨 架 構 詳 細 図　　1:30

構造担当建築士　岸本 康宏 （一級建築士登録：第222920号） （構造設計一級建築士登録：第7173号）	CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
					H 26・6	140606	C - 13
			図面名	鉄骨架構詳細図（1）	SCALE A2 1:30 A3 1:45		

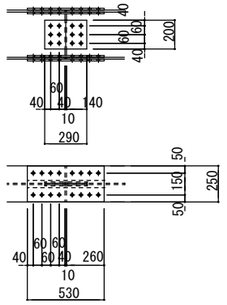


Y3通 鉄骨架構詳細図 1:30

構造担当建築士 岸本 康宏 （一級建築士登録：第222920号） （構造設計一級建築士登録：第7173号）	CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
			図面名	鉄骨架構詳細図（2）	H 26・6 SCALE A2 1:30 A3 1:45	140606	C－14

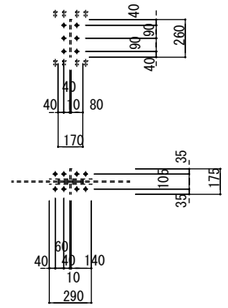
継 手・仕 口 リ ス ト　　1:30

H-340x250 x　9x14



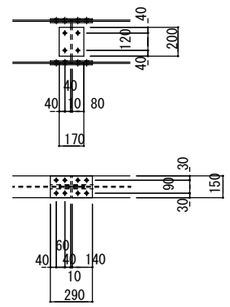
	2PL- 12×250×530	32-M20 : L=70
	4PL- 12×100×530	
	2PL- 9×200×290	12-M20 : L=55

H-350x175x7x11



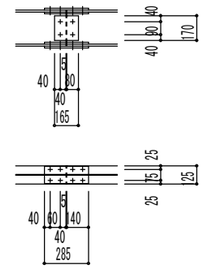
F	2PL- 9×175×290	16-M20 : L=60
	4PL- 9× 70×290	
W	2PL- 6×260×170	6-M20 : L=50

H-300x150x6.5x9



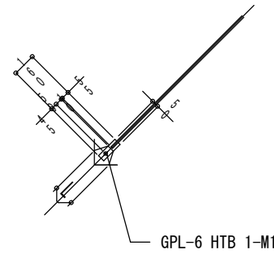
F	2PL- 9×150×290	16-M20 : L=55
	4PL- 9× 60×290	
W	2PL- 6×200×170	4-M20 : L=50

H-250x125x6x9



F	2PL- 9×125×285	16-M16 : L=55
	4PL- 9× 45×285	
W	2PL- 6×170×165	4-M16 : L=50

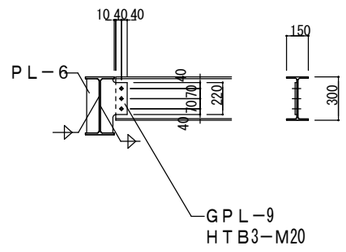
ブレース取付詳細図



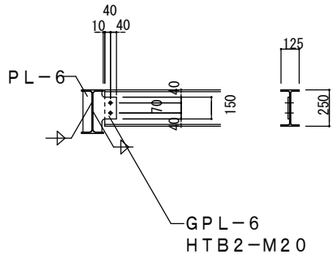
L（有効）は200mm以上確保するものとする。

継 手・仕 口 リ ス ト　　1:30

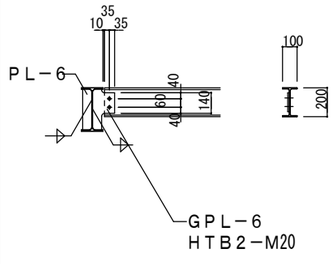
H-300x150x6.5x9



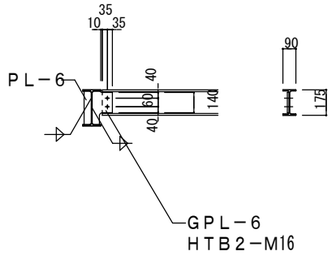
H-250x125x6x9



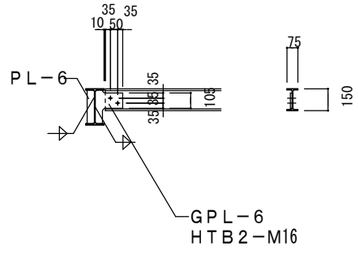
H-200x100x5.5x8



H-175x90x5x8



H-150x75x5x7



構造担当建築士　岸本　康宏
（一級建築士登録：第222920号）
（構造設計一級建築士登録：第7173号）

CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・6	PROJECT No. 140606	SHEET No. C－15
		図面名 継手・仕口リスト	SCALE A2 1:30 A3 1:45		

電気設備工事　仕様書

1.工事概要	
工事名称	加東市庁舎南駐車場等整備工事
工事場所	加東市
2.特記事項	
共通仕様書	本工事は本特記仕様書並びに設計図に基づき、
	公共建築（改修）工事標準仕様書及び公共建築設備工事標準図（各電気設備工事編・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版）
	建築基準法、消防法・内線規定等の関係諸規定に準拠し完全に施工のこと。
諸　手　続	本工事に必要な諸官庁及び電力会社への申請は全て請負者が行い、費用も全て請負者負担とする。
軽微な変更	設計図、仕様書の中で納まり、又は取り合い関係が生じた軽微な変更、並びに本設計図に明記なき事項でも機能上、
	当然必要な事項は係員の指示に従い施工すること。尚、この場合原則として工事費の増額は行わない。
工　程　表	請負者は工事着手前に施工図及び工程表を作成し係員の承諾を受けた後、施工すること。
	尚、照明灯具盤類は製作図を作成し、係員の承諾後、発注製作すること。
現場責任者	工事請負者は工事着手と共に現場担当技術者を定め、その資格、業務内容等を明示した書類を提出し、係員の承認を受けること。
設計図書優先順位	設計図書中の相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。但し、現場説明事項及び質疑回答書は最優先とする。
	1）特記仕様書　2）設計図書　3）共通仕様書
立ち会い検査	各工事は、予め係員の支持した工程に達した時、立ち会い検査を受けること。
	施工後の検査が不可能又は困難な工事は、その施工に際し立ち会い検査を受けること。
提出書類	施工時において、下記の書類、図面等２部を指定の様式に従い１ヶ月以内に提出すること。
	1）工事記録写真　2）竣工写真　3）機器取扱説明書及び保証書　4）各種試験成績書　5）機器完成図書
	6）竣工図　7）予備品目録　8）ＣＡＤデーター（ＤＸＦ）
動力・水・その他	1）仮設工事用電力及び水並びに諸手続等の費用は全て請負者の負担とする。
	2）本設備の電力、水等は使用開始日以降市負担、工事期間中は請負者の負担とする。
消防検査	1）消防検査及びその手続きを行うこと。
	2）上記の費用は請負者の負担とする。

工事種目	名　称		屋外	屋内
1	受変電	設　備　工　事	⊙	・
2	幹線	設　備　工　事	⊙	・
3	動力	設　備　工　事	・	・
4	電灯コンセント	設　備　工　事	⊙	⊙
5	電言話	設　備　工　事	・	・
6	ＬＡＮ	設　備　工　事	・	・
7	テレビ共聴	設　備　工　事	・	・
8	インターホン	設　備　工　事	・	・
9	電気錠	設　備　工　事	・	・
10	トイレ呼出	設　備　工　事	・	・
11	機械警備	設　備　工　事	・	・
12	放送	設　備　工　事	・	・
13	自動火災報知	設　備　工　事	・	・
14	防排煙制御	設　備　工　事	・	・
15	既設体育館送り	設　備　工　事	・	・
16	ＡＶ警備	設　備　工　事	・	・

一般事項	特記仕様書の内容が設計図と相違する場合は、特記仕様書。						
	1）特記なき電線は６００Ｖ、ＥＭ-ＩＥ電線とし、色別表示を行うこと。尚、ケーブル類はテープ巻にて色別表示のこと。						
	2）配線器具は原則として大角連用形としてプレートは（　・　新金属　・　フルカラー　・　コスモワイド　）とする。						
	3）スイッチが４ケ以上になる場合は、ネームスイッチとする。						
	4）蛍光灯の４０Ｗ以上は、ＲＨ（　・　一般型　・　省電力型　）とする。４０Ｗ未満はＧＨとする。						
	5）ＨＩＤ器具用安定器は、（　・　一般高力率　・　低始動電流型高力率　）とする。						
	6）非常照明器具は、（　・　電池内蔵式　・　電源別置式　）とする。						
	7）空配管には、呼線１，２mmビニール被覆鉄線挿入のこと。						
	8）特記なき電線管は（　・　ＣＰ　・　ＥＰ　・　ＰＦ－Ｓ　・　ＰＦ－Ｄ　・　ＣＤ　）とする。						
	9）地中埋設配管は、						
	・　ＰＥライニング鋼管　・　ＨＩＶＥ　・　ＦＥ(Ｐ)[難燃性タイプ]　・　ＰＦ－Ｄ[車両等の圧力を受けない場所]とする。						
	10）埋設深さは特記なき限り（　・　ＧＬ－３００　・　ＧＬ－６００　・　ＧＬ-1200　）以上とする。						
	11）露出配管は、（　・　無塗装　・　指定色調合ペイント２回塗　・　エッチングプライマー処理）とする。						
	12）接地極は特記なき限り下記による。（　・　接地埋設標取付）						
	第Ａ種　・　第Ｂ種　特別第Ｃ種（　・　銅板１，５ｔ×９００×９００　・　銅被覆鋼棒１４φ×１，５００×２連結）						
	第Ｄ種　（　・　銅板１，５ｔ×５００×２５０　・　銅被覆鋼棒(1)４φ×１，５００×２連結）						
	測定用　（　・　銅被覆鋼棒１０φ×１，０００）						
	13）アウトレットボックスは、（　・　ＶＥ製　・　鋼製　）する。						
	14）屋外プルボックス類は、（　・　ＶＥ製　・　鋼製　・　ＳＵＳ　）する。						
	15）埋設シートは、（　・　１倍　・　２倍　・　３．５倍　）折りする。						
	16）建物外部及び多湿部分の配管、機器等の支持金物、ビス、ボルト等はステンレスとする。						
	17）ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ,ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ及び電気用点検口については用途表示すること。(ｱｸﾘﾙﾏｰｶｰｶﾞﾋﾞｽ留めによる)						
	18）工事着工前に既設電気設備を詳細調査のうえ施工のこと。						
	19）図中の姿図(品番)は参考とし係員の承諾を得て施工着手のこと。						
	20）ｺﾝｾﾝﾄﾌﾟﾚｰﾄには回路番号表示を行う事。						
使用資材	電線・ケーブル	JIS規格品					
	電線管	JIS規格品					
	分電盤・端子盤	因幡	河村	大日	中立	内外	日東	パナソニック
	照明器具	岩崎	ＥＮＤＯ	大光	小泉	東芝	日立	パナソニック
	配線器具	神保	寺田	東芝	日亜	パナソニック		

凡　例	名　称・仕　様	備　　考
◢	電　灯　盤	
◥	電灯動力盤	
○	蛍　光　灯	（１灯用）
○	蛍　光　灯	（２灯用）
◎	LED　街　灯	（1灯・2灯用）
○	ブラケット	
●	埋込スイッチ片切	
⊔ ⊔2 ⊔3	埋込コンセント	１口、２口、３口
⊔ ⊔2	フロアーコンセント	１口、２口
⊔WP	防水コンセント	接地極・接地端子付
⊔	抜止コンセント	
⊔2E	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
	接　　地	
⊠	プルボックス	別途記載
————	天井いんぺい配線	
—— ——	床いんぺい配線	
LS40(45)	レースウェイ	40×45
－ － － －	露　出　配　線	
	立上り、立下り	

・
・
・

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	E － 01
		図面名	SCALE		
		特記仕様書	1：－		

設 計 概 要

一般事項

工事名称	加東市庁舎南駐車場等整備工事		建築主	加東市	
敷地	敷地位置	兵庫県加東市社50番地の一部	工事概要	工事種別	◎新築 ・増築 ・別棟増築 ・増改築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替え
	用途地域	・第1種低層住専 ・第2種低層住専 ・第1種中高層住専 ・第2種中高層住専 ・第1種住居 ・第2◎住居 ・準住居 ・近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ・指定なし		主要用途	自動車車庫
	防火地域	・防火 ・準防火 ・法22条の地域 ・指定◎し ・2つの地域にわたる場合 （防火 準防火 ） ㎡		駐車場等	-
	その他の指定	◎美観地区 ・風致地区（国定公園） ・駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区 ・宅地造成工事規制地区 ・砂防地区 ・総合的設計による1団地 ・特定街区 ・住居系指向地区		工作物等	
				工期予定	平成26年10月1日～平成27年3月末日
道路	道路巾員	敷地 東側：6.8m 北側：6.45m 西側：4.3m	規制	高度地区	
				高度利用地区	
面積	敷地面積	2,663.23 ㎡		斜線規制	◎道路斜線 ・◎地境界斜線 ・北側斜線
				総合設計	
				建蔽率	60 %
		申請部分 / 申請以外の部分 / 合計		容積率	200 %
	算入面積 イ．建物全体	299.22			
	算入面積 ロ．地階の居住部分				
	算入面積 ハ．自動車車庫等の部分	299.22			
	算入面積 ニ．住宅の部分				

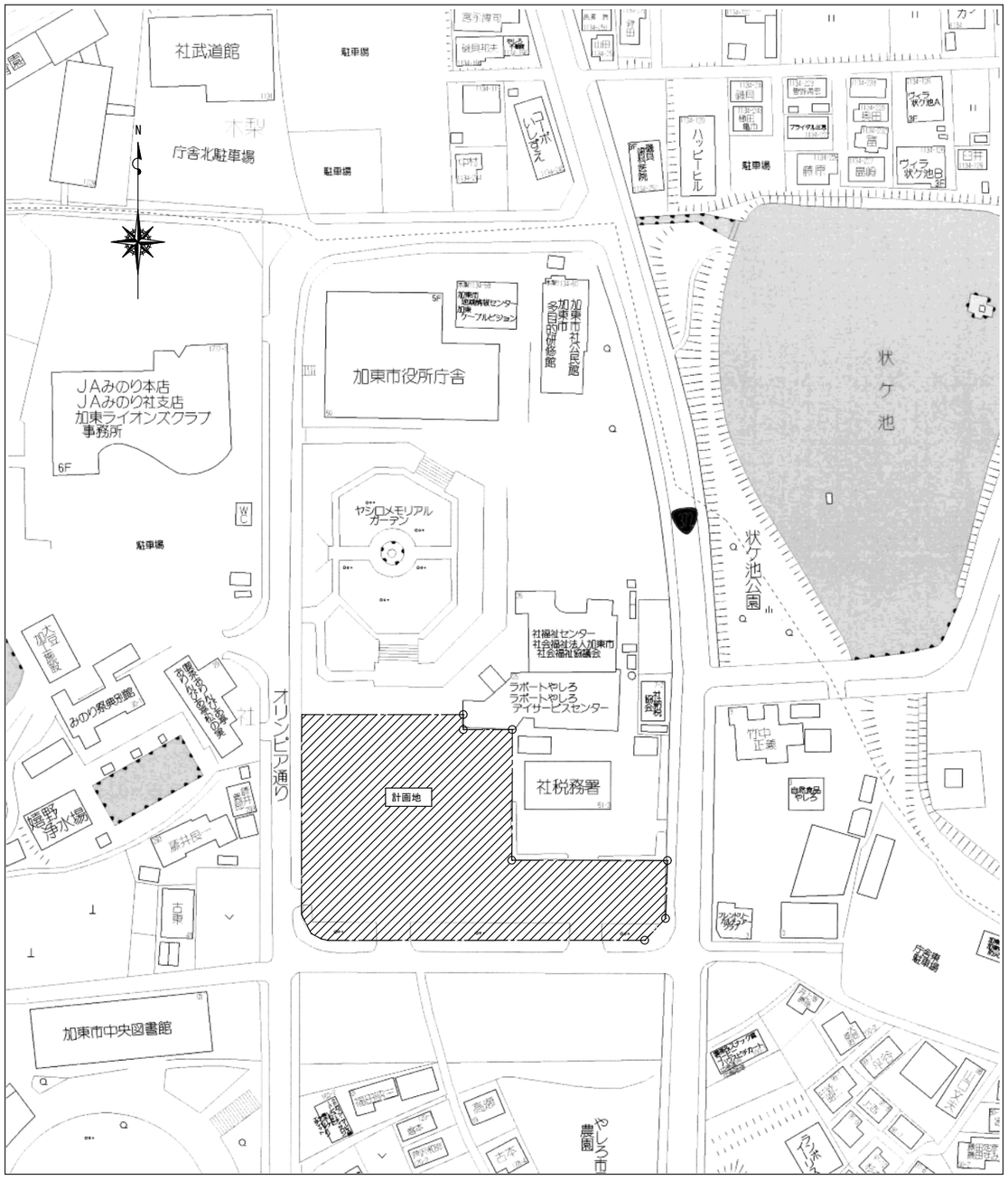
2. 建築物概要（棟別）

棟　名	
建物用途	自動車車庫
防火対象物	防火対象物（６）項ロ
工事種別	新築
構造・規模	Ｓ造　平屋建
基礎・杭	直接基礎
屋　根	ハゼ式折板カラーガルバリウム鋼板葺き　厚0.8（山高90）ベフ貼
外　壁	角波ガルバリウムカラー鋼板張　厚0.5+ＰＢ厚12.5
軒　裏	屋根表表し
建築面積	307.54 ㎡
延べ面積	239.38 ㎡（自動車車庫等の部分 59.84 ㎡ 除く）

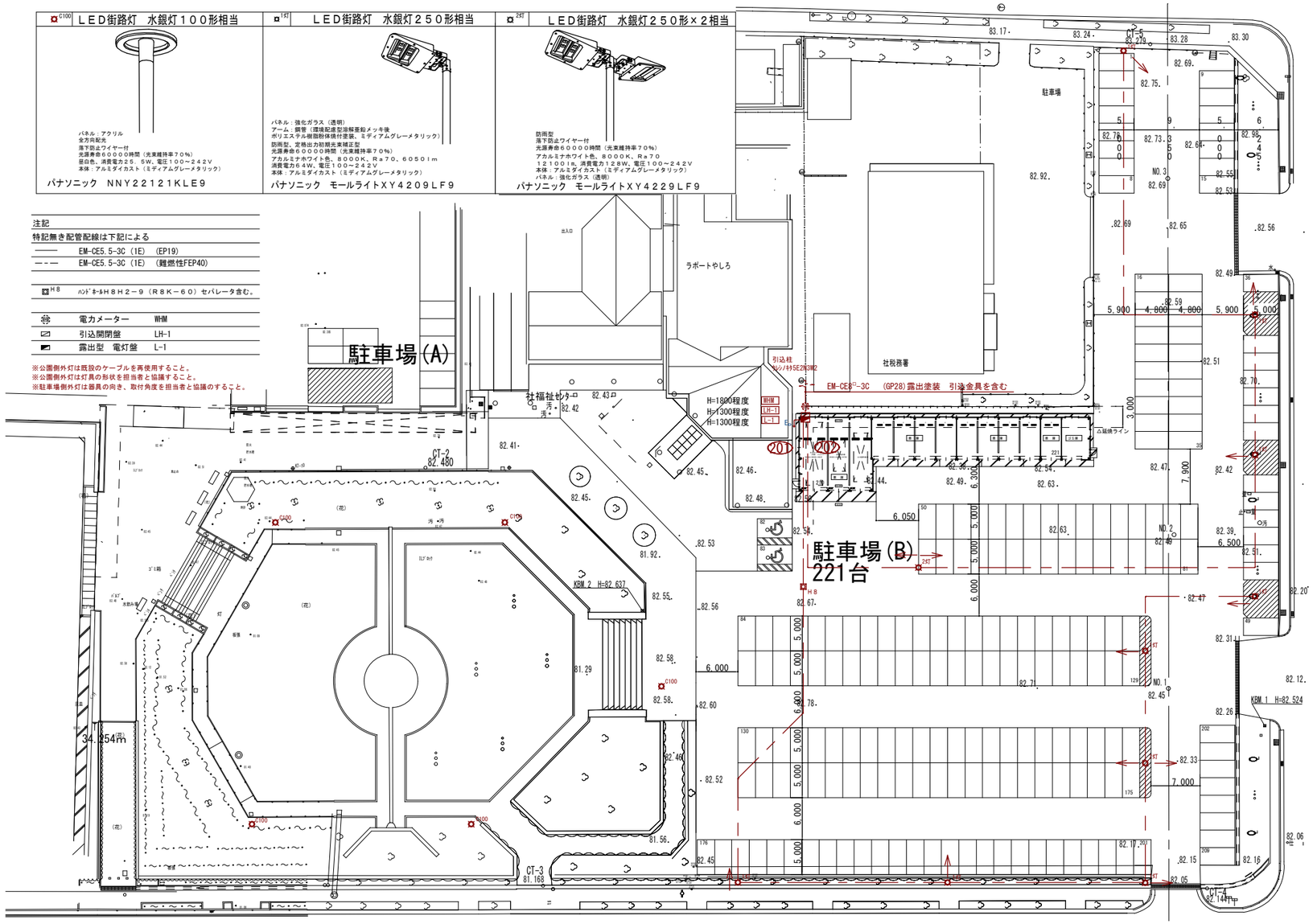
各階床面積

階	床面積 ㎡	階高 m	階別用途	床面積 ㎡	階高 m	階別用途	床面積 ㎡	階高 m	階別用途
1 階	299.22	4.93 m	自動車車庫						
合　計（ ）㎡	299.22								

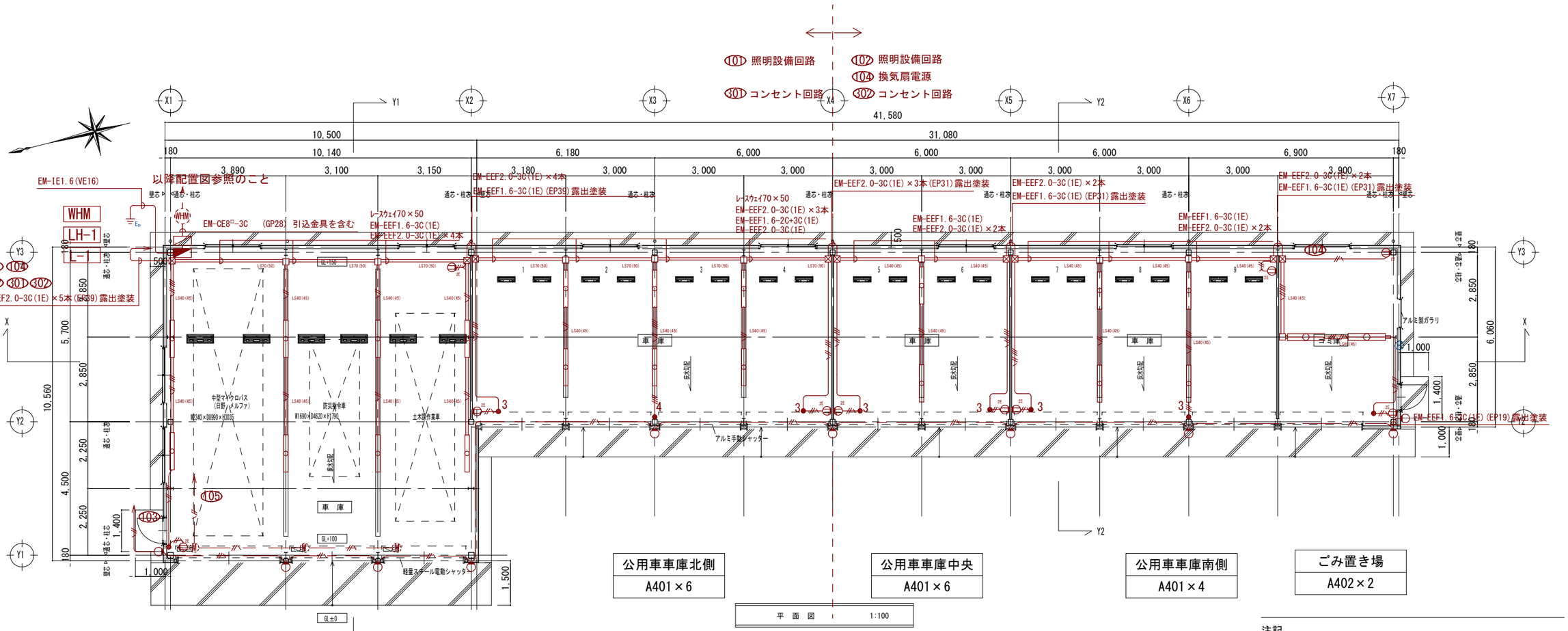
高さ				
イ．設計ＧＬの指定	82.65		
ロ．標準地盤面の設計	—		
ハ．建築物の高さ（令2条の六）	—		
ニ．軒　高	4.32 m		
ホ．最高高さ	4.93 m		
ヘ．基礎深さ	—		



CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・08	PROJECT No. 140606
		図面名	設計概要	SCALE A2 - A3 -	SHEET No. A - 02



CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	E－04
		図面名	SCALE		
		外灯設備改修工事 配置図	A2-1:500		



公用車車庫北側
A401×6

公用車車庫中央
A401×6

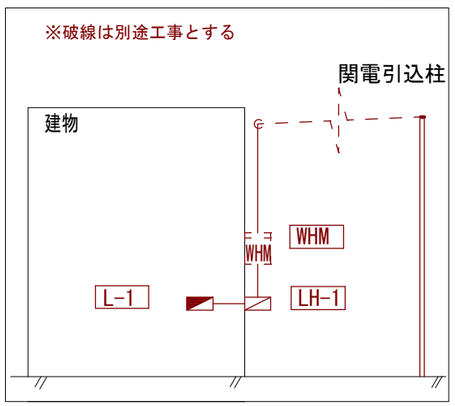
公用車車庫南側
A401×4

ごみ置き場
A402×2

平 面 図 1:100

マイクロバス等車庫
A401×9

車庫外周
B52×10



A402	LDL40W×2 笠付



省エネ出力型
ポルトフリー（100～242V）
防湿・防雨型
本体：亜鉛鋼板（クロムフリー・ホワイト）
反射笠：亜鉛鋼板（クロムフリー・ホワイト）
光源寿命40000時間
適合ランプ：直管LEDランプ、素材：ガラス

パナソニック NNFW42201KLE9相当品

A401	LDL40×1 笠なし



Ra84、ポルトフリー（100～242V）
初期照度補正型、防湿・防雨型
本体：ステンレス（クリア塗装）
反射板：ステンレス（クリア塗装）
光源寿命40000時間（光束維持率95%）
W=76 L=1245 H=116

パナソニック NNFW41071CLE9相当品

B52	LED5．2W ポーチライト



Ra74
防雨型、ツマミネジ方式、密閉型
カバー：アクリル（乳白）
アルミダイカスト（プラチナメタリック）
光源寿命40000時間（光束維持率70%）
W=215 H=215 出しろ110

パナソニック LGW85021Y相当品

注記

特記無き配管配線は下記による

―//#―	EM-EEF1.6-3C+EM-EEF2.0-3C(1E)	(EP25)露出塗装
―//―	EM-EEF2.0-3C(1E)	(EP19)露出塗装
―//―	EM-EEF1.6-2C×2	(EP25)露出塗装
―//#―	EM-EEF1.6-2C+EM-EEF2.0-3C(1E)	(EP25)露出塗装
―//#― L540(45)	EM-EEF1.6-3C(1E)+EM-EEF2.0-3C(1E)	(レースウェイ40×45)
―//#― L540(45)	EM-EEF1.6-2C×2+3C(1E)	(レースウェイ40×45)
―//― L540(45)	EM-EEF1.6-3C×2(1E)	(レースウェイ40×45)
―//― L540(45)	EM-EEF1.6-3C(1E)	(レースウェイ40×45)
―//―	EM-EEF1.6-3C(1E)	(EP19)露出塗装
―//―	EM-EEF1.6-3C	(EP19)露出塗装
□	レースウェイ用ジャンクションBOX	
⊠	P.BOX150×150×100	
⏚	接地極アースターミナル付コンセント	
⏚E	埋込みコンセント 2口 接地極付	

.
.
.

CHECK

DRAWING

工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事

図面名 車庫電灯・コンセント設備図

DATE H26・8

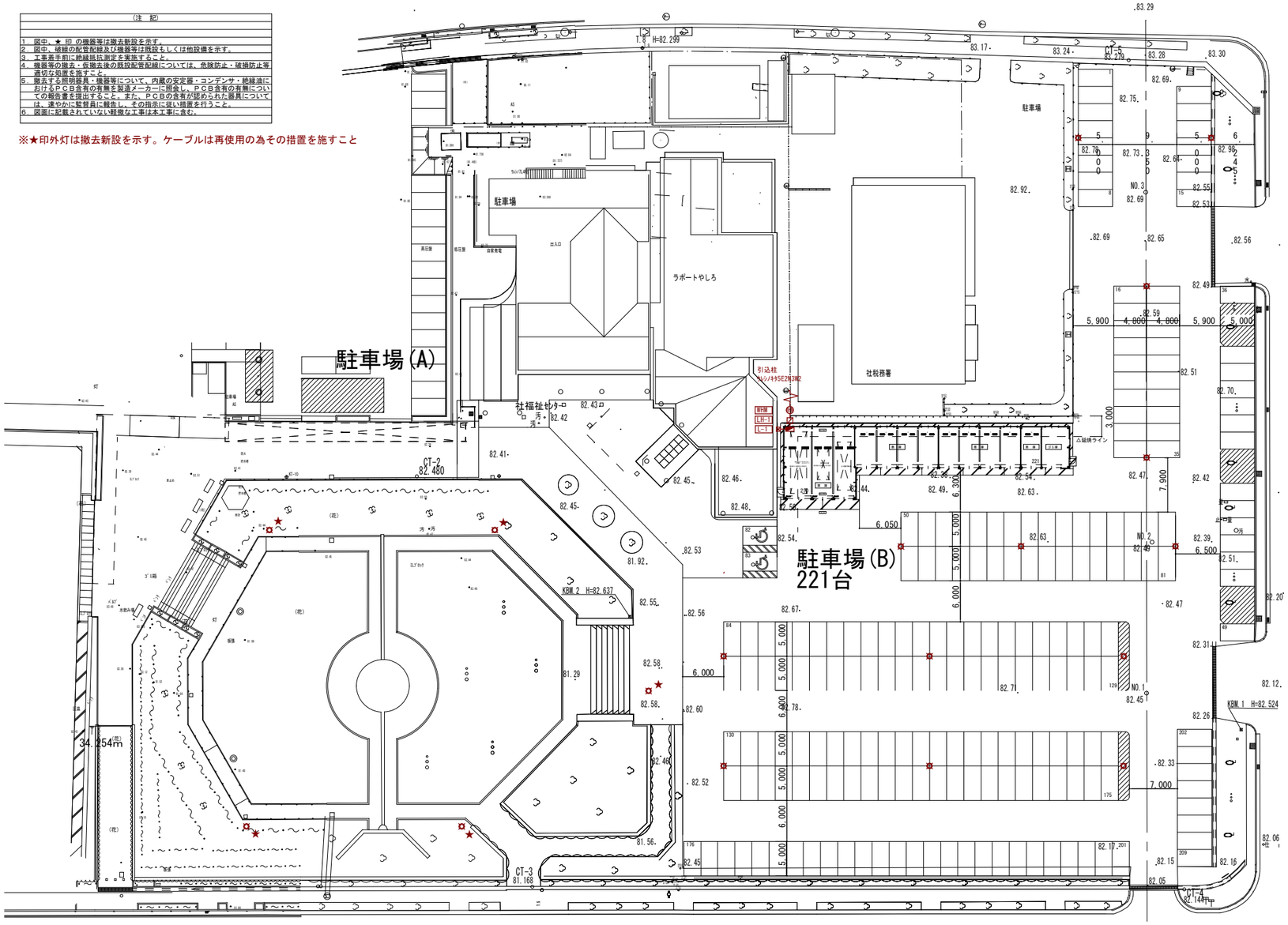
PROJECT No. 140606

SHEET No. E－05

SCALE A2 1:100 A3 1:140

（注　記）
1．図中、★ 印 の機器等は撤去新設を示す。
2．図中、破線の配管配線及び機器等は既設もしくは他設備を示す。
3．工事着手前に絶縁抵抗測定を実施すること。
4．機器等の撤去・仮撤去後の既設配管配線については、危険防止・破損防止等適切な処置を施すこと。
5．撤去する照明器具・機器等について、内蔵の安定器・コンデンサ・絶縁油におけるＰＣＢ含有の有無を製造メーカーに照会し、ＰＣＢ含有の有無についての報告書を提出すること。また、ＰＣＢの含有が認められた器具については、速やかに監督員に報告し、その指示に従い措置を行うこと。
6．図面に記載されていない軽微な工事は本工事に含む。

※★印外灯は撤去新設を示す。ケーブルは再使用の為その措置を施すこと



・		CHECK	DRAWING	工事名 加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE H 26・8 / PROJECT No. 140606 / SHEET No. E － 03
・				図面名 外灯設備撤去工事　配置図	SCALE A2-1:500
・					

特　記　仕　様　書

工事名称	加東市庁舎南駐車場等整備工事
工事場所	建築による
建築概要	構造　　造　　地下　階，地上　階，塔屋　階　　棟

	本工事建物	既設建物	合計	消防法令別表第一
敷地面積	2644.40 ㎡	㎡	2644.40 ㎡	13 項 イ
延床面積	299.22 ㎡	㎡	299.22 ㎡	

工事種目　● 印を付けたものを適用する。

- ● 給水設備工事　　○ 冷暖房設備工事
- ○ 井水設備工事　　● 換気設備工事
- ○ 中水道設備工事　　○ 排煙設備工事
- ○ 排水通気設備工事　　○ 床暖房設備工事
- ○ 衛生器具設備工事
- ○ 給湯設備工事　　○ 厨房機器設備工事
- ○ プロパンガス設備工事　　○ 特殊ガス設備工事
- ○ 消火設備工事
- ○ 浄化槽設備工事　　○ 消火栓設置工事
- ○ ゴミ処理設備工事

一　般　事　項

設計図書の適用

本工事は、下記設計図書に基き施工する。なお設計図書の構成及び表示事項に不一致がある場合の優先順位は次による。

（１）　質疑応答書　　（２）　設計書　　（３）　特記仕様書　　（４）　図面

（５）　● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事標準仕様書（最新年度版）及び機械設備工事標準図（最新年度版）

○ 日本建築家協会監修の機械設備工事共通仕様書（最新年度版）

（６）　建築設備耐震設計・施工指針（最新年度版）

施工基準

尚、本設計図に記載なき事項に於いても各諸法規並び現場の状況により当然必要と認められるものは、係員の指示により請負業者の負担に於いて施工すること。本図面に於いて質疑のある場合は契約前に正しておくこと。又、施工にあたっては施工前に　施工図、機器メーカーリスト、機器承諾書等、係員の要求する必要書類を係員に提出の上承認を得ること。

工事写真等

工事写真及び竣工写真は係員の指示する個所を撮影し、整理して、速やかに提出すること。
部数は ２ 部とする。

完成図様式　建築特記仕様書による

竣工引渡書類　● 機器類取扱説明書　● 各種検査書及申請許可書　● 測定表　● 備品

官公署への手続き　申請関係手続は速やかに行い、その費用は、請負業者負担とする。

発生材の処理　監督員の指示による。廃棄物が発生する場合は、適切に処理する。

共　通　適　用　事　項

１）　配管等において防火区画等を貫通する個所はＢＣＪ認定工法による耐火措置を行う。
　　又、ダクト等においてはＦＤ・ＳＦＤ等を取付ける。
２）　外壁に取付のギャラリ・ベンドキャップ・換気扇カバー等は、全て指定色焼付け仕上げとする。
３）　延焼部分は、ＦＤ付とする。但し２階以上外部より点検不可能な場所はダクト挿入型ＦＤとする。
４）　外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバーには、ドレン抜きを設ける。
５）　消音内貼りチャンバー寸法は、外形寸法を示す。
６）　消音内貼りダクト及び消音エルボ寸法は、内形寸法を示す。
７）　屋外露出・浴室、厨房等の多湿箇所・床下ピット・スラブ下埋設配管用の機器アンカーボルト、ナット並びに支持金物は、ステンレス製とする。又アンカーボルトにはＶＰキャップ取付のこと。
８）　配管類が歩行障害となるときは、点検用デッキの設置を行う。
９）　機器類の吊金物で長さある場合は、鋼製金物とする。
１０）予備品として空調機用フィルター・厨房グリスフィルター５０％ をケースに収納のうえ納品のこと。
１１）電線及び電線管等の工事については、電気工事特記仕様書による。
１２）地中埋設管の埋戻しは、原則として掘削土の良質土を使用する。
１３）地中埋設管には、埋設標並びに埋設表示テープを施すこと。
１４）居室の天井・ＰＳ等に施工の配管類は遮音シート巻付とする。
１５）当敷地に対する既設引込給水、排水、ガス管等は 現地調査並びに関係官庁調査の上、
　　不要管の場合は、撤去等一切を本工事にて行う。
１６）改修工事の場合既設排水管のジェット洗浄を行う。又完了後報告書を提出のこと。
１７）塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管に使用する継手並びに弁類は、管端防食継手とする。

● 給水設備工事

給水方式　● 公共水道直結　　○ 直結給水ブースター方式
　　○ 受水槽＋加圧給水ポンプ　　○ 受水槽～高架水槽

負担金等　給水負担金　○ 本工事（　　）　○ 別途
　　分担金　● 本工事（　　）　○ 別途

水槽耐震仕様　受水槽　１．５Ｇ　　高架水槽　２．０Ｇ

その他
１）加圧給水ポンプユニット操作盤への一次側電源送り並びに警報盤は電気工事とし、二次側配線配管（電極工事共）は、本工事とする。
２）スラブコロガシ配管の支持バンドは、防振ゴム付きとする。
３）弁ボックスで植栽等荷重のかからない場所は、樹脂製ボックスも可能。

● 排水通気設備工事

排水方式　建物内部は、雑・汚水配管　● 分流　○ 合流
　　建物外部は、　○ 分流　● 合流

開発負担金　○ 本工事（　　）　○ 別途

その他
１）塩ビ製小口径樹は、ＶＰ・ＶＵ変換ソケット使用のこと。（合流管は段差付とする）
２）使用する継手は、大曲り管とする。
３）ＶＰ配管は、適時 伸縮継手を取付のこと。（立管は各階 １ヶ所・横引は必要ヶ所）
４）集合排水管方式の最下部は、継手メーカー専用ベント取付のこと。
５）満水試験継手は、適時取付けのこと。

○ 衛生器具設備工事

１）防火区画に取付の和風大便器には、耐火カバーを設ける。
２）散水栓ボックスは、キー式・固定金具付とし周囲モルタル巻きとする。
　（３０φ目皿取付の上 最寄雨水桝に放流）
３）衛生機器等は、指定色とする。

○ 給湯設備工事

給湯方式　● 個別方式　　○ 中央方式

配管材料　コンクリート埋設部の銅管は、被覆銅管としてもよい。
　（曲がり・分岐部には、給水率が小さく使用温度に耐えるクッション材巻付けのこと）

○ 消火設備工事

工事内容　○ 屋内消火栓設備　　○ 泡消火栓設備
　　○ 屋外消火栓設備　　○ 消火器（ＡＢＣ　１０型・格納箱共）　　組
　　○ スプリンクラー設備　　○ 連結送水設備

○ プロパンガス設備工事

ガスの種類　○ 都市ガス（ガス供給会社の責任施工）
　　○ ＬＰＧ（集合装置は、自動切替としガスメーター・転倒防止チェーン共）
　　○ ＬＰＧ施工業者の責任施工とする。
　　○ 施工・仕様については　大阪ガスの施工基準とする。

その他　○ 露出管は、同色塗装を行う。

○ 浄化槽設備工事

形式　○ 単独処理　　○ 小型合併処理　　● 合併処理

その他　制御盤以降二次側電気工事は全て本工事とする。

○ 冷暖房設備工事

１）温湿度設計条件。

	屋外		屋内（一般室）	
時期	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
冬季	1.4℃		22℃	———
夏季	34.4℃	58.3%	26℃	———

２）屋外露出冷媒管の外装は、※　樹脂製化粧カバー　　○カラー鉄板にて施工する。
３）複数の屋外露出冷媒管は、多系統エアコン配管ダクト（溶融亜鉛メッキ・粉体塗装仕上げ）にて施工する。
４）ヒートポンプエアコンの室内機・室外機の二次側制御電気工事一切は本工事とする。
５）室内機とリモコンの配管配線工事は、図示なき場合は電気工事とし結線調整は本工事とする。
６）屋上に設置する室外機の防振架台の選定は、防振メーカーに振動計算を提出させ決定する。
７）ダクトの種別は　※　低速ダクト　　○　高速ダクト
８）ダクトの工法は　※　アングル工法　　○　コーナーボルト工法
９）各吹出口及び吸込口にはチャンバーを設ける。（吹出口は消音内貼り25tとする）
１０）ドレン管の防露は、標準仕様書（国交省）「排水の項」とする。

● 換気設備工事

１）ダクトの種別は　※　低速ダクト　　○　高速ダクト
２）ダクトの工法は　※　アングル工法　　○　コーナーボルト工法
３）厨房系統の排風機には 点検口及び油抜コックを設ける。
４）排気フード及び幕板はステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）とする。
５）全熱交換器室外側ダクト及び室内側給気ダクトは、全て断熱施工。
６）外気取入ダクトは、外壁内面より２ｍを断熱施工。
共同住宅は下記仕様による
１）台所排気ダクトは、全てＲＷ　５０ｔ断熱施工。
２）洗面所等換気用塩ビ管は、外壁内面より１ｍは耐火被覆二層管を使用すること。

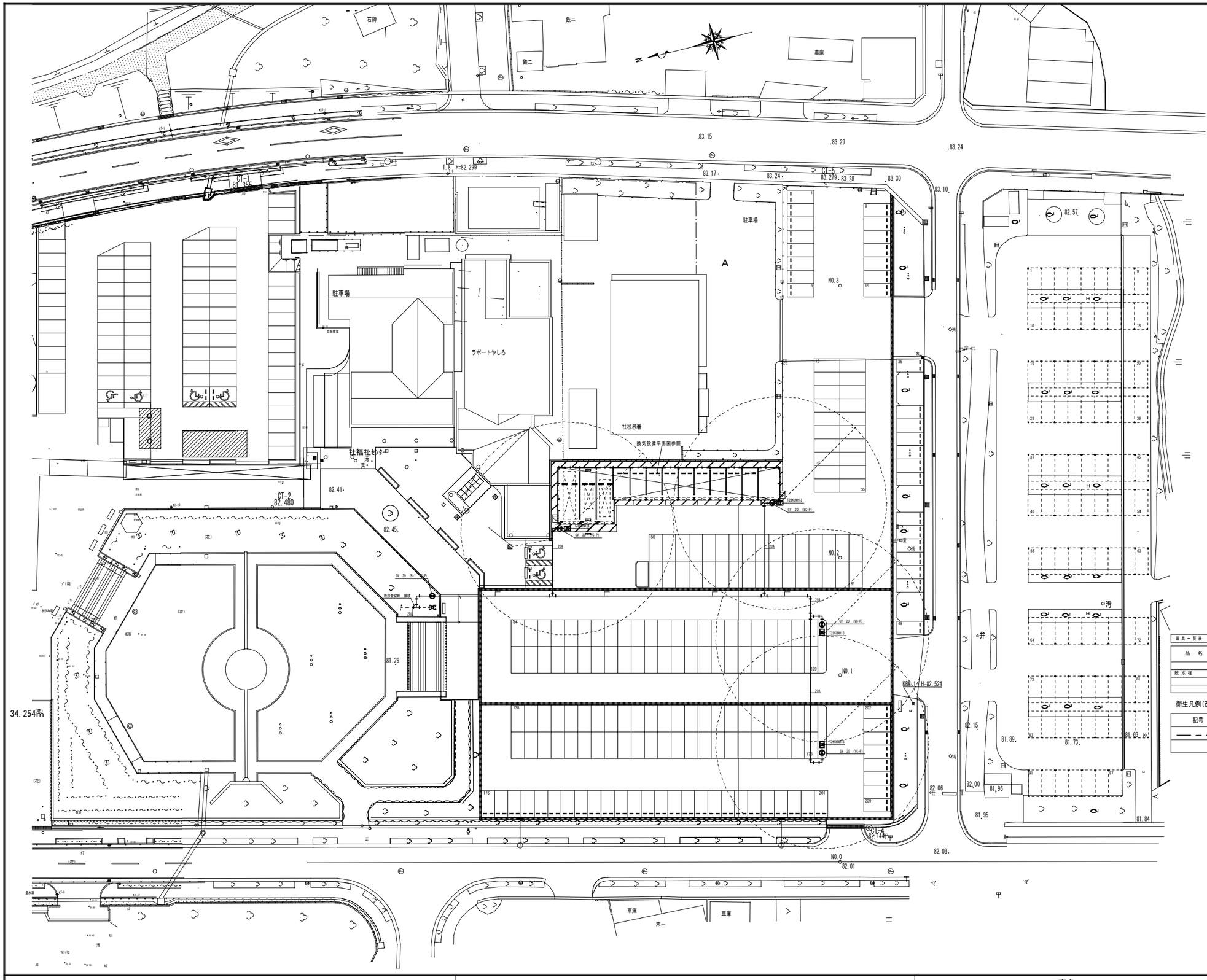
○ 排煙設備工事

１）ダクトの種別は　※　高速ダクト　　○　高速ダクト
２）排煙口は　※　スイング形　　○ スリット形
３）排煙口の作動及び復帰は、手動式とする。
４）ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とする。

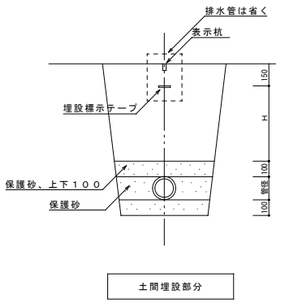
	名称	使用区分	種類	備考
使用材料	給水管	引込み部	ＨＩＰ	
	〃	屋外埋設	ＨＩＰ	
	〃	屋内埋設	ＨＩＰ	
	〃	ＰＳ内	ＳＧＰ－ＶＡ	
	〃	上記以外	ＳＧＰ－ＶＡ	
	汚水・雑排水管	屋外・屋内埋設	ＶＰ，ＨＴ	
	〃	ＰＳ内	耐火二層管	
	〃	上記以外	耐火二層管	
	通気管	屋内埋設	ＶＰ	
	〃	ＰＳ内	耐火二層管	
	〃	上記以外	耐火二層管，ＶＰ	
	給湯管	屋内埋設	被覆銅管	
	〃	上記以外	ＣｕＰ（Ｍ）	
	温水器ドレン		ＨＴ	
	消火管			
	冷媒管		メーカー標準品	
	ドレン管		耐火ニ層管，ＶＰ	
	換気ダクト		ＳＰＤ	
	水道本管	公道部	ＣＩＰ（ＮＳ型）	

メーカーリスト

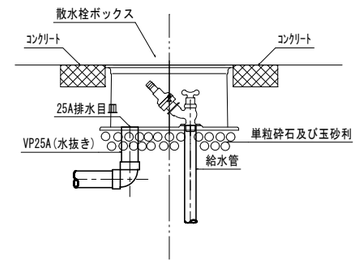
タンク類	ブリヂストン	積水アクアシステムズ	三菱樹脂	エヌ・ワイ・ケイ
ポンプ類	テラル	川本製作所	荏原製作所	
衛生器具・水栓類	東陶	ＩＮＡＸ		
排水金物・グリストラップ類	ダイドレ	福西鋳物	ホーコス	
電気温水器	三菱電機	東陶	イトミック	
ガス給湯器	ノーリツ	大阪ガス	リンナイ	
ボイラー	ヒラカワガイダム	日本サーモエナー	前田鉄工所	川重冷熱工業
ろ過装置	熱技研通商	オルガノ		
冷温水発生機	三洋電機	川重冷熱工業	日立空調システム	
冷却塔	空研工業	三菱樹脂		
空冷ヒートポンプエアコン	三洋電機	ダイキン工業	三菱電機	日立アプライアンス
ガスヒートポンプエアコン	三洋電機	ダイキン工業	ヤンマー	日立アプライアンス
エアハンドリングユニット	新晃工業	三洋電機	ダイキン工業	
ファンコイルユニット	新晃工業	三洋電機	ダイキン工業	
送風機	松下エコシステムズ	テラル	荏原製作所	
全熱交換器	松下エコシステムズ	テラル	三菱電機	
換気扇類	松下エコシステムズ	三菱電機		
吹出・吸込口・ダンパー類	新晃工業	空研工業	協立エアテック	
浄化槽	佐藤浄化	ダイキ		
フィルター・グリスフィルター	クラコ	進和テック		
消火設備機器	ヤマトプロテック	立売堀製作所	横井製作所	ホーチキ
自動制御	山武			



土間埋設部分　詳細図　（参考図）



散水栓ボックス据付詳細図　（参考図）



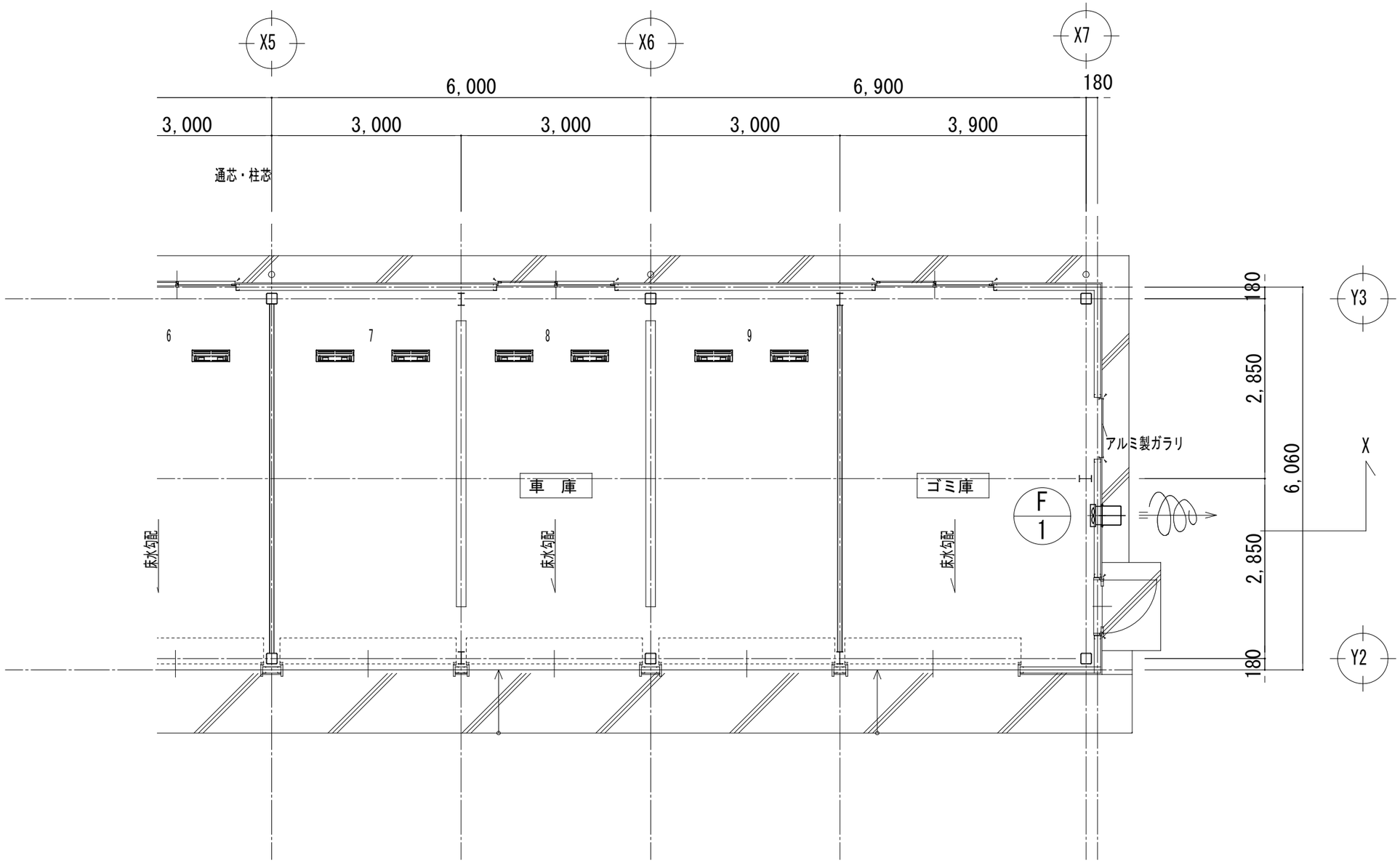
器具一覧表

品名	品番	付属品・仕様	数量 屋外	数量 合計
散水栓	T28KUNH13	ステンレス製散水栓ボックス	4	4

衛生凡例(改修)

記号	名称	材料名称	備考
———	給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニール管	HIVP

CHECK	DRAWING	工事名	DATE	PROJECT No.	SHEET No.
		加東市庁舎南駐車場等整備工事	H 26・8	140606	M－02
		図面名	SCALE		
		給排水設備(配置図)	1 : 500		



平　面　図　　1:50

機器一覧表

記号	名称	仕様 風量（m³／h）	仕様 機外静圧（Pa）	仕様 交換効率（%）	仕様 電源	付属品	数量	型式	設置場所	備考
F－1	有圧換気扇	1112	——	——	1φ100V	コントロールスイッチ(FS-01SW2)　不燃枠　PS－30FW ウェザーカバー(PS－30CSD) 防鳥網	1台	EFG－30KSB－W	1階　ごみ庫	

CHECK	DRAWING	工事名	加東市庁舎南駐車場等整備工事	DATE	PROJECT No. / SHEET No.
		図面名	換気設備(車庫平面図)	SCALE	A2 1:50 A3 1:70

駐車場	台数
A	76
B	221
C	97
D	5
E	80
F	102
G	60
H	44
庁舎	5
計	690
	(667)

駐車場台数				
全体台数		690	台	(667)
来客用	一般	257	台	(225)
	身障者対応	7	台	(上記含)
公用車用		100	台	(109)
職員用		333	台	(333)

